

がん診療連携拠点病院等 院内がん登録

2014年3年生存率集計 報告書

国立がん研究センター がん対策情報センター
がん登録センター 院内がん登録分析室

令和3(2021)年4月
国立がん研究センター がん対策情報センター

がん診療連携拠点病院等 院内がん登録 2014 年 3 年生存率集計の公表について

国立がん研究センターでは、がん対策情報センター・がん登録センターを中心に、これまで全国がん登録及び院内がん登録の標準化や体制整備に努めて参りました。院内がん登録は、2007 年診断症例から全国のがん診療連携拠点病院のデータを収集し、院内がん登録全国集計として我が国のがん診療の実態を把握する資料となるよう、毎年、全国集計報告書を公表しています。院内がん登録情報をもととした生存率集計としては 5 年生存率、科学的根拠に基づく情報をより迅速に提供するために 5 年より早い段階での生存率として、3 年生存率を公表して参りました。

この度、がん診療連携拠点病院等をはじめ全国 481 施設から 2014 年診断症例の 3 年予後情報付データを提供いただきました。このうち、集計基準である生存状況把握割合が 90%以上であった 372 施設、約 42 万件のデータを用いて集計を行いました。前回 2013 年 3 年生存率集計と比較すると、3 年予後情報付のデータを提供していただいた施設は 112 施設増え、また生存状況把握割合が 90%以上であった集計対象施設は 78 施設、集計対象例も約 7 万件増加しました。本集計は、前回よりもより我が国のがん診療をカバーした値になったと考えられます。

本報告書の内容のうち、がんや病期、年階級別の生存率の結果詳細については、Web 上の院内がん登録生存率集計結果閲覧システムからご覧いただけます。本集計結果が、がん対策立案やがん患者さんへの情報・資料として活用されることを期待します。

令和 3 年 4 月

国立研究開発法人国立がん研究センター 理事長

中釜 斉

生存率について

がん医療を評価する重要な一つの指標として、生存率がある。伝統的に、診断後あるいは治療後 5 年経過した時の生存率が治癒の目安とされており、がん(部位)によっては 10 年生存率が治癒の目安とされることもある。この報告書では、がん診療連携拠点病院 2014 年全国集計の結果を踏まえて、2014 年に診断された例の 3 年生存率を集計した。

信頼性の高い生存率を算定するためには、患者の生存確認を行うことが重要であるため、自施設への来院情報だけにたよらずに、患者の生存状況を把握する生存確認調査(いわゆる予後調査)が必須となる。この生存状況の把握が不十分な場合には真の値よりも高い生存率となることが知られている。また、生存率は生存状況把握割合以外にも生存率を算出した対象集団の基礎疾患の頻度や年齢分布などの偏りなどによっても大きな影響が出る。このように生存率の結果の解釈には様々な要因が影響することに留意する必要がある。

1) 生存状況把握割合の意味

生存率の算出において、先行研究における試算では、生存状況把握割合によって院内のデータのみを使って計算した場合、5 年相対生存率が真の値よりも 10~15% 高く推定されてしまうことがあるとの報告がある。そのため、我が国で先行して施設別生存率の公表をしてきた全国がんセンター協議会の集計方法¹⁾を踏まえて、生存状況把握割合が 90%以上であることを基準として、この基準を全がんにおいて達成した施設のデータのみを集計の対象とした。この生存状況把握割合は国際的には 95%以上が望ましいとされており、わが国の院内がん登録でもより高い把握割合をめざすべきであると考えられる。

2) 生存率の種類

生存率には、その算出の仕方によって大きく「実測生存率」、「疾病特異的生存率」、「相対生存率」、「ネット・サバイバル(Net Survival)」に分けられる。

「実測生存率」は、死因に関係なく、全ての死亡を計算に含めた生存率で、診断例に対する～年後の生存患者の割合で示される。計算方法は複数存在するが、Kaplan-Meier 法が頻用され、医療機関の公表する生存率は Kaplan-Meier 法による実測生存率であることが多い。本報告においても、実測生存率については Kaplan-Meier 法を用いて計算している。

一方で、がんによる生存への影響を把握したいときには、「疾病特異的生存率」、「相対生存率」、「ネット・サ

バイバル(Net Survival)」が用いられる。「疾病特異的生存率」は、実測生存率で計算される対象にはがん以外の死因による死亡も死亡の中に含まれるため、がん以外の死因による死亡を、「打ち切り」として計算している。この疾病特異的生存率を正確に推定するためには、がんが死因でないかどうかを判定できなければならない、そのために原死因を用いて判定するか、それ以外の死因も含めて判定するかで結果が変わってくる。現在の日本の現状において、この死因の把握はかなり困難である。

これに対し、「相対生存率」、「ネット・サバイバル(Net Survival)」は、実測生存率を対象と同じ性・年齢・診断年(歴年)の一般の日本人集団で「がんではなかった場合の生存率」という考えによる期待生存率を算出し、それで、実際の生存率を割って算出する方法である。疾患特異的生存率のように個々の死因を把握する必要がないため、国際的によく用いられている。

この期待生存率の算出方法の違いから、Ederer I 法、Ederer II 法、Hakulinen 法などがこれまでに開発されてきており、それぞれ特徴があるが、相対生存率に変わる方法として、「ネット・サバイバル(Net Survival)」が目ざされている。本集計においては、従来からわが国で推奨されてきた Ederer II 法を用いた。

3) 既存の生存率集計

現在までに、原則として全国を対象とし、かつ臓器別ではなく、全がんを対象として公表されてきたがんの 5 年生存率には、地域がん登録によるもの、全国がんセンター協議会によるものがあり、これらは全て相対生存率で算出されている。

本集計は、人口ベースのデータに近い、臓器別の全国データや、都道府県別データであるため、実測生存率とともに、相対生存率を算出した。

4) 生存率をどう解釈するか

本集計による生存率は、既存の地域がん登録や全国がんセンター協議会の集計結果に比べても、より広汎な集計データといえるが、それでも拠点病院と一部の都道府県推薦病院に限ってのデータであることに留意する必要がある。なお、本報告書では、生存率に影響を与えることが想定される情報で、かつ院内がん登録としてデータ収集されている情報として、①性、②年齢、③病期(がんの進行状況)、④観血的治療の有無(手術されたか、されなかったか)などを参考資料として併記して示している。

1) 全がん協調査などでは、消息判明率と呼ばれてきたが、本報告書ではこの呼び方で表記する。

参考資料

- がん登録実務者のためのマニュアル 生存率解析 味木和喜子
2001 年 9 月、大阪府立成人病センター調査部
- がん専門施設における生存率計測の標準化 木下洋子他、
癌の臨床 第 46 巻第 10 号、2000 年 9 月、篠原出版新社

目 次

がん診療連携拠点病院等 院内がん登録 2014 年 3 年生存率集計の公表について	2
生存率について.....	3
I 2014 年 3 年生存率集計 調査方法	5
1. 収集の対象と方法.....	5
(1) 収集の対象.....	5
(2) 収集方法.....	5
(3) 収集項目と定義.....	5
2. 集計の対象と集計方法.....	6
(1) 集計の対象.....	6
(2) 集計の手順.....	6
(2) 集計項目の定義.....	7
(3) 集計方法.....	8
(4) 公表の対象.....	8
II 2014 年 3 年生存率集計 結果概要	12
1. 調査参加施設と登録数.....	12
2. 集計対象.....	12
3. 相対生存率集計対象者.....	12
III 2014 年 3 年生存率集計 結果詳細(全体) :悪性新生物<腫瘍>	24
1. 全がん.....	24
2. 胃癌.....	29
3. 大腸癌.....	31
4. 肝細胞癌と肝内胆管癌.....	37
5. 小細胞肺癌と非小細胞肺癌.....	41
6. 女性乳癌.....	45
7. 食道癌.....	46
8. 膵臓癌.....	48
9. 子宮頸癌.....	50
10. 子宮内膜癌.....	51
11. 前立腺癌.....	52
12. 膀胱癌.....	53
13. 喉頭癌.....	55
14. 胆嚢癌.....	57
15. 腎癌.....	59
16. 腎盂尿管癌.....	61
17. 甲状腺癌.....	63
18. 卵巣癌(女).....	68
19. 資料:治療前ステージと術後病理学的ステージの差異.....	70
付表(2014 年 3 年生存率集計).....	74
1. 集計対象施設一覧.....	

I 2014 年 3 年生存率集計 調査方法

1. 収集の対象と方法

(1) 収集の対象

本集計では、2019 年 6 月 26 日時点のがん診療連携拠点病院等 442 施設と 2014 年診断例、2012 年診断例または 2007 年診断例(2012 年 5 年、2007 年 5 年予後情報付収集と同時に収集のため)について院内がん登録全国集計(0 年集計)にデータ提出した都道府県推薦病院 300 施設に調査を依頼した。データ収集に当たっては、院内がん登録 2014 年診断例の通年データを持ち、死亡日、最終生存確認日、生存期間等の生存状況情報を含めたデータ提出が可能と考えられる上記の調査依頼施設に、「予後情報付集計」の名称で、2014 年 3 年予後情報付登録情報の提供を依頼した。調査対象例は、2014 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの 1 年間に、自施設で診断または他施設で既に診断されて自施設に初診した、全悪性新生物(がん)及び頭蓋内の良性及び良悪性不詳の腫瘍の登録患者*である。これら対象例の 3 年予後情報付の登録情報(以下「予後情報付腫瘍データ」という。)の提供を各施設に依頼した。なお、各施設における登録対象患者は、下記の通りである。

* 各施設における登録患者について

各施設における登録対象は、登録を実施する自施設での新規の診断患者または他施設で診断された初診患者であり、初発例、再発例を含む。また、治療を行わない経過観察例も含まれる。セカンドオピニオンのみを目的とした初診に関しては登録対象とするかどうかは各施設の判断に任されている。1 腫瘍 1 登録の原則に基づき、同一患者に別のがん種と判断されるがんが同時または時間をあけて(異時性に)生じた場合には、多重がんとして登録される。なお、多重がんの判断は各施設に任されている。登録済みの同じがんについて当該施設で治療中に再発した患者については登録対象ではないが、同じ患者が同じがんで複数の病院を受診した場合は、異なる施設において同じ患者の同じがんが登録されている可能性がある。(本全国集計では提供されたデータは匿名化後のデータであるため、重複の整理は行わない。)

(2) 収集方法

2019 年 5 月 22 日に、対象施設に、「院内がん登録予後情報付集計 手順書」を送付し、手順書に従って作成されたデータの提供を依頼した。データは、エラーチェックのための品質管理ツールを用いインターネット(ネットワーク型)を通しての提出を依頼した。データ収集期間は、2019 年 6 月 3 日から 6 月 26 日までとした。

提出においては、「がん診療連携拠点病院院内がん登録標準登録様式登録項目とその定義 2006 年度版修正版」において定義された標準項目(以下「標準項目」と略す。)を満たす腫瘍データを収集した。項目の品質管理(定義通りの項目・区分で登録されているか、関連する項目間の登録内容に矛盾はないか等)については、ネットワーク型ではデータの收受の段階で品質管理を

実施し、論理矛盾がない状態でのデータ提供への協力を依頼した。なお、健総発第 0907001 号「がん診療連携拠点病院で実施する院内がん登録における必須項目の標準登録様式に係る改正等」において定義された必須項目のみでのデータ提供についてはデータ精度管理上の問題から集計対象としなかった。

(3) 収集項目と定義

収集項目は、前述の診断から 3 年後の生存状況の情報を含む標準項目である。また、予後情報付腫瘍データの提出にあたり、下記の計算式に従って、追跡期間(日数)を計算し入力するよう依頼した。

* 追跡期間(日数)の計算方法

追跡期間(日数)とは、起算日から生存最終確認日もしくは死亡日までの日数とする。起算日は、後述する集計用診断日決定のルールに従って決定する。追跡終了日とは、予後調査結果が死亡であり死亡日があれば死亡日、生存の場合は生存最終確認日とする。

$$\text{追跡期間 (日)} = \text{追跡終了日} - \text{起算日} + 1$$

本集計に関連する項目について以下に記述する。その他の標準項目の定義は、2014 年全国集計報告書を参照いただきたい。

i. 診断区分

診断区分は、わが国の地域がん登録との整合性を図るために用いられている分類で、「1:初発(治療開始前)」、「2:治療開始後」に分けられる。この項目は当該腫瘍について自施設に受診する前に他施設において既に治療が開始されていたか否かを区別するもので、この項目が「1:初発(治療開始前)」であったケースでは、自施設で行われた治療は初回治療とみなす。本来であれば、一連の治療方針の下で施設を問わずに初回治療とされるべきであるが、わが国の現状では、施設が異なると、一連の治療であるかないかが判明しないことが多く、そのため、他施設での治療の情報は、初回治療であっても「初回治療なし」とするルールを定めている。

ii. 症例区分

症例区分は生存率の算定等で対象となる患者範囲を決定する重要な区分である。院内がん登録の機能の一つには、各施設の対がん医療活動の評価のための基礎資料を提供することにある。他施設と比較し自施設のがん診療実態を把握するためには、がん対象例を正しく識別する必要がある。この項目では、初回診断(登録施設での診断の有無)と初回治療(登録施設における初回治療の有無)の組み合わせにより患者を分類するための区分を登録している。本集計では、原則として「症例区分 2:診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例」及び「症例区分 3:他施設で診断確

定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行が行われた症例」を分析対象とする。また、施設によっては前述の診断区分のみを入力している施設もあり、本集計では診断区分の組み合わせから症例区分を算出する対応表を用いて集計を行った。

iii. 臨床病期

治療前ステージ

UICC (Union for International Cancer Control) の定める病期の分類方法に基づき、何らかの治療が行われる以前につけられたステージを指す。わが国の一般的な臨床現場で使用される癌取扱い規約に基づくステージとは若干異なる部分がある。胃、乳房、肝臓、大腸、肺についてのみ、標準項目とされているが、他のがんについては任意の登録となっている。肝臓については、取扱い規約のステージも標準項目として登録することになっている。

前医で治療がなされており治療前のステージが不明の場合などは「不明」に分類されるか、空白のままで登録される。わが国の診療情報に関わる施設間の情報交換に関する懸念からこのような方針をとっている。

術後病理学的ステージ

手術が行われた患者に対して、術後に検体が提出され病理学的に算出されたステージを登録する。手術が行われなかった場合には空欄で、術前に化学療法や放射線療法、免疫・内分泌療法などが行われた場合には、手術前の治療の影響が予想されるため、術後病理学的ステージは適応外として登録される。定義上は、原発巣に対する切除術が行われ、断片が陰性であるような治癒的な切除が行われた場合に本ステージが評価できるとされている。術後病理学的ステージは、腫瘍やリンパ節を顕微鏡的に観察して得られるステージであることから、治療前ステージと比較して、治療開始時点でのがんの状態をより正確に表しているといえる。

なお、2014年登録対象はUICC TNM 第7版準拠で登録されている。

iv. 治療の有無

院内がん登録において登録される治療は、登録対象となったがんに対する初回治療である。初回治療とは治療開始時点で計画された一連の治療のことであり、症状・治療の進行に従って後に追加された治療などは含まれない。当初経過観察が計画されていたが、病状が悪化したために治療が行われた場合なども「初回治療なし」となる。また、症状緩和的な目的で行われた手術や放射線治療は、部分的に腫瘍に対する治療であるといえることから登録対象に対する治療の一環に考えるが、腫瘍に影響のない、鎮痛剤や制吐剤などの治療は、「治療あり」としない。

現時点の院内がん登録では、「i 診断区分」で既に述べたとおり、登録施設で行われた治療のみを「初回治療あり」としている。

① 手術・体腔鏡的治療

手術とは一般に外科的治療を指し、体腔鏡とは麻酔

下に行われる腹腔鏡、胸腔鏡などの手術を指す。これらには、消化管や気管支内視鏡による治療を含めない。

② 内視鏡治療

上記で除外された、消化管、気管支内視鏡などによる治療を指す。

③ 放射線治療

原発巣に対する放射線治療だけではなく転移巣に対する放射線治療も含まれる。小線源療法も放射線治療として登録される。

④ 化学療法、免疫療法・BRM、内分泌療法

症状緩和のための薬物療法（鎮痛剤、制吐剤）などは含まない。また、通常の静注・経口化学療法だけではなく、肝動脈化学塞栓療法（TACE）に含まれる化学療法や動注療法も化学療法に分類される。内分泌療法には前立腺癌における除睾術等も含まれる。

⑤ 外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果

当該のがんに対する外科・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度を登録する。ここでは、初回治療として行った総合的な結果を記載する。つまり、最初内視鏡的な治療を行ったが、その後外科的な追加切除が行われた場合は、外科的切除の根治度を登録する。

2. 集計の対象と集計方法

(1) 集計の対象

生存率集計における集計対象は、2014年に診断された例で次の i から iii を満たす例を集計対象とした。

i. 自施設診断・自施設治療と他施設診断・自施設治療例

「症例区分 2:診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例」及び「症例区分 3:他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行が行われた症例」を集計対象とした。

ii. 悪性新生物＜腫瘍＞（一部良性の脳腫瘍）

本集計では、原則として新生物＜腫瘍＞の性状コード3の「悪性、原発部位（悪性新生物＜腫瘍＞）」の例を集計対象とした。但し、脳・中枢神経系に発生した腫瘍性疾患については、良性、良性又は悪性の別不詳の例を含めて集計対象とした。また、GISTの良性または悪性の別不詳を集計対象に含めた（2012年診断例より登録対象）。

iii. 年齢

診断時の年齢が0から99歳までの例を集計対象とした。

(2) 集計の手順

① 集計対象例の選定

提出されたデータから上記の i から iii に該当する例を抽出した。

i 自施設診断・自施設治療と他施設診断・自施設治療例

集計対象施設から提供されたデータを、表 1-1 集計用診断日の決定のルール、及び表 1-2 集計用症例区

分の決定のルールに基づいて、「項目:集計用診断日」、「項目:集計用症例区分」を作成した。その後、集計用症例区分が2, 3であった例を集計対象とした。

ii 悪性新生物<腫瘍>(一部良性の脳腫瘍)

原則として、「項目:330 組織診断名コード」の新生物<腫瘍>の性状を表す第5桁コードが「3:悪性、原発部位」であった例を集計対象とした。但し、一部の脳・中枢神経系に発生した腫瘍性疾患、ICD-O-3の局在コードが「C70.0, C70.9, C71.0, C71.1, C71.2, C71.3, C71.4, C71.5, C71.6, C71.7, C71.8, C71.9, C72.2, C72.3, C72.4, C72.5, C72.8, C72.9, C75.1, C75.2, C75.3」の場合は、「0:良性」又は「1:良性又は悪性の別不詳」であった場合も集計対象に含めた。

iii 年齢

年齢は、生年月と集計用診断年月を用いて、院内がん登録全国集計と同様に下記の定義で求めた。

診断年月の月>=生年月日の月

⇒診断年月の年-生年

診断年月の月<生年月日の月

⇒診断年月の年-生年-1

上記で求めた年齢が0~99歳までの例を集計対象とした。

上記で選定した例から、下記の㉗~㉙に該当する場合は集計対象から除外した。

㉗ 性別不詳の場合

半陰陽や性同一性障害による戸籍性別の変更等のため、性別で特有の臓器に発生した腫瘍と戸籍上の性別が矛盾していないかを確認した上で、性別が不詳(項目:性別が9)であった者を除外した。性別で特有の臓器に発生した腫瘍について矛盾があった場合は、臓器に基づいて性別を修正した上で集計した(例:前立腺と登録があった場合に性別が女性として登録されていたら、男性として集計)。

㉘ 追跡終了日の年月が不明の場合

追跡終了日は、「項目660:予後調査結果」が死亡であった場合は死亡日、生存であった場合は最終生存確認日となる。ただし、死亡例であっても死亡日の年または月が不明の場合は、打ち切り扱いとし、生存最終確認日を追跡終了日とした。追跡終了日の年あるいは月が不明であった場合は、集計対象から除外した。

㉙ UICC TNM 分類総合ステージが0期の場合

病期は、患者の予後を予測する上で重要である。院内がん登録では、UICC TNM 分類に基づく治療の選択と評価に不可欠である臨床分類(治療前ステージ)と、術後アジュバント療法の指針となり、予後推定や遠隔成績の計算のための追加情報を提供する術後病理学的分類ステージについて情報を収集している。本集計では、腫瘍切除例(外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果が、1:治癒切除、2:非治癒切除、3:

治癒/非治癒の別不詳)については腫瘍の縮小を目的とした化学療法や放射線療法あるいは免疫・内分泌療法などを施行後の腫瘍切除例(術後病理学的ステージ適応外例)及び術後病理学的ステージが不詳であった例を除き、UICC TNM 分類術後病理学的ステージをより患者の治療前の病期を表すとしてUICC TNM 分類総合ステージとして用いた。腫瘍切除例以外はUICC TNM 分類治療前ステージをUICC TNM 分類総合ステージとして用いた。なお、本集計では総合ステージが0期であった場合は、集計対象から除外した。

㉚ 追跡期間(日数)の確認

追跡期間(日数)は正確な生存率を算出するために必須の項目である。2014年診断例については、品質管理において、登録された追跡期間の確認を行っている。

㉛ 集計対象施設の選定

生存率の推定値は、生存状況把握割合に影響を受ける。3年生存率を計算する場合には、対象者全員の3年後の生存状況を把握することが必要となる。これまで、全国がんセンター協議会は、加盟施設の生存率を公表してきた。その中で、がんの生存率は生存状況把握割合を100%に近づけるほど、真の値に近づくこととされ、概ね95%以上の生存状況把握割合を維持する必要があるとされている。しかしながら、現在の院内がん登録における生存確認調査の実施においては、障害も多く、調査を実施しても生存状況が確認できず、生存状況把握割合が低い施設も存在する。また全国がんセンター協議会の生存率公表においても、改善が要するとされつつも生存状況把握割合が90%を超えた場合に施設の生存率が公表されてきた。これらの経緯を踏まえ、本集計では前述の集計対象例の生存状況把握割合が90%以上の施設を集計対象とした。具体的には、予後調査結果が生存であるが追跡期間(日数)が3年未満の打ち切り例が施設の生存率集計対象例の10%未満である施設を集計対象施設とした。

生存状況把握割合=(1-打ち切り例数/集計対象例数)×100

(2) 集計項目の定義

● 部位区分

表1-3 部位分類コード対応に基づき、作成した。

● 臨床病期

UICC TNM 分類総合ステージ

2014年診断例では、UICC TNM 分類第7版に準拠してUICC TNM 分類の治療前及び術後病理学的ステージが登録されている。

本集計では、がん患者の予後に影響するステージとして、治療開始時点でのがんの状態をより正確に表している術後病理学的ステージがある場合(適応外、不詳、空欄を除く)は術後病理学的ステージを、無い場合は治療前ステージを用いて、UICC TNM 分類総合ステージとして集計に用いた。なお、本集計では、各施設で

登録されたステージの値を用いて集計をしており、登録されている TNM 情報からみてステージが UICC TNM 分類のステージと一致しない場合であってもデータに修正は加えていない。

各生存率の集計対象は、表 1-4 の組織形態・局在コードとする。

● 観血的治療

当該のがんに対する外科・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度について、「項目 520:外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果」に登録することとなっている。登録の際には、「1:原発巣-治癒切除」、「2:原発巣-非治癒切除」、「3:原発巣-治癒/非治癒の別不詳」、「4:姑息/対象治療、転移巣切除」、「8:その他」、「9:不詳」の中から一つを選択する。本集計では、観血的治療の有無、外科・体腔鏡的・内視鏡的治療の根治度別に生存率を集計した。

(3) 集計方法

前述のとおり選定された集計対象例・集計対象施設において、3 年後の生存状況変数を作成し生存率を推定した。追跡期間(日数)が3年未満でかつ予後調査結果が死亡であった場合は、3 年後の生存状況＝死亡(1)とした。

生存率は、Kaplan-Meier 法を用いた実測生存率と、国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センターにおいて作成されたコホート生存率表(2016 年版)を用い、Ederer II 法を用いた相対生存率を推定した。なお、本報告書では StataMP 16.0 (Stata Corporation, College Station, TX, USA)を用い、Paul W. Dickman ら

が開発した strsr を用いて相対生存率を推定している。各がんの集計においては、対象定義に基づき集計をしている。

なお、いわゆる上皮内がん(総合病期0期)については全がんで生存状況把握割合が 90%以上であった集計対象施設のデータを用いて別途生存率を推定した。

(4) 公表の対象

令和 2 年度第 1 回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会での検討に基づき、以下の公表基準に沿って、生存率を公表する。

生存率の推定値は、対象例数、死亡者数等の件数に依存する。一般に対象例数が 30 例未満の場合、推定された生存率の信頼性が低くなるため、本集計では対象例数が 30 例未満の場合は、3 年生存率を公表しないこととする。なお、各集計表において、集計値が 10 未満の場合、個人が特定される可能性が高いことから、厚生労働省平成 28 年 8 月 4 日第 8 回がん診療提供体制のあり方に関する検討会での検討に従い 1-3 件、4-6 件、7-9 件といった形で公表する。

なお、都道府県別生存率については、当該都道府県で集計対象が 1 施設となる場合は表示していない。

参考資料

- 1)全国がんセンター協議会. 全がん協加盟施設におけるがん患者生存率公表にあたっての指針(案) 2004/11/25版 厚生労働省がん研究助成金「地域がん専門診療施設におけるソフト面の整備拡充に関する研究」班

表1-1 集計用診断日決定のルール

集計用症例区分	集計用診断日	備考
1:診断のみ	診断日2	
2:自施設診断自施設治療	診断日2	
3:他施設診断自施設治療	当該腫瘍初診日	
4:初回治療開始後の症例、 もしくは再発症例	当該腫瘍初診日	*
5:剖検	診断日2	死亡日
8:その他	診断日2、当該腫瘍初診日のいずれか	*

* 優先する集計用診断日となる日付が登録されていない場合、診断日 2、当該腫瘍初診日、診断日 1、入院日の中で、2014 年の日付の項目を用いて作成した。

表 1-2 集計用症例区分の決定のルール

診断区分	診断施設	治療方針	集計用症例区分
1:初発	1:自施設診断	1:自施設で治療	2:自施設診断自施設治療
1:初発	1:自施設診断	3:自施設で経過観察	2:自施設診断自施設治療
1:初発	1:自施設診断	4:他施設へ紹介	1:診断のみ
1:初発	1:自施設診断	8:来院中断	1:診断のみ
1:初発	1:自施設診断	9:その他	1:診断のみ
1:初発	2:他施設診断	1:自施設で治療	3:他施設診断自施設治療
1:初発	2:他施設診断	3:自施設で経過観察	3:他施設診断自施設治療
1:初発	2:他施設診断	4:他施設へ紹介	8:その他
1:初発	2:他施設診断	8:来院中断	8:その他
1:初発	2:他施設診断	9:その他	8:その他
2:治療開始後	2:他施設診断	1:自施設で治療	4:初回治療開始後の症例、 もしくは再発症例
2:治療開始後	2:他施設診断	3:自施設で経過観察	4:初回治療開始後の症例、 もしくは再発症例
2:治療開始後	2:他施設診断	4:他施設へ紹介	8:その他
2:治療開始後	2:他施設診断	8:来院中断	8:その他
2:治療開始後	2:他施設診断	9:その他	8:その他

症例区分が登録されているケースでは症例区分を優先、症例区分が登録されていない例では、診断区分・診断施設・治療方針から上記のルールで変換した集計用症例区分を用いて集計用症例区分を作成した。

表 1-3 部位分類コード対応

部位名	第 1 段階 ICD-O-3 形態コード	第 2 段階 ICD-O-3 部位コード
口腔・咽頭		C00-C14
食道		C15
胃		C16
結腸		C18
直腸		C19-C20
大腸		C18-C20
肝臓		C22
胆嚢・胆管		C23-C24
膵臓		C25
喉頭		C32
肺		C33-C34
骨・軟部		C40-C41、C47、C49
皮膚(黒色腫を含む)		C44
乳房		C50
子宮頸部		C53
子宮体部		C54
子宮		C55
卵巣		C56
前立腺		C61
膀胱		C67
腎・他の尿路		C64-C66、C68
脳・中枢神経系		C700、C71、C722-C729、C751-C753
甲状腺		C73
悪性リンパ腫	959-972 974-975	
多発性骨髄腫	973、976	
白血病	980-994	
他の造血器腫瘍	995-998	C421
その他		第 1 段階、第 2 段階で変換された以外の症例

※全がんでの集計対象の属性の分類に使用

表 1-4 生存率の集計対象

	局在コード	組織形態コード
胃癌	C160, 161-166, 168, 169	8000-8157 (但し、8153 を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8244, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
大腸癌	C180, 182-189, 199, 209	8000-8157 (但し、8153 を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
肝細胞癌	C220	8170-8175
肝内胆管癌	C221	8013, 8041, 8148, 8160-8161, 8180, 8246, 8980
肺癌	C340-343, 348, 349	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8240-8245, 8246-8247, 8249, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8972, 8980
小細胞肺癌	C340-343, 348, 349	8041-8045
非小細胞肺癌	C340-343, 348, 349	8000-8157 (但し、8041-8045 を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8240-8245, 8246-8247, 8249, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8972, 8980
乳癌	C500-509	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8982
食道癌	C150-155, 158, 159	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8240, 8244, 8246-8247, 8249, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
膵臓癌	C250-253, 257, 259	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8240-8245, 8246-8247, 8250-8551, 8552, 8560-8576, 8940-8941, 8971
前立腺癌	C619	8000-8157 (但し、8120-8131 を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8240, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
子宮頸癌	C530-531, 538, 539	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8240, 8246-8247, 8249, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
子宮内膜癌	C540-543, 548, 549	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8240, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8980
膀胱癌	C670-679	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
甲状腺癌 (乳頭・濾胞癌)	C739	8050, 8230, 8260, 8290, 8330-8332, 8335, 8337, 8340-8344, 8350
甲状腺癌 (未分化癌)	C739	8020, 8021
甲状腺癌 (髄様癌)	C739	8345
胆嚢癌	C23.9	8000-8157, 8160-8163, 8170-8231, 8244, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
喉頭癌	C32.0, 32.1, 32.2, 10.1	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
腎	C64.9	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
腎盂尿管	C65.9, 66.9	8000-8157, 8160-8162, 8170-8231, 8246-8247, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
卵巣(女)	C56	8000-8157, 8160-8163, 8170-8231, 8246-8248, 8250-8551, 8560-8576, 8600-8670, 8930-8935, 8940-8941, 8950-8973, 8980, 8982-8983, 8990-8991, 9000-9015, 9020, 9040-9044, 9060-9090, 9100-9105, 9110

Ⅱ 2014年3年生存率集計 結果概要

1. 調査参加施設と登録数

調査を依頼した 742 施設(がん診療連携拠点病院等 442 施設(小児がん拠点含)、都道府県推薦病院 300 施設)のうち、482 施設(がん診療連携拠点病院等 376 施設(小児がん拠点含)、都道府県推薦病院 106 施設)から 3 年予後情報付腫瘍データが提供された(協力率 65.0%、がん診療連携拠点病院等(小児がん拠点含) 85.1%、都道府県推薦病院 35.3%)。そのうち通年データでなかった施設を除外し、がん診療連携拠点病院等 375 施設(小児がん拠点含)、都道府県推薦病院 106 施設のデータを集計した。なお、表 2-1-1 に全登録数と集計対象を示す。

2. 集計対象

(1) 集計の対象

① 集計対象例の選定

i 自施設診断自施設初回治療及び他施設診断自施設初回治療

提出されたデータ全体で、「自施設診断・自施設初回治療(症例区分 2)」が 430,874 例(60.5%)、「他施設診断・自施設初回治療(症例区分 3)」が 141,696 例(19.9%)であり、全登録数の 80.4%を占めた。小児がん拠点病院を除くがん診療連携拠点病院等では、提出されたデータ全体で、「自施設診断・自施設初回治療」が 374,879 例(59.4%)、「他施設診断・自施設初回治療」が 131,694 例(20.9%)を占めた。

ii 悪性新生物<腫瘍>

症例区分 2, 3(自施設診断・自施設初回治療又は他施設診断・自施設初回治療)のうち悪性新生物<腫瘍>(新生物<腫瘍>の性状コードが 3)は、495,539 例(86.5%)であった。脳腫瘍の良性又は良性・悪性の別不詳を合わせると集計対象腫瘍例は、507,170 例(88.6%)であった。

iii 年齢

診断時の年齢を見ると、100 歳以上が 211 例あり、生存率集計からは除外した。年齢別にみると、70 歳代が

32.8%と最も多く、次いで 60 歳代が 27.5%であった。

上記で選定した例から、性別不詳及び追跡終了日不明または UICC TNM 分類総合ステージ 0 期の合計 793 例を集計対象から除外した。

② 追跡期間(日数)の確認

3 年予後情報付データ収集では、品質管理において追跡期間の確認を行った。なお、追跡終了日(死亡例の場合は、死亡日の年月、生存例の場合は、生存最終確認日の年月)が不明の場合は集計対象から除外した。但し、死亡例で死亡日の年月が不明であっても、生存最終確認日の年月が判明している場合は、生存最終確認日を追跡終了日とし、打ち切り例として集計した。

(2) 生存状況把握割合

各施設における集計対象例に対する生存状況把握割合について検討した結果、最も低かった施設の生存状況把握割合は、10.1%で、最も高かった施設は 100.0%であった。都道府県・施設別生存状況把握割合について図 2-1 に示した。以降の集計結果では、生存状況把握割合が 90%以上であった 372 施設(がん診療連携拠点病院等 315 施設、都道府県推薦病院 55 施設、小児がん拠点病院 2 施設)における登録例を集計対象とした。

3. 相対生存率集計対象者

全がんで生存状況把握割合が 90%以上であった 372 施設において集計対象例は、421,150 例であった。なお、各がん別の集計における施設数は、当該腫瘍の集計対象者の登録があった施設数を示す。

表 2-1-1 調査参加施設の全登録数と集計対象

	集計対象外施設		集計対象施設		全体	
	109 施設	(%)	372 施設	(%)	481 施設	(%)
全登録数	120,918	100.0	590,831	100.0	711,749	100.0
症例区分別登録数						
1. 診断のみ	8,781	7.3	33,002	5.6	41,783	5.9
2. 自施設診断・自施設初回治療	76,206	63.0	354,668	60.0	430,874	60.5
3. 他施設診断・自施設初回治療	21,107	17.5	120,589	20.4	141,696	19.9
4. 初回治療開始後・再発	11,269	9.3	58,762	9.9	70,031	9.8
5. 剖検	46	0.0	258	0.0	304	0.0
6. 不明・その他	3,509	2.9	23,552	4.0	27,061	3.8
症例区分(2, 3)(再掲)	97,313	80.5	475,257	80.4	572,570	80.4
症例区分 2, 3のうち						
良性	1,546	1.6	6,707	1.4	8,253	1.4
良性又は悪性の別不詳	724	0.7	2,951	0.6	3,675	0.6
上皮内癌	12,003	12.3	53,100	11.2	65,103	11.4
悪性新生物<腫瘍>	83,040	85.3	412,499	86.8	495,539	86.5
集計対象腫瘍*	85,253	87.6	421,917	88.8	507,170	88.6
症例区分 2, 3、集計対象腫瘍のうち(年齢不詳除く)						
年齢 0~14 歳	313	0.4	1,307	0.3	1,620	0.3
15~39 歳	2,358	2.8	12,324	2.9	14,682	2.9
40 歳代	4,798	5.6	26,148	6.2	30,946	6.1
50 歳代	9,416	11.0	47,995	11.4	57,411	11.3
60 歳代	22,745	26.7	116,546	27.6	139,291	27.5
70 歳代	28,164	33.0	138,288	32.8	166,452	32.8
80-99 歳	17,459	20.5	79,309	18.8	96,768	19.1
100 歳以上	39	0.0	172	0.0	211	0.0
0~99 歳(再掲)	85,253	100.0	421,917	100.0	507,170	100.0
除外対象(以下重複有)	26	0.0	767	0.2	793	0.2
性別不詳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
追跡終了日不明	(1-3)		21	1.6	24	1.5
総合ステージ 0 期	23	7.3	746	57.1	769	47.5
集計対象例	85,227		421,150		506,377	

*症例区分 2, 3のうち、悪性新生物<腫瘍>、脳・中枢神経系に発生した良性または良性・悪性の別不詳の腫瘍を含む

表 2-2-1 がん診療連携拠点病院等調査参加 373 施設の全登録数及び症例区分 2, 3 の登録数

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療(症 例区分 2)	他施設 診断自 施設治 療(症 例区分 3)	自施設 治療 (症例 区分 2, 3) 登録 割合
総数		315	630,774	374,879	131,688	80.3
北海道	国立病院機構北海道がんセンター	集計対象	2,302	1,146	582	75.1
北海道	JA 北海道厚生連旭川厚生病院	集計対象	1,518	989	225	80.0
北海道	王子総合病院	集計対象	1,086	804	123	85.4
北海道	市立釧路総合病院		1,155	786	174	83.1
北海道	市立札幌病院		1,353	981	238	90.1
北海道	JA 北海道厚生連帯広厚生病院	集計対象	1,687	1,300	239	91.2
北海道	北見赤十字病院	集計対象	1,511	906	244	76.1
北海道	社会医療法人母恋 日鋼記念病院	集計対象	665	383	147	79.7
北海道	函館厚生院 函館五稜郭病院	集計対象	1,645	1,173	260	87.1
北海道	札幌医科大学附属病院		2,341	1,104	604	73.0
北海道	JA 北海道厚生連 札幌厚生病院	集計対象	1,660	1,098	264	82.0
北海道	手稲溪仁会病院	集計対象	2,122	1,348	368	80.9
北海道	旭川医科大学病院		1,749	945	487	81.9
北海道	独立行政法人 労働者健康安全機構 釧路労災病院	集計対象	956	771	94	90.5
青森	青森県立中央病院	集計対象	2,282	1,356	525	82.4
岩手	岩手県立中央病院	集計対象	1,942	1,338	409	90.0
岩手	岩手県立二戸病院	集計対象	436	263	54	72.7
岩手	岩手医科大学附属病院	集計対象	2,914	1,309	998	79.2
岩手	岩手県立中部病院	集計対象	1,251	738	303	83.2
岩手	岩手県立磐井病院	集計対象	851	453	180	74.4
岩手	岩手県立宮古病院	集計対象	512	329	54	74.8
岩手	岩手県立胆沢病院	集計対象	1,009	735	141	86.8
岩手	岩手県立大船渡病院		498	396	37	86.9
岩手	岩手県立久慈病院		416	277	41	76.4
岩手	岩手県立釜石病院	集計対象	483	267	67	69.2
宮城	東北大学病院	集計対象	3,405	1,405	943	69.0
宮城	宮城県立がんセンター	集計対象	1,862	980	485	78.7
宮城	石巻赤十字病院	集計対象	1,901	1,282	252	80.7
宮城	独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター	集計対象	1,812	1,076	410	82.0
宮城	大崎市民病院	集計対象	1,669	1,201	248	86.8
宮城	独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院	集計対象	1,000	773	125	89.8
宮城	みやぎ県南中核病院	集計対象	545	451	62	94.1
秋田	秋田大学医学部附属病院	集計対象	1,847	881	596	80.0
秋田	JA 秋田厚生連 由利組合総合病院	集計対象	705	516	100	87.4
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 大曲厚生医療センター	集計対象	769	518	119	82.8
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 平鹿総合病院	集計対象	892	720	115	93.6
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 能代厚生医療センター	集計対象	627	453	67	82.9
秋田	秋田赤十字病院	集計対象	1,181	867	205	90.8
秋田	大館市立総合病院	集計対象	707	490	118	86.0
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 秋田厚生医療センター	集計対象	1,061	719	168	83.6
山形	山形県立中央病院	集計対象	2,188	1,357	523	85.9
山形	山形大学医学部附属病院	集計対象	2,055	924	682	78.2
山形	山形市立病院済生館	集計対象	1,089	834	110	86.7
山形	置賜広域病院企業団 公立置賜総合病院	集計対象	1,054	778	193	92.1
山形	日本海総合病院		1,381	1,142	174	95.3
福島	労働者健康安全機構 福島労災病院		1,076	733	177	84.6
福島	一般財団法人慈山会医学研究所付属坪井病院	集計対象	576	372	74	77.4
福島	福島県立医科大学附属病院	集計対象	2,215	1,046	635	75.9
福島	一般財団法人太田総合病院附属太田西ノ内病院	集計対象	1,752	1,179	347	87.1
福島	一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院	集計対象	1,323	884	186	80.9
福島	総合南東北病院	集計対象	2,110	1,074	502	74.7
福島	会津中央病院	集計対象	699	541	57	85.6
茨城	茨城県立中央病院	集計対象	1,967	1,205	480	85.7
茨城	筑波メディカルセンター病院・茨城県地域がんセンター	集計対象	1,306	853	168	78.2
茨城	茨城県厚生農業協同組合連合会 総合病院土浦協同病院・茨城県地域がんセンター	集計対象	1,725	1,301	244	89.6

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療(症 例区分 2)	他施設 診断自 施設治 療(症 例区分 3)	自施設 治療 (症例 区分2, 3)登録 割合
茨城	株式会社日立製作所 日立総合病院・茨城県地域がんセンター		1,615	1,215	208	88.1
茨城	友愛記念病院	集計対象	867	565	95	76.1
茨城	筑波大学附属病院	集計対象	3,194	1,342	841	68.3
茨城	国立病院機構水戸医療センター	集計対象	1,184	887	171	89.4
茨城	株式会社 日立製作所 ひたちなか総合病院	集計対象	834	655	72	87.2
茨城	医療法人社団善仁会 小山記念病院		492	259	12	55.1
栃木	地方独立行政法人栃木県立がんセンター	集計対象	2,018	1,091	561	81.9
栃木	自治医科大学附属病院		3,829	2,064	964	79.1
栃木	栃木県済生会宇都宮病院	集計対象	1,748	1,367	157	87.2
栃木	獨協医科大学病院	集計対象	2,542	1,687	478	85.2
栃木	那須赤十字病院	集計対象	958	654	135	82.4
群馬	伊勢崎市民病院	集計対象	1,488	1,007	207	81.6
群馬	群馬県立がんセンター	集計対象	2,173	997	785	82.0
群馬	群馬大学医学部附属病院	集計対象	3,850	1,588	1,186	72.1
群馬	独立行政法人国立病院機構渋川医療センター	集計対象	507	302	61	71.6
群馬	独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター	集計対象	1,375	996	222	88.6
群馬	公立富岡総合病院	集計対象	911	593	139	80.4
群馬	桐生厚生総合病院	集計対象	799	582	52	79.3
埼玉	さいたま赤十字病院	集計対象	1,553	1,112	249	87.6
埼玉	埼玉県立がんセンター	集計対象	3,927	1,741	1,178	74.3
埼玉	深谷赤十字病院	集計対象	666	510	137	97.1
埼玉	春日部市立医療センター	集計対象	896	563	109	75.0
埼玉	さいたま市立病院	集計対象	1,103	802	142	85.6
埼玉	埼玉医科大学総合医療センター		2,671	1,630	418	76.7
埼玉	獨協医科大学埼玉医療センター	集計対象	2,437	1,343	417	72.2
埼玉	川口市立医療センター	集計対象	1,381	906	211	80.9
埼玉	埼玉医科大学国際医療センター	集計対象	4,746	2,406	1,592	84.2
埼玉	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会川口総合病院	集計対象	1,190	789	126	76.9
埼玉	東光会 戸田中央総合病院	集計対象	842	595	88	81.1
埼玉	自治医科大学附属さいたま医療センター	集計対象	2,267	1,192	578	78.1
千葉	国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院	集計対象	5,874	2,072	1,817	66.2
千葉	国保旭中央病院	集計対象	2,247	1,755	222	88.0
千葉	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院	集計対象	2,885	1,812	627	84.5
千葉	国保直営総合病院君津中央病院	集計対象	1,380	966	156	81.3
千葉	千葉県がんセンター	集計対象	4,127	1,968	1,127	75.0
千葉	独立行政法人労働者健康安全機構 千葉労災病院	集計対象	1,199	846	177	85.3
千葉	船橋市立医療センター	集計対象	1,623	1,049	292	82.6
千葉	千葉大学医学部附属病院	集計対象	3,592	1,870	842	75.5
千葉	独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター	集計対象	1,176	779	127	77.0
千葉	東京歯科大学市川総合病院	集計対象	1,301	933	106	79.9
千葉	順天堂大学医学部附属浦安病院	集計対象	1,748	1,197	262	83.5
千葉	東京慈恵会医科大学附属柏病院	集計対象	2,092	1,320	420	83.2
千葉	松戸市立総合医療センター	集計対象	1,378	733	91	59.8
千葉	日本医科大学千葉北総病院	集計対象	1,217	898	173	88.0
千葉	地方独立行政法人さんむ医療センター	集計対象	355	117	42	44.8
東京	国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院	集計対象	7,655	2,721	1,852	59.7
東京	東京都立駒込病院	集計対象	5,051	2,221	1,324	70.2
東京	青梅市立総合病院	集計対象	1,271	916	95	79.5
東京	N T T 東日本関東病院	集計対象	2,168	1,409	402	83.5
東京	日本赤十字社医療センター	集計対象	2,310	945	341	55.7
東京	日本大学医学部附属板橋病院	集計対象	2,316	1,377	359	75.0
東京	武蔵野赤十字病院	集計対象	2,289	1,561	371	84.4
東京	がん研有明病院	集計対象	9,167	3,274	3,015	68.6
東京	国立大学法人 東京大学医学部附属病院	集計対象	3,646	1,906	830	75.0
東京	日本医科大学付属病院	集計対象	2,932	1,721	592	78.9
東京	聖路加国際病院	集計対象	2,522	1,415	682	83.1
東京	帝京大学医学部附属病院	集計対象	2,316	1,348	418	76.3
東京	東京医科大学八王子医療センター	集計対象	1,509	1,000	225	81.2
東京	杏林大学医学部付属病院	集計対象	2,783	1,863	546	86.6

調査結果

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療(症 例区分 2)	他施設 診断自 施設治 療(症 例区分 3)	自施設 治療 (症 例区 分2, 3)登 録 割合
東京	順天堂大学医学部附属順天堂医院	集計対象	4,191	2,180	1,048	77.0
東京	昭和大学病院	集計対象	2,664	1,562	617	81.8
東京	慶應義塾大学病院	集計対象	3,709	1,859	735	69.9
東京	東京都立多摩総合医療センター	集計対象	2,664	1,533	728	84.9
東京	公立昭和病院	集計対象	1,644	1,124	266	84.5
東京	東京慈恵会医科大学附属病院	集計対象	3,536	1,893	815	76.6
東京	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	集計対象	3,822	1,742	1,047	73.0
東京	東邦大学医療センター大森病院	集計対象	2,398	1,646	305	81.4
東京	独立行政法人国立病院機構東京医療センター	集計対象	2,262	1,485	395	83.1
東京	東京医科歯科大学医学部附属病院	集計対象	2,958	1,461	637	70.9
東京	東京都立墨東病院	集計対象	1,531	1,061	186	81.5
東京	独立行政法人国立病院機構 災害医療センター	集計対象	1,230	737	198	76.0
東京	東京女子医科大学東医療センター	集計対象	1,023	738	219	93.5
神奈川	神奈川県立がんセンター	集計対象	4,078	1,800	1,247	74.7
神奈川	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院	集計対象	2,177	1,542	404	89.4
神奈川	横浜州市立市民病院	集計対象	1,747	1,219	264	84.9
神奈川	小田原市立病院	集計対象	871	587	116	80.7
神奈川	相模原協同病院	集計対象	1,169	785	116	77.1
神奈川	公立大学法人 横浜市立大学附属病院	集計対象	2,491	1,164	742	76.5
神奈川	聖マリアンナ医科大学病院	集計対象	3,020	1,650	769	80.1
神奈川	東海大学医学部付属病院	集計対象	3,589	2,095	751	79.3
神奈川	藤沢市市民病院	集計対象	1,345	910	254	86.5
神奈川	北里大学病院	集計対象	2,257	1,275	645	85.1
神奈川	横浜労災病院	集計対象	2,109	1,254	303	73.8
神奈川	昭和大学横浜市北部病院	集計対象	1,979	1,122	427	78.3
神奈川	横浜市立みなと赤十字病院	集計対象	1,506	991	195	78.8
神奈川	大和市立病院	集計対象	1,077	773	112	82.2
神奈川	独立行政法人 労働者健康安全機構 関東労災病院	集計対象	1,058	734	122	80.9
神奈川	済生会横浜市東部病院	集計対象	2,099	1,230	420	78.6
神奈川	公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター	集計対象	2,365	1,467	664	90.1
新潟	新潟県立がんセンター新潟病院	集計対象	3,239	1,810	983	86.2
新潟	新潟県立中央病院	集計対象	1,425	1,007	272	89.8
新潟	新潟市市民病院	集計対象	1,838	1,283	388	90.9
新潟	長岡赤十字病院	集計対象	1,795	1,298	315	89.9
新潟	新潟県厚生農業協同組合連合会 長岡中央総合病院	集計対象	1,759	1,251	402	94.0
新潟	新潟大学医歯学総合病院	集計対象	2,333	1,077	815	81.1
新潟	県立新発田病院	集計対象	1,276	883	272	90.5
富山	富山県立中央病院	集計対象	2,496	1,683	498	87.4
富山	黒部市市民病院	集計対象	662	505	58	85.0
富山	富山大学附属病院	集計対象	1,302	814	257	82.3
富山	厚生連高岡病院	集計対象	1,393	967	208	84.4
富山	高岡市市民病院	集計対象	681	554	37	86.8
富山	市立砺波総合病院	集計対象	725	550	62	84.4
石川	国立大学法人金沢大学附属病院	集計対象	2,184	1,141	480	74.2
石川	独立行政法人国立病院機構 金沢医療センター	集計対象	815	659	70	89.4
石川	石川県立中央病院	集計対象	1,768	1,089	579	94.3
石川	金沢医科大学病院	集計対象	1,146	751	209	83.8
石川	小松市市民病院	集計対象	816	533	122	80.3
福井	福井県立病院	集計対象	1,677	1,106	282	82.8
福井	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福井県済生会病院	集計対象	1,447	1,001	278	88.4
福井	福井赤十字病院	集計対象	1,212	897	157	87.0
福井	福井大学医学部附属病院	集計対象	1,320	737	387	85.2
福井	独立行政法人国立病院機構敦賀医療センター	集計対象	169	105	23	75.7
山梨	山梨県立中央病院	集計対象	1,953	1,259	207	75.1
山梨	国立大学法人 山梨大学医学部附属病院	集計対象	1,892	1,110	338	76.5
山梨	市立甲府病院	集計対象	687	465	82	79.6
長野	長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院 佐久医療センター	集計対象	2,528	946	681	64.4
長野	国立大学法人 信州大学医学部附属病院	集計対象	2,375	1,058	657	72.2

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療(症 例区分 2)	他施設 診断自 施設治 療(症 例区分 3)	自施設 治療 (症例 区分2, 3)登録 割合
長野	諏訪赤十字病院	集計対象	1,349	931	186	82.8
長野	飯田市立病院	集計対象	1,091	739	146	81.1
長野	長野市民病院	集計対象	1,833	1,262	439	92.8
長野	長野赤十字病院	集計対象	1,776	1,089	369	82.1
長野	社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院	集計対象	1,534	877	241	72.9
長野	伊那中央病院	集計対象	943	566	201	81.3
長野	北アルプス医療センターあづみ病院	集計対象	299	171	13	61.5
長野	長野県厚生農業協同組合連合会北信総合病院	集計対象	575	446	35	83.7
岐阜	岐阜市民病院		1,405	1,066	131	85.2
岐阜	岐阜大学医学部附属病院	集計対象	2,241	1,270	599	83.4
岐阜	高山赤十字病院	集計対象	681	474	62	78.7
岐阜	岐阜県総合医療センター	集計対象	1,894	1,335	360	89.5
岐阜	岐阜県立多治見病院	集計対象	1,576	982	266	79.2
岐阜	大垣市民病院	集計対象	2,360	1,873	321	93.0
岐阜	社会医療法人厚生会 木沢記念病院	集計対象	1,107	619	183	72.4
静岡	静岡県立静岡がんセンター	集計対象	6,835	2,997	2,064	74.0
静岡	静岡県立総合病院	集計対象	2,720	1,789	594	87.6
静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院	集計対象	1,638	1,024	223	76.1
静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院	集計対象	1,906	1,247	410	86.9
静岡	順天堂大学医学部附属静岡病院	集計対象	1,371	985	194	86.0
静岡	静岡市立静岡病院	集計対象	1,393	1,144	146	92.6
静岡	藤枝市立総合病院	集計対象	1,134	772	139	80.3
静岡	浜松医科大学医学部附属病院	集計対象	1,431	788	371	81.0
静岡	浜松医療センター	集計対象	1,055	775	115	84.4
静岡	磐田市立総合病院	集計対象	1,377	967	157	81.6
静岡	富士市立中央病院		981	614	82	70.9
愛知	愛知県がんセンター	集計対象	2,999	1,123	1,411	84.5
愛知	愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院	集計対象	1,993	1,512	224	87.1
愛知	海南病院	集計対象	1,515	1,000	161	76.6
愛知	国立病院機構 名古屋医療センター	集計対象	1,816	1,208	241	79.8
愛知	小牧市民病院		1,746	1,291	236	87.5
愛知	豊橋市民病院	集計対象	2,342	1,624	395	86.2
愛知	名古屋大学医学部附属病院		3,701	1,712	1,151	77.4
愛知	独立行政法人 地域医療機能推進機構 中京病院		1,393	1,003	199	86.3
愛知	一宮市立市民病院	集計対象	1,482	1,079	238	88.9
愛知	公立陶生病院	集計対象	1,208	934	105	86.0
愛知	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院	集計対象	1,566	1,196	171	87.3
愛知	名古屋市立大学病院		1,804	1,044	507	86.0
愛知	名古屋第一赤十字病院	集計対象	2,318	1,659	264	83.0
愛知	名古屋第二赤十字病院	集計対象	2,264	1,561	325	83.3
愛知	藤田医科大学病院	集計対象	2,993	1,675	904	86.2
愛知	愛知医科大学病院		1,768	1,102	335	81.3
三重	伊勢赤十字病院	集計対象	1,751	1,222	311	87.5
三重	松阪中央総合病院		780	485	115	76.9
三重	三重大学医学部附属病院		2,714	1,332	564	69.9
三重	三重県厚生農業協同組合連合会鈴鹿中央総合病院		1,359	926	107	76.0
三重	市立四日市病院		1,897	1,249	318	82.6
滋賀	市立長浜病院	集計対象	719	572	69	89.2
滋賀	滋賀県立総合病院	集計対象	1,478	897	255	77.9
滋賀	大津赤十字病院	集計対象	1,466	1,127	188	89.7
滋賀	彦根市立病院	集計対象	734	564	47	83.2
滋賀	滋賀医科大学医学部附属病院	集計対象	1,416	767	430	84.5
京都	京都桂病院	集計対象	1,425	1,150	154	91.5
京都	京都市立病院	集計対象	1,528	1,011	180	77.9
京都	京都第一赤十字病院	集計対象	1,598	1,240	196	89.9
京都	京都第二赤十字病院	集計対象	1,764	1,218	244	82.9
京都	独立行政法人国立病院機構 京都医療センター	集計対象	2,012	1,233	343	78.3
京都	市立福知山市民病院	集計対象	837	571	89	78.9
大阪	大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター	集計対象	2,127	1,450	323	83.4

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療(症 例区 分 2)	他施設 診断自 施設治 療(症 例区 分 3)	自施設 治療 (症 例区 分 2, 3)登録 割合
大阪	市立岸和田市民病院	集計対象	1,373	977	148	81.9
大阪	地方独立行政法人市立東大阪医療センター	集計対象	1,154	924	98	88.6
大阪	市立豊中病院	集計対象	2,119	1,596	265	87.8
大阪	大阪国際がんセンター	集計対象	3,764	1,664	1,645	87.9
大阪	地方独立行政法人大阪市市民病院機構大阪市立総合医療センター	集計対象	2,918	1,692	689	81.6
大阪	大阪赤十字病院	集計対象	2,529	1,860	393	89.1
大阪	独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター	集計対象	934	558	154	76.2
大阪	独立行政法人労働者健康安全機構大阪労災病院	集計対象	1,697	1,215	280	88.1
大阪	大阪医科大学附属病院	集計対象	2,885	1,500	939	84.5
大阪	大阪市立大学医学部附属病院	集計対象	3,399	1,568	1,173	80.6
大阪	国立病院機構大阪医療センター	集計対象	1,542	879	336	78.8
大阪	堺市立総合医療センター	集計対象	1,447	974	191	80.5
大阪	八尾市立病院	集計対象	1,058	764	193	90.5
兵庫	兵庫県立がんセンター	集計対象	3,881	1,614	1,308	75.3
兵庫	神戸大学医学部附属病院	集計対象	3,476	1,516	983	71.9
兵庫	神戸市立医療センター中央市民病院	集計対象	2,802	1,624	592	79.1
兵庫	独立行政法人労働者健康安全機構 関西労災病院	集計対象	2,146	1,301	426	80.5
兵庫	公立学校共済組合近畿中央病院	集計対象	827	615	79	83.9
兵庫	姫路赤十字病院	集計対象	1,773	1,130	445	88.8
兵庫	赤穂市民病院	集計対象	551	411	31	80.2
兵庫	公立豊岡病院組合立豊岡病院	集計対象	1,111	809	135	85.0
兵庫	兵庫県立淡路医療センター	集計対象	984	712	113	83.8
兵庫	兵庫医科大学病院	集計対象	2,627	1,407	613	76.9
兵庫	兵庫県立柏原病院	集計対象	431	231	63	68.2
兵庫	神戸市立西神戸医療センター	集計対象	1,542	1,006	215	79.2
奈良	奈良県立医科大学附属病院	集計対象	2,687	1,378	748	79.1
奈良	奈良県総合医療センター	集計対象	1,230	684	338	83.1
奈良	天理よろづ相談所病院	集計対象	2,126	1,771	245	94.8
奈良	近畿大学奈良病院	集計対象	1,438	927	254	82.1
奈良	市立奈良病院	集計対象	1,090	747	103	78.0
奈良	南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター		214	168	15	85.5
和歌山	紀南病院	集計対象	740	493	96	79.6
和歌山	独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センター		695	389	117	72.8
和歌山	日本赤十字社和歌山医療センター	集計対象	2,025	1,525	271	88.7
和歌山	和歌山県立医科大学附属病院	集計対象	2,709	1,398	867	83.6
和歌山	橋本市民病院		584	429	51	82.2
和歌山	公立那賀病院		655	422	67	74.7
鳥取	鳥取県立厚生病院	集計対象	551	389	56	80.8
鳥取	独立行政法人国立病院機構 米子医療センター	集計対象	576	375	61	75.7
鳥取	鳥取県立中央病院	集計対象	843	705	22	86.2
鳥取	鳥取大学医学部附属病院	集計対象	1,721	1,073	436	87.7
島根	松江市立病院	集計対象	829	540	122	79.9
島根	松江赤十字病院	集計対象	1,306	997	162	88.7
島根	島根大学医学部附属病院	集計対象	1,499	911	370	85.5
島根	島根県立中央病院	集計対象	1,250	964	144	88.6
島根	独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター	集計対象	724	481	103	80.7
岡山	岡山済生会総合病院	集計対象	1,550	994	290	82.8
岡山	岡山赤十字病院	集計対象	1,200	823	147	80.8
岡山	岡山大学病院	集計対象	3,210	1,499	993	77.6
岡山	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院	集計対象	3,336	2,358	457	84.4
岡山	津山中央病院	集計対象	1,350	938	98	76.7
岡山	岡山医療センター	集計対象	1,079	810	144	88.4
岡山	川崎医科大学附属病院	集計対象	1,774	1,060	361	80.1
岡山	金田病院	集計対象	147	70	(4-6)	51.7
広島	県立広島病院	集計対象	1,785	1,128	326	81.5
広島	地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院	集計対象	3,064	1,964	695	86.8
広島	広島赤十字・原爆病院	集計対象	1,339	1,007	182	88.8
広島	独立行政法人国立病院機構 呉医療センター	集計対象	1,683	1,068	211	76.0
広島	東広島医療センター	集計対象	943	523	102	66.3

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療(症 例区分 2)	他施設 診断自 施設治 療(症 例区分 3)	自施設 治療 (症例 区分2, 3)登録 割合
広島	広島県厚生農業協同組合連合会 尾道総合病院		764	521	172	90.7
広島	福山市民病院	集計対象	1,869	1,194	365	83.4
広島	市立三次中央病院		796	618	89	88.8
山口	山口県立総合医療センター	集計対象	960	600	186	81.9
山口	国立病院機構 岩国医療センター	集計対象	1,418	952	216	82.4
山口	山口県厚生農業協同組合連合会周東総合病院	集計対象	625	445	60	80.8
山口	独立行政法人地域医療機能推進機構徳山中央病院	集計対象	1,406	979	234	86.3
山口	山口大学医学部附属病院		1,883	1,033	521	82.5
山口	山口県済生会下関総合病院		860	620	146	89.1
徳島	徳島県立中央病院	集計対象	1,282	871	188	82.6
徳島	徳島大学病院		1,913	1,110	502	84.3
徳島	徳島赤十字病院		1,253	819	253	85.6
徳島	徳島市民病院		731	486	109	81.4
香川	香川県立中央病院	集計対象	1,554	964	316	82.4
香川	独立行政法人労働者健康安全機構香川労災病院	集計対象	1,397	963	242	86.3
香川	三豊総合病院	集計対象	1,024	711	104	79.6
香川	高松赤十字病院	集計対象	1,339	870	219	81.3
香川	国立大学法人 香川大学医学部附属病院	集計対象	1,602	863	406	79.2
愛媛	市立宇和島病院	集計対象	1,149	773	163	81.5
愛媛	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	集計対象	2,763	1,336	796	77.2
愛媛	住友別子病院	集計対象	641	465	51	80.5
愛媛	愛媛大学医学部附属病院	集計対象	2,010	822	608	71.1
愛媛	愛媛県立中央病院	集計対象	2,389	1,443	394	76.9
愛媛	松山赤十字病院	集計対象	1,608	1,175	190	84.9
愛媛	社会福祉法人恩賜財団 済生会今治病院	集計対象	752	412	93	67.2
高知	国立大学法人 高知大学医学部附属病院	集計対象	1,589	946	449	87.8
高知	高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター	集計対象	1,556	923	469	89.5
高知	高知県立幡多けんみん病院	集計対象	636	374	86	72.3
福岡	久留米大学病院	集計対象	2,867	1,469	706	75.9
福岡	公立八女総合病院	集計対象	579	404	89	85.1
福岡	地方独立行政法人大牟田市立病院	集計対象	892	451	165	69.1
福岡	社会保険田川病院	集計対象	594	398	40	73.7
福岡	飯塚病院	集計対象	2,191	1,468	322	81.7
福岡	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター	集計対象	702	483	70	78.8
福岡	北九州市立医療センター	集計対象	2,452	1,498	572	84.4
福岡	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター	集計対象	2,642	1,092	653	66.0
福岡	国立大学法人 九州大学病院	集計対象	3,990	1,849	1,100	73.9
福岡	独立行政法人国立病院機構九州医療センター	集計対象	2,220	1,213	515	77.8
福岡	福岡県済生会福岡総合病院	集計対象	1,436	848	282	78.7
福岡	福岡大学病院	集計対象	2,021	1,102	516	80.1
福岡	聖マリア病院	集計対象	1,224	779	149	75.8
福岡	独立行政法人地域医療機能推進機構九州病院	集計対象	2,011	1,282	394	83.3
福岡	産業医科大学病院	集計対象	2,018	1,208	489	84.1
福岡	戸畑共立病院		891	381	145	59.0
佐賀	地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館	集計対象	1,593	878	271	72.1
佐賀	国立大学法人 佐賀大学医学部附属病院		1,694	833	514	79.5
佐賀	唐津赤十字病院	集計対象	794	494	88	73.3
佐賀	独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター	集計対象	839	507	171	80.8
長崎	日本赤十字社長崎原爆病院	集計対象	1,047	765	186	90.8
長崎	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター	集計対象	1,739	1,298	351	94.8
長崎	独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター	集計対象	1,589	999	332	83.8
長崎	長崎みなとメディカルセンター		1,094	673	147	75.0
長崎	長崎大学病院	集計対象	2,450	1,222	817	83.2
長崎	長崎県島原病院	集計対象	659	485	101	88.9
熊本	熊本大学病院	集計対象	2,995	1,454	915	79.1
熊本	独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院	集計対象	623	416	97	82.3
熊本	人吉医療センター	集計対象	789	462	94	70.5
熊本	熊本赤十字病院	集計対象	1,847	1,140	343	80.3
熊本	国立病院機構 熊本医療センター	集計対象	1,576	772	328	69.8

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療（症 例区分 2）	他施設 診断自 施設治 療（症 例区分 3）	自施設 治療 （症例 区分2, 3）登録 割合
熊本	済生会熊本病院	集計対象	1,763	1,043	359	79.5
熊本	荒尾市民病院		438	294	51	78.8
大分	大分県立病院	集計対象	1,433	925	310	86.2
大分	大分赤十字病院	集計対象	902	540	197	81.7
大分	大分大学医学部附属病院	集計対象	1,634	776	510	78.7
大分	独立行政法人国立病院機構別府医療センター		800	589	142	91.4
大分	大分県済生会日田病院	集計対象	320	157	48	64.1
大分	中津市立中津市民病院	集計対象	677	462	129	87.3
宮崎	宮崎県立宮崎病院	集計対象	1,143	743	201	82.6
宮崎	国立病院機構 都城医療センター	集計対象	778	475	172	83.2
宮崎	国立大学法人宮崎大学医学部附属病院	集計対象	1,516	695	402	72.4
鹿児島	鹿児島大学病院		2,117	831	799	77.0
鹿児島	国立病院機構 鹿児島医療センター	集計対象	917	451	232	74.5
鹿児島	鹿児島県立薩南病院	集計対象	236	136	43	75.8
鹿児島	独立行政法人国立病院機構 南九州病院	集計対象	423	200	68	63.4
鹿児島	県民健康プラザ 鹿屋医療センター	集計対象	463	160	113	59.0
鹿児島	鹿児島市立病院	集計対象	1,150	626	265	77.5
鹿児島	公益社団法人昭和会 今給黎総合病院	集計対象	753	348	217	75.0
鹿児島	出水郡医師会広域医療センター		329	176	54	69.9
鹿児島	社会医療法人博愛会 相良病院	集計対象	964	188	528	74.3
沖縄	地方独立行政法人那覇市立病院	集計対象	900	530	191	80.1
沖縄	北部地区医師会病院		293	199	15	73.0
沖縄	沖縄県立中部病院	集計対象	1,033	625	161	76.1
沖縄	国立大学法人 琉球大学医学部附属病院	集計対象	1,508	665	471	75.3

表 2-2-2 都道府県推薦病院調査参加 63 施設の全登録数及び症例区分 2, 3 の登録数

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療（症 例区分 2)	他施設 診断自 施設治 療（症 例区分 3)	自施設 治療 （症例 区分 2, 3）登録 割合	
総数			55	80,844	55,919	9,969	81.5
北海道	斗南病院			926	563	239	86.6
北海道	社会医療法人北楡会 札幌北楡病院			413	259	113	90.1
北海道	製鉄記念室蘭病院	集計対象		576	518	29	95.0
北海道	苫小牧市立病院			611	482	21	82.3
北海道	旭川赤十字病院			912	764	88	93.4
北海道	J A 北海道厚生連遠軽厚生病院	集計対象		337	208	18	67.1
青森	八戸市立市民病院	集計対象		1,511	936	377	86.9
青森	三沢市立三沢病院			494	291	88	76.7
青森	青森市民病院			803	569	164	91.3
宮城	一般財団法人厚生会 仙台厚生病院	集計対象		1,598	1,095	287	86.5
秋田	中通総合病院	集計対象		602	475	80	92.2
秋田	市立秋田総合病院	集計対象		883	606	162	87.0
茨城	茨城西南医療センター病院	集計対象		617	407	49	73.9
茨城	水戸赤十字病院			1,254	940	157	87.5
群馬	国立病院機構沼田病院	集計対象		275	148	39	68.0
群馬	群馬県済生会前橋病院	集計対象		687	387	158	79.3
埼玉	上尾中央総合病院	集計対象		1,690	1,201	151	80.0
埼玉	埼玉石心会病院			962	539	71	63.4
埼玉	小川赤十字病院	集計対象		543	308	42	64.5
埼玉	秀和総合病院			527	423	40	87.9
埼玉	さいたま市民医療センター			722	460	102	77.8
千葉	千葉徳洲会病院			838	456	96	65.9
東京	東京女子医科大学病院			1,204	347	272	51.4
東京	日本医科大学多摩永山病院	集計対象		915	577	146	79.0
東京	国家公務員共済組合連合会 立川病院			1,288	726	165	69.2
東京	JR 東京総合病院			826	537	84	75.2
東京	東京都済生会中央病院			1,125	796	100	79.6
東京	社会福祉法人 三井記念病院	集計対象		1,589	1,000	180	74.3
東京	社会医療法人河北医療財団 河北総合病院			798	587	0	73.6
東京	東大和病院	集計対象		676	460	44	74.6
東京	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター			896	688	61	83.6
東京	東京慈恵会医科大学附属第三病院			1,301	924	164	83.6
神奈川	平塚共済病院			712	566	50	86.5
神奈川	国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	集計対象		1,380	1,149	125	92.3
神奈川	独立行政法人国立病院機構横浜医療センター			861	549	185	85.2
神奈川	湘南鎌倉総合病院	集計対象		1,681	1,098	217	78.2
神奈川	平塚市民病院	集計対象		797	636	72	88.8
新潟	労働者健康安全機構 新潟労災病院	集計対象		368	311	39	95.1
新潟	済生会新潟病院			1,043	663	145	77.5
富山	富山労災病院	集計対象		313	238	14	80.5
富山	富山赤十字病院			892	715	73	88.3
富山	富山県済生会高岡病院			200	140	12	76.0
石川	医療法人社団浅ノ川浅ノ川総合病院			463	166	76	52.3
石川	地域医療機能推進機構 金沢病院	集計対象		261	197	12	80.1
石川	公立松任石川中央病院	集計対象		560	491	54	97.3
石川	石川県済生会金沢病院			479	209	46	53.2
岐阜	松波総合病院	集計対象		1,093	964	40	91.9
岐阜	朝日大学病院	集計対象		426	322	36	84.0
静岡	沼津市立病院	集計対象		1,024	664	76	72.3
静岡	焼津市立総合病院	集計対象		917	638	115	82.1
静岡	国立病院機構 静岡医療センター			539	306	42	64.6
静岡	市立島田市民病院			962	772	49	85.3
愛知	春日井市民病院			1,366	1,039	97	83.2
愛知	医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院			1,722	1,274	237	87.7
三重	済生会松阪総合病院			849	537	57	70.0
三重	松阪市民病院			608	482	62	89.5

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設 診断自 施設治 療(症 例区分 2)	他施設 診断自 施設治 療(症 例区分 3)	自施設 治療 (症例 区分2, 3)登録 割合
滋賀	社会医療法人誠光会 草津総合病院	集計対象	690	378	80	66.4
滋賀	近江八幡市立総合医療センター	集計対象	664	493	85	87.0
滋賀	済生会滋賀県病院	集計対象	766	561	69	82.2
京都	京都岡本記念病院		585	369	39	69.7
京都	社会福祉法人 恩賜財団 済生会京都府病院		352	287	15	85.8
大阪	地方独立行政法人 市立吹田市民病院	集計対象	795	586	90	85.0
大阪	箕面市立病院	集計対象	817	612	82	84.9
大阪	Panasonic 健康保険組合松下記念病院		855	660	87	87.4
大阪	医療法人徳洲会 八尾徳洲会総合病院	集計対象	995	694	67	76.5
大阪	ベルランド総合病院	集計対象	1,260	949	101	83.3
大阪	府中病院		920	709	145	92.8
大阪	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会野江病院	集計対象	949	728	78	84.9
大阪	関西電力病院	集計対象	750	557	99	87.5
大阪	独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪病院	集計対象	807	664	91	93.6
大阪	医療法人 警和会 大阪警察病院	集計対象	1,761	1,206	397	91.0
大阪	関西医科大学総合医療センター	集計対象	1,079	668	208	81.2
大阪	社会医療法人美杉会佐藤病院		230	151	30	78.7
大阪	医療法人藤井会石切生喜病院	集計対象	814	675	28	86.4
大阪	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会富田林病院	集計対象	451	358	41	88.5
大阪	社会医療法人愛仁会 千船病院		321	276	12	89.7
兵庫	神鋼記念病院		1,218	820	319	93.5
奈良	国保中央病院		566	134	(7-9)	25.3
奈良	大和郡山病院		195	168	23	97.9
奈良	大和高田市立病院	集計対象	607	489	40	87.1
鳥取	鳥取市立病院	集計対象	674	535	74	90.4
鳥取	鳥取赤十字病院		655	499	53	84.3
鳥取	医療法人 十字会 野島病院		194	163	14	91.2
島根	松江医療センター	集計対象	101	93	(1-3)	95.0
岡山	岡山市立市民病院	集計対象	411	347	0	84.4
岡山	一般財団法人 倉敷成人病センター	集計対象	671	474	127	89.6
広島	国家公務員共済組合連合会 呉共済病院		848	681	77	89.4
広島	公立学校共済組合 中国中央病院	集計対象	673	562	89	96.7
山口	独立行政法人国立病院機構山口宇部医療センター	集計対象	475	395	49	93.5
高知	高知赤十字病院		866	620	126	86.1
長崎	独立行政法人地域医療機能推進機構諫早総合病院		1,020	689	133	80.6
熊本	熊本再春医療センター		245	157	39	80.0
熊本	国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院	集計対象	987	652	144	80.6
熊本	大腸肛門病センター高野病院	集計対象	255	189	38	89.0
熊本	天草地域医療センター	集計対象	365	239	54	80.3
熊本	熊本地域医療センター	集計対象	518	321	95	80.3
大分	独立行政法人国立病院機構大分医療センター	集計対象	564	396	69	82.4
鹿児島	医療法人徳洲会 大隅鹿屋病院		226	135	29	72.6
鹿児島	公益社団法人鹿児島共済会南風病院		773	429	206	82.1
鹿児島	鹿児島市医師会病院	集計対象	555	231	197	77.1
鹿児島	今村総合病院		593	275	122	66.9
沖縄	社会医療法人敬愛会 中頭病院		1,053	840	59	85.4
沖縄	沖縄県立宮古病院		220	134	15	67.7
沖縄	社会医療法人仁愛会 浦添総合病院	集計対象	660	399	120	78.6
沖縄	社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院	集計対象	530	363	53	78.5
沖縄	国立病院機構 沖縄病院	集計対象	350	106	43	42.6

表 2-2-3 小児がん拠点病院調査参加 2 施設の全登録数及び症例区分 2, 3 の登録数

都道府県	施設名称	集計対象	全登録数	自施設診断 自施設治療 (症例区分 2)	他施設診断 自施設治療 (症例区分 3)	自施設治療 (症例区分 2, 3) 登録 割合
総数		2	131	76	20	73.3
東京	国立成育医療研究センター	集計対象	64	30	20	78.1
神奈川	神奈川県立こども医療センター	集計対象	67	46	(1-3)	70.1

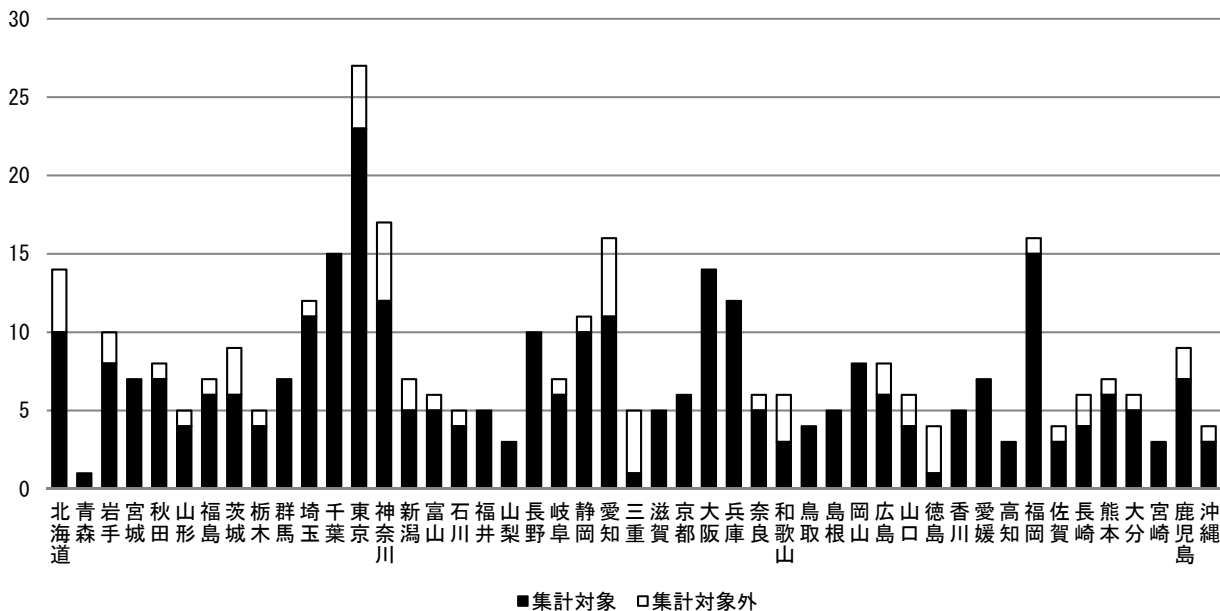


図 2-1 がん診療連携拠点病院等における都道府県・施設別生存状況把握割合(小児がん拠点を除く)

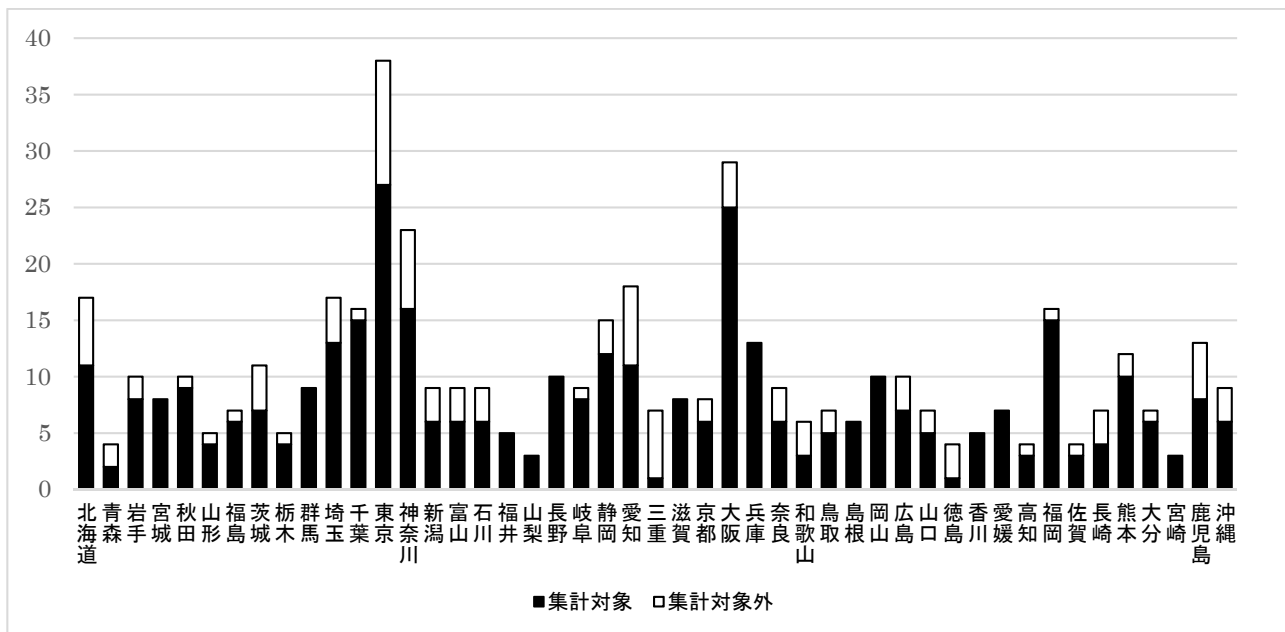


図 2-1 参考 調査参加施設における都道府県・施設別生存状況把握割合

Ⅲ 2014年3年生存率集計 結果詳細(全体) :悪性新生物<腫瘍>

1. 全がん

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2014	421,150	372	135,298	68.2	98.0

(0) 全がんの生存率集計値

全がんでの生存率集計値の算定に当たり、特性が異なるがんの生存率算定の意義について疑問を呈する声もあったが、先行する地域がん登録、全国がんセンター協議会加盟施設における既存生存率集計と比較するため、ここでは院内がん登録3年生存率集計においても全がんでの生存率集計結果について提示する。

(1) 生存状況把握割合

対象者は421,150例で、その内3年以内に死亡していた者は135,298例、打ち切りが8,299例であった。全体として、生存状況把握割合は98.0%であった。

(2) 対象者の属性

本集計対象者の属性を表3-1-1に示す。男性が57.8%、女性が42.2%とやや男性が多かった。診断時の年齢は、男女とも70歳代が最も多く、次いで60歳代となっており、60歳代、70歳代で全体の60.4%を占めた。60.3%の対象者に観血的治療が実施されており、53.6%が原発巣・治癒切除であった。発見経緯別にみると、その他・不明が半数以上であった。部位別にみると、男性では胃、肺、前立腺、大腸の順に、女性では乳房、大腸、胃の順に多かった。

表 3-1-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	243,399	100.0	177,751	100.0	421,150	100.0
拠点病院等	224,998	92.4	165,172	92.9	390,170	92.6
都道府県推薦病院	18,342	7.5	12,579	7.1	30,921	7.3
小児がん拠点	59	0.0	37	0.0	96	0.0
年齢						
平均年齢(SD)	69.6	(SD:11.7)	66.1	(SD:14.9)	68.2	(SD:13.3)
0-14歳	718	0.3	587	0.3	1,305	0.3
15-39歳	4,196	1.7	8,102	4.6	12,298	2.9
40歳代	7,902	3.2	18,210	10.2	26,112	6.2
50歳代	22,961	9.4	24,941	14.0	47,902	11.4
60歳代	72,599	29.8	43,737	24.6	116,336	27.6
70歳代	90,122	37.0	47,921	27.0	138,043	32.8
80歳以上	44,901	18.4	34,253	19.3	79,154	18.8
観血的治療						
有	133,006	54.6	120,912	68.0	253,918	60.3
原発巣・治癒切除	117,834	48.4	107,848	60.7	225,682	53.6
原発巣・非治癒切除	11,626	4.8	9,750	5.5	21,376	5.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	3,546	1.5	3,314	1.9	6,860	1.6
無	110,393	45.4	56,839	32.0	167,232	39.7
発見経緯						
がん検診	15,995	6.6	15,166	8.5	31,161	7.4
健康診断・人間ドック	22,144	9.1	11,516	6.5	33,660	8.0
他疾患経過観察中	84,052	34.5	45,710	25.7	129,762	30.8
その他・不明	121,208	49.8	105,359	59.3	226,567	53.8
部位						
口腔咽頭	8,728	3.6	3,320	1.9	12,048	2.9
食道	11,378	4.7	2,011	1.1	13,389	3.2
胃	41,655	17.1	17,782	10.0	59,437	14.1
結腸	18,969	7.8	15,655	8.8	34,624	8.2
直腸	12,390	5.1	6,846	3.9	19,236	4.6
大腸(再掲)	31,359	12.9	22,501	12.7	53,860	12.8
肝臓	11,397	4.7	4,995	2.8	16,392	3.9
胆嚢胆管	4,900	2.0	3,739	2.1	8,639	2.1
膵臓	8,410	3.5	6,834	3.8	15,244	3.6
喉頭	3,141	1.3	235	0.1	3,376	0.8
肺	36,263	14.9	17,205	9.7	53,468	12.7
骨軟部	1,245	0.5	934	0.5	2,179	0.5
皮膚	5,743	2.4	5,255	3.0	10,998	2.6
乳房	241	0.1	37,453	21.1	37,694	9.0
子宮頸部	-		6,678	3.8	6,678	1.6
子宮体部	-		8,656	4.9	8,656	2.1
子宮	-		12	0.0	12	0.0
卵巣	-		5,307	3.0	5,307	1.3
前立腺	34,031	14.0	-		34,031	8.1
膀胱	6,226	2.6	1,901	1.1	8,127	1.9
腎尿路	8,710	3.6	3,846	2.2	12,556	3.0
脳神経	4,297	1.8	5,786	3.3	10,083	2.4
甲状腺	2,037	0.8	5,303	3.0	7,340	1.7
悪性リンパ腫	8,403	3.5	7,355	4.1	15,758	3.7
多発性骨髄腫	1,795	0.7	1,459	0.8	3,254	0.8
白血病	3,466	1.4	2,371	1.3	5,837	1.4
その他の血液	3,383	1.4	1,969	1.1	5,352	1.3
その他	6,591	2.7	4,844	2.7	11,435	2.7

参考 対象者の属性(がん診療連携拠点病院等)

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	224,998	100.0	165,172	100.0	390,170	100.0
年齢						
平均年齢(SD)	69.5	(SD:11.7)	65.9	(SD:14.9)	68.0	(SD:13.2)
0-14歳	650	0.3	548	0.3	1,198	0.3
15-39歳	4,001	1.8	7,720	4.7	11,721	3.0
40歳代	7,434	3.3	17,178	10.4	24,612	6.3
50歳代	21,556	9.6	23,451	14.2	45,007	11.5
60歳代	67,570	30.0	40,973	24.8	108,543	27.8
70歳代	82,864	36.8	44,334	26.8	127,198	32.6
80歳以上	40,923	18.2	30,968	18.7	71,891	18.4
観血的治療						
有	123,143	54.7	112,534	68.1	235,677	60.4
原発巣・治癒切除	109,011	48.4	100,367	60.8	209,378	53.7
原発巣・非治癒切除	10,868	4.8	9,074	5.5	19,942	5.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	3,264	1.5	3,093	1.9	6,357	1.6
無	101,855	45.3	52,638	31.9	154,493	39.6
発見経緯						
がん検診	14,987	6.7	14,298	8.7	29,285	7.5
健康診断・人間ドック	20,561	9.1	10,716	6.5	31,277	8.0
他疾患経過観察中	77,469	34.4	42,355	25.6	119,824	30.7
その他・不明	111,981	49.8	97,803	59.2	209,784	53.8
部位						
口腔咽頭	8,482	3.8	3,238	2.0	11,720	3.0
食道	10,868	4.8	1,931	1.2	12,799	3.3
胃	38,332	17.0	16,307	9.9	54,639	14.0
結腸	17,007	7.6	14,085	8.5	31,092	8.0
直腸	11,151	5.0	6,123	3.7	17,274	4.4
大腸(再掲)	28,158	12.5	20,208	12.2	48,366	12.4
肝臓	10,455	4.6	4,595	2.8	15,050	3.9
胆嚢胆管	4,410	2.0	3,330	2.0	7,740	2.0
膵臓	7,771	3.5	6,262	3.8	14,033	3.6
喉頭	3,039	1.4	223	0.1	3,262	0.8
肺	33,419	14.9	15,904	9.6	49,323	12.6
骨軟部	1,217	0.5	906	0.5	2,123	0.5
皮膚	5,482	2.4	5,003	3.0	10,485	2.7
乳房	222	0.1	34,848	21.1	35,070	9.0
子宮頸部	-		6,423	3.9	6,423	1.6
子宮体部	-		8,192	5.0	8,192	2.1
子宮	-		12	0.0	12	0.0
卵巣	-		5,025	3.0	5,025	1.3
前立腺	31,096	13.8	-		31,096	8.0
膀胱	5,668	2.5	1,704	1.0	7,372	1.9
腎尿路	8,175	3.6	3,590	2.2	11,765	3.0
脳神経	4,097	1.8	5,537	3.4	9,634	2.5
甲状腺	1,919	0.9	4,944	3.0	6,863	1.8
悪性リンパ腫	7,954	3.5	7,003	4.2	14,957	3.8
多発性骨髄腫	1,689	0.8	1,363	0.8	3,052	0.8
白血病	3,230	1.4	2,196	1.3	5,426	1.4
その他の血液	3,155	1.4	1,850	1.1	5,005	1.3
その他	6,160	2.7	4,578	2.8	10,738	2.8

参考 対象者の属性(都道府県推薦病院と小児がん拠点病院)

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	18,401	100.0	12,579	100.0	30,980	100.0
年齢						
平均年齢	71.1	(SD:11.2)	69.0	(SD:14.7)	70.2	(SD:12.8)
0-14歳	68	0.4	39	0.3	107	0.3
15-39歳	195	1.1	382	3.0	577	1.9
40歳代	468	2.5	1,032	8.2	1,500	4.8
50歳代	1,405	7.6	1,490	11.8	2,895	9.3
60歳代	5,029	27.3	2,764	22.0	7,793	25.2
70歳代	7,258	39.4	3,587	28.5	10,845	35.0
80歳以上	3,978	21.6	3,285	26.1	7,263	23.4
観血的治療						
有	9,863	53.6	8,378	66.6	18,241	58.9
原発巣・治癒切除	8,823	47.9	7,481	59.5	16,304	52.6
原発巣・非治癒切除	758	4.1	676	5.4	1,434	4.6
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	282	1.5	221	1.8	503	1.6
無	8,538	46.4	4,201	33.4	12,739	41.1
発見経緯						
がん検診	1,008	5.5	868	6.9	1,876	6.1
健康診断・人間ドック	1,583	8.6	800	6.4	2,383	7.7
他疾患経過観察中	6,583	35.8	3,355	26.7	9,938	32.1
その他・不明	9,227	50.1	7,556	60.1	16,783	54.2
部位						
口腔咽頭	246	1.3	82	0.7	328	1.1
食道	510	2.8	80	0.6	590	1.9
胃	3,323	18.1	1,475	11.7	4,798	15.5
結腸	1,962	10.7	1,570	12.5	3,532	11.4
直腸	1,239	6.7	723	5.7	1,962	6.3
大腸(再掲)	3,201	17.4	2,293	18.2	5,494	17.7
肝臓	942	5.1	400	3.2	1,342	4.3
胆嚢胆管	490	2.7	409	3.3	899	2.9
膵臓	639	3.5	572	4.5	1,211	3.9
喉頭	102	0.6	12	0.1	114	0.4
肺	2,844	15.5	1,301	10.3	4,145	13.4
骨軟部	28	0.2	28	0.2	56	0.2
皮膚	261	1.4	252	2.0	513	1.7
乳房	19	0.1	2,605	20.7	2,624	8.5
子宮頸部	-		255	2.0	255	0.8
子宮体部	-		464	3.7	464	1.5
子宮	-		0	0.0	0	0.0
卵巣	-		282	2.2	282	0.9
前立腺	2,935	16.0	-		2,935	9.5
膀胱	558	3.0	197	1.6	755	2.4
腎尿路	535	2.9	256	2.0	791	2.6
脳神経	200	1.1	249	2.0	449	1.4
甲状腺	118	0.6	359	2.9	477	1.5
悪性リンパ腫	449	2.4	352	2.8	801	2.6
多発性骨髄腫	106	0.6	96	0.8	202	0.7
白血病	236	1.3	175	1.4	411	1.3
その他の血液	228	1.2	119	0.9	347	1.1
その他	431	2.3	266	2.1	697	2.2

(3)3 年生存率

表 3-1-2 に、実測生存率及び相対生存率を示す。年齢が高いほど実測生存率と相対生存率との乖離が大きくなっているが、これは若年者と比較して高齢者ではがん以外の要因で死亡する例が多くなることが影響していると考えられる。観血的治療の実施別にみると、男女ともに観血的治療有、特に原発巣・治癒切除例において生存率が高くなっていた。

表 3-1-2 属性別 3 年生存率

	生存率											
	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	63.6	69.7	69.4	69.9	73.1	76.5	76.2	76.7	67.6	72.6	72.4	72.7
拠点病院等	63.8	69.9	69.6	70.1	73.5	76.8	76.6	77.0	67.9	72.8	72.7	73.0
都道府県推薦病院	60.7	67.1	66.3	67.9	67.7	71.7	70.9	72.6	63.5	69.0	68.4	69.6
年齢												
0-14 歳	87.5	87.5	84.9	89.8	88.0	88.1	85.1	90.4	87.7	87.8	85.9	89.4
15-39 歳	83.2	83.4	82.2	84.5	89.2	89.3	88.6	90.0	87.2	87.3	86.7	87.9
40 歳代	76.7	77.1	76.1	78.0	89.9	90.2	89.8	90.6	85.9	86.3	85.9	86.7
50 歳代	72.5	73.6	73.0	74.2	84.2	84.8	84.3	85.3	78.6	79.4	79.1	79.8
60 歳代	69.1	71.8	71.4	72.1	77.8	79.0	78.6	79.4	72.4	74.5	74.2	74.8
70 歳代	63.8	69.9	69.5	70.2	70.1	73.0	72.6	73.5	66.0	71.0	70.7	71.3
80 歳以上	45.2	59.9	59.3	60.5	49.9	60.0	59.3	60.6	47.2	59.9	59.5	60.4
観血的治療												
有	80.7	87.7	87.4	87.9	87.7	91.3	91.1	91.5	84.0	89.4	89.3	89.6
原発巣・治癒切除	83.4	90.7	90.5	90.9	90.4	94.0	93.9	94.2	86.7	92.3	92.2	92.5
原発巣・非治癒切除	55.6	60.1	59.1	61.1	61.9	64.2	63.2	65.2	58.4	62.0	61.3	62.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	70.6	77.0	75.3	78.6	78.2	81.2	79.7	82.7	74.3	79.1	77.9	80.2
無	42.9	47.6	47.3	47.9	41.6	44.3	43.8	44.7	42.5	46.5	46.2	46.7

2. 胃癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2014	57,541	367	17,238	71.1	98.1
I 期	36,349	366	3,926	71.2	97.9
II 期	5,174	363	1,457	71.2	98.1
III 期	5,880	366	2,902	71.0	98.1
IV 期	9,297	366	8,282	70.1	98.7

(1) 生存状況把握割合

集計対象者は、57,541 例で、3 年以内に死亡していた者は 17,238 例、打ち切りが 1,102 例で、生存状況把握割合は、全体で 98.1%であった。

(2) 対象者の属性

胃の集計対象者の属性を表 3-2-1 に示す。性別にみると、男性が 7 割以上を占めた。診断時の年齢は、

70 歳代が最も多く、次いで 60 歳代となっており、60 歳代・70 歳代で全体の約 6 割以上を占めた。UICC TNM 分類総合ステージを見ると、I 期が約 6 割、次いで IV 期が 16.2%を占めた。80.1%において観血的治療が実施されており、74.6%が原発巣・治癒切除例であった。発見経緯としては、他疾患経過観察中が 33.9%であった。

表 3-2-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	40,637	100.0	16,904	100.0	57,541	100.0
拠点病院等	37,377	92.0	15,491	91.6	52,868	91.9
都道府県推薦病院	3,260	8.0	1,413	8.4	4,673	8.1
年齢						
平均年齢 (SD)	71.0	(SD:9.9)	71.4	(SD:12.0)	71.1	(SD:10.5)
0-14 歳	(1-3)		(1-3)		(1-3)	
15-39 歳	271	0.7	294	1.7	565	1.0
40 歳代	852	2.1	670	4.0	1,522	2.6
50 歳代	3,409	8.4	1,448	8.6	4,857	8.4
60 歳代	12,000	29.5	4,036	23.9	16,036	27.9
70 歳代	16,063	39.5	5,920	35.0	21,983	38.2
80 歳以上	8,041	19.8	4,534	26.8	12,575	21.9
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	26,065	64.1	10,284	60.8	36,349	63.2
II 期	3,535	8.7	1,639	9.7	5,174	9.0
III 期	4,032	9.9	1,848	10.9	5,880	10.2
IV 期	6,446	15.9	2,851	16.9	9,297	16.2
不詳	559	1.4	282	1.7	841	1.5
観血的治療						
有	32,701	80.5	13,378	79.1	46,079	80.1
原発巣・治癒切除	30,462	75.0	12,436	73.6	42,898	74.6
原発巣・非治癒切除	1,899	4.7	804	4.8	2,703	4.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	340	0.8	138	0.8	478	0.8
無	7,936	19.5	3,526	20.9	11,462	19.9
発見経緯						
がん検診	3,848	9.5	1,488	8.8	5,336	9.3
健康診断・人間ドック	5,143	12.7	1,558	9.2	6,701	11.6
他疾患経過観察中	14,436	35.5	5,092	30.1	19,528	33.9
その他・不明	17,210	42.4	8,766	51.9	25,976	45.1

(3)3年生存率

男女別にみた3年相対生存率はほぼ同様であった。年代別にみると、80歳以上では相対生存率と実測生存率の差が広がる傾向があった。また、観血治療を受けた者では、相対生存率は全体で90%以上であった。

表 3-2-2 属性別3年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	69.4	76.4	75.9	76.9	70.8	75.2	74.5	75.9	69.8	76.1	75.7	76.5
拠点病院等	69.8	76.9	76.3	77.4	71.4	75.7	75.0	76.5	70.3	76.5	76.1	77.0
都道府県推薦病院	64.5	71.6	69.8	73.4	64.0	69.1	66.3	71.7	64.4	70.9	69.3	72.4
年齢												
15-39歳	67.0	67.2	61.1	72.5	65.5	65.5	59.7	70.8	66.2	66.3	62.2	70.1
40歳代	74.5	75.0	71.9	77.8	73.4	73.6	70.1	76.8	74.0	74.4	72.1	76.5
50歳代	78.2	79.4	77.9	80.8	77.6	78.2	75.9	80.3	78.0	79.0	77.8	80.2
60歳代	75.2	78.1	77.3	78.9	76.8	78.0	76.6	79.3	75.6	78.1	77.4	78.8
70歳代	70.8	77.7	76.9	78.4	75.0	78.2	77.1	79.4	71.9	77.8	77.2	78.5
80歳以上	53.5	70.4	68.9	71.8	57.7	68.3	66.6	70.0	55.0	69.6	68.5	70.7
UICC TNM 総合ステージ												
I期	87.9	97.0	96.5	97.4	92.0	97.7	97.2	98.3	89.1	97.2	96.9	97.6
II期	70.4	77.7	76.0	79.3	74.0	78.7	76.4	80.9	71.6	78.0	76.7	79.4
III期	49.1	53.8	52.0	55.4	52.1	55.2	52.8	57.6	50.1	54.2	52.8	55.6
IV期	10.3	11.2	10.4	12.0	9.4	9.8	8.7	11.0	10.0	10.8	10.1	11.4
不詳	19.5	23.4	19.6	27.5	17.7	20.6	15.6	26.2	18.9	22.5	19.4	25.7
観血的治療												
有	83.1	91.2	90.7	91.6	85.9	90.8	90.1	91.4	83.9	91.1	90.7	91.4
原発巣・治癒切除	85.7	94.0	93.6	94.5	89.2	94.2	93.6	94.7	86.7	94.1	93.7	94.4
原発巣・非治癒切除	43.1	48.0	45.5	50.5	37.8	40.4	36.8	44.0	41.5	45.7	43.6	47.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	67.0	75.2	69.3	80.5	69.5	74.7	65.7	82.2	67.7	75.1	70.2	79.5
無	12.4	14.1	13.3	14.9	13.0	14.4	13.2	15.7	12.6	14.2	13.5	14.9

3. 大腸癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2014	52,206	368	14,286	69.9	98.1
0期*	19,579	368	1,462	68.1	98.7
I期	14,084	368	1,503	69.5	98.0
II期	13,458	365	2,125	71.4	98.1
III期	13,690	367	2,865	68.9	98.2
IV期	10,199	368	7,195	68.9	98.1

*全体集計には含まれていない

(1) 生存状況把握割合

集計対象 52,206 例のうち、3 年以内に死亡していた者は 14,286 例、打ち切りが 1,004 例で、全体として生存状況把握割合は 98.1%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-3①-1 に示す。性別にみると、女性より男性がやや多く男性が約 58%を占めた。診断時の

年齢は、男女ともに 70 歳代が最も多く、次いで 60 歳代が多くなっていた。UICC TNM 分類総合ステージ別に見ると、全体では I、II、III 期ともに 25%前後にばらついていた。86.0%の対象者がなんらかの観血的治療を受けており、77.3%が原発巣・治癒切除例であった。発見経緯としては、他疾患経過観察中が 24.0%、がん検診が 10.3%、健康診断・人間ドックが 8.4%であった。

表 3-3①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	30,457	100.0	21,749	100.0	52,206	100.0
拠点病院等	27,358	89.8	19,533	89.8	46,891	89.8
都道府県推薦病院	3,099	10.2	2,216	10.2	5,315	10.2
年齢						
平均年齢 (SD)	69.3	(SD:11.0)	70.6	(SD:12.5)	69.9	(SD:11.7)
0-14 歳	(1-3)		0	0.0	(1-3)	
15-39 歳	382	1.3	340	1.6	722	1.4
40 歳代	1,200	3.9	1,035	4.8	2,235	4.3
50 歳代	3,413	11.2	2,444	11.2	5,857	11.2
60 歳代	9,450	31.0	5,420	24.9	14,870	28.5
70 歳代	10,565	34.7	6,849	31.5	17,414	33.4
80 歳以上	5,446	17.9	5,661	26.0	11,107	21.3
UICC TNM 分類総合ステージ						
0期*	12,861	-	6,718	-	19,579	-
I期	8,751	28.7	5,333	24.5	14,084	27.0
II期	7,704	25.3	5,754	26.5	13,458	25.8
III期	7,774	25.5	5,916	27.2	13,690	26.2
IV期	5,788	19.0	4,411	20.3	10,199	19.5
不詳	440	1.4	335	1.5	775	1.5
観血的治療						
有	26,180	86.0	18,728	86.1	44,908	86.0
原発巣・治癒切除	23,581	77.4	16,755	77.0	40,336	77.3
原発巣・非治癒切除	2,238	7.3	1,717	7.9	3,955	7.6
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	361	1.2	256	1.2	617	1.2
無	4,277	14.0	3,021	13.9	7,298	14.0
発見経緯						
がん検診	3,074	10.1	2,327	10.7	5,401	10.3
健康診断・人間ドック	2,776	9.1	1,635	7.5	4,411	8.4
他疾患経過観察中	7,827	25.7	4,710	21.7	12,537	24.0
その他・不明	16,780	55.1	13,077	60.1	29,857	57.2

*全体集計対象には含まれていない

(3)3 年生存率

3 年生存率を表 3-3①-2 に示す。3 年相対生存率は、男女ともほぼ同様であり全体では約 78～79%であった。他の部位と同様、年代が高くなるほど、実測生存率と相対生存率の差が大きくなるが、これは高齢者ほど他疾患で亡くなる例が少なくないためと考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別に相対生存率をみると、I 期では約 96%、II 期では約 92%であった。観血的治療を受けたものは、相対生存率は 87.8%であり、原発巣・治癒切除例においては 92.0%であった。

表 3-3①-2 属性別 3 年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	71.9	78.7	78.1	79.3	73.0	77.6	76.9	78.2	72.4	78.2	77.8	78.6
拠点病院等	71.9	78.6	78.1	79.2	73.2	77.6	77.0	78.3	72.5	78.2	77.8	78.7
都道府県推薦病院	72.0	79.3	77.5	81.0	71.5	76.8	74.7	78.8	71.8	78.2	76.9	79.5
年齢												
15-39 歳	79.0	79.2	74.6	83.0	80.4	80.5	75.9	84.4	79.7	79.8	76.6	82.6
40 歳代	80.7	81.2	78.8	83.4	83.0	83.2	80.8	85.4	81.8	82.1	80.5	83.7
50 歳代	81.0	82.3	80.9	83.6	81.8	82.4	80.8	83.9	81.3	82.3	81.3	83.3
60 歳代	78.1	81.1	80.2	81.9	80.5	81.7	80.6	82.8	78.9	81.3	80.6	82.0
70 歳代	71.5	78.4	77.4	79.3	76.4	79.7	78.7	80.8	73.5	78.9	78.2	79.6
80 歳以上	53.9	71.8	70.0	73.6	55.6	66.9	65.3	68.5	54.8	69.3	68.1	70.5
UICC TNM 総合ステージ												
0 期*	91.1	98.4	97.9	99.0	94.9	99.1	98.5	99.6	92.4	98.7	98.2	99.1
I 期	87.5	95.4	94.7	96.2	92.1	97.1	96.3	97.9	89.2	96.1	95.5	96.6
II 期	82.7	91.8	90.9	92.7	85.8	92.4	91.4	93.3	84.1	92.1	91.4	92.7
III 期	78.0	84.9	83.9	85.9	80.0	84.6	83.5	85.6	78.9	84.7	84.0	85.5
IV 期	29.3	31.6	30.3	32.8	27.7	29.0	27.6	30.4	28.6	30.4	29.5	31.4
不詳	23.7	27.6	23.0	32.4	17.8	21.4	16.6	26.7	21.1	24.9	21.6	28.5
観血的治療												
有	80.7	88.2	87.7	88.7	82.4	87.2	86.6	87.8	81.4	87.8	87.4	88.2
原発巣・治癒切除	84.3	92.1	91.6	92.6	86.7	91.8	91.3	92.3	85.3	92.0	91.6	92.4
原発巣・非治癒切除	44.3	47.9	45.7	50.1	42.3	44.6	42.1	47.0	43.4	46.5	44.8	48.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	76.2	81.7	76.6	86.1	65.6	69.1	62.6	74.9	71.8	76.5	72.5	80.1
無	17.4	19.3	18.0	20.6	14.1	15.5	14.2	16.9	16.0	17.7	16.8	18.7

*全体集計には含まれていない

結腸癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2014	34,129	368	9,718	71.2	98.0
0期*	14,513	368	1,097	68.4	96.0
I期	9,226	368	1,035	70.5	97.9
II期	9,398	365	1,515	72.6	98.0
III期	8,290	367	1,794	70.5	98.2
IV期	6,659	367	4,927	70.2	98.2

*全体集計には含まれていない

(1) 生存状況把握割合

対象数は、34,129例、うち死亡数が9,718例、打ち切り数が670例で生存状況把握割合は98.0%であった。

(2) 対象者の属性

男性が約55%、女性が約45%を占め、平均年齢は、71.2歳であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、I～III期が約25%前後であった。約87%になんらかの観血的治療が実施されていた。

表 3-3②-1 結腸 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	18,751	100.0	15,378	100.0	34,129	100.0
拠点病院等	16,816	89.7	13,849	90.1	30,665	89.9
都道府県推薦病院	1,935	10.3	1,529	9.9	3,464	10.1
年齢						
平均年齢 (SD)	70.7	(SD:10.8)	71.8	(SD:12.2)	71.2	(SD:11.5)
0-14歳	(1-3)		0	0.0	(1-3)	
15-39歳	204	1.1	200	1.3	404	1.2
40歳代	595	3.2	611	4.0	1,206	3.5
50歳代	1,687	9.0	1,502	9.8	3,189	9.3
60歳代	5,393	28.8	3,591	23.4	8,984	26.3
70歳代	6,911	36.9	5,013	32.6	11,924	34.9
80歳以上	3,960	21.1	4,461	29.0	8,421	24.7
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	9,495	-	5,018	-	14,513	-
I期	5,579	29.8	3,647	23.7	9,226	27.0
II期	5,089	27.1	4,309	28.0	9,398	27.5
III期	4,293	22.9	3,997	26.0	8,290	24.3
IV期	3,490	18.6	3,169	20.6	6,659	19.5
不詳	300	1.6	256	1.7	556	1.6
観血的治療						
有	16,308	87.0	13,316	86.6	29,624	86.8
原発巣・治癒切除	14,718	78.5	11,906	77.4	26,624	78.0
原発巣・非治癒切除	1,384	7.4	1,238	8.1	2,622	7.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	206	1.1	172	1.1	378	1.1
無	2,443	13.0	2,062	13.4	4,505	13.2
発見経緯						
がん検診	1,928	10.3	1,778	11.6	3,706	10.9
健康診断・人間ドック	1,719	9.2	1,210	7.9	2,929	8.6
他疾患経過観察中	5,668	30.2	3,740	24.3	9,408	27.6
その他・不明	9,436	50.3	8,650	56.2	18,086	53.0

*全体集計には含まれていない

(3)3年生存率

表 3-3②-2 結腸に、属性別 3 年実測生存率と相対生存率を示す。年齢が高くなるほど実測生存率と相対生存率の差に乖離が大きくなる傾向にあった。これは年齢が高いほどがん以外の死因で亡くなる確率が高くなることが影響していると考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別に見ると、I 期、II 期では相対生存率は 90% 以上であった。

表 3-3②-2 結腸 属性別 3 年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	70.9	78.4	77.7	79.1	71.7	76.6	75.9	77.4	71.3	77.6	77.1	78.1
拠点病院等	70.8	78.2	77.5	79.0	71.9	76.7	75.9	77.5	71.3	77.6	77.0	78.1
都道府県推薦病院	72.0	80.2	77.9	82.3	70.1	75.6	73.1	78.0	71.2	78.1	76.4	79.8
年齢												
15-39 歳	78.2	78.4	71.9	83.5	77.9	78.0	71.5	83.1	78.0	78.2	73.7	81.9
40 歳代	79.9	80.4	76.9	83.4	82.2	82.5	79.2	85.3	81.1	81.5	79.1	83.6
50 歳代	79.5	80.7	78.7	82.6	79.7	80.2	78.1	82.2	79.6	80.5	79.0	81.9
60 歳代	77.8	80.8	79.6	81.9	80.2	81.4	80.1	82.7	78.7	81.0	80.1	81.9
70 歳代	71.8	78.7	77.5	79.9	76.1	79.4	78.1	80.6	73.6	79.0	78.1	79.8
80 歳以上	54.6	73.0	70.9	75.1	55.5	67.0	65.2	68.7	55.1	69.8	68.4	71.1
UICC TNM 総合ステージ												
0 期*	90.9	98.5	97.9	99.1	94.8	99.1	98.4	99.7	92.3	98.7	98.2	99.2
I 期	86.9	95.5	94.5	96.4	91.4	96.8	95.8	97.7	88.7	96.0	95.3	96.7
II 期	82.1	92.2	91.0	93.4	85.7	92.7	91.5	93.8	83.7	92.4	91.6	93.2
III 期	77.3	85.1	83.7	86.5	79.1	84.2	82.8	85.5	78.2	84.6	83.7	85.6
IV 期	25.3	27.5	26.0	29.1	25.0	26.3	24.8	28.0	25.2	27.0	25.8	28.1
不詳	20.3	24.0	18.8	29.7	15.3	19.0	13.8	24.9	18.0	21.7	17.9	25.8
観血的治療												
有	79.5	87.7	87.0	88.4	81.0	86.2	85.5	86.9	80.2	87.0	86.5	87.5
原発巣・治癒切除	83.3	92.0	91.4	92.7	85.7	91.2	90.5	91.9	84.4	91.7	91.2	92.1
原発巣・非治癒切除	39.6	43.1	40.3	46.0	38.6	40.9	38.0	43.8	39.2	42.1	40.1	44.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	74.0	80.2	73.1	86.1	63.5	67.6	59.4	74.8	69.2	74.4	69.1	79.2
無	13.0	14.7	13.2	16.3	10.7	12.0	10.5	13.5	12.0	13.5	12.4	14.6

*全体集計には含まれていない

直腸癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2014	18,077	368	4,568	67.4	98.2
0期*	5,066	365	365	67.2	98.5
I期	4,858	365	468	67.6	98.3
II期	4,060	363	610	68.8	98.2
III期	5,400	366	1,071	66.5	98.2
IV期	3,540	366	2,268	66.5	97.9

*全体集計には含まれていない

(1) 生存状況把握割合

対象数は、18,077例、うち死亡数が4,568例、打ち切り数が334例で生存状況把握割合は98.2%であった。

(2) 対象者の属性

男性が約65%、女性が約35%を占め、平均年齢は、67.4歳であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、III期が約30%であった。約85%にんらかの観血的治療が実施されていた。

表 3-3③-1 直腸 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	11,706	100.0	6,371	100.0	18,077	100.0
拠点病院等	10,542	90.1	5,684	89.2	16,226	89.8
都道府県推薦病院	1,164	9.9	687	10.8	1,851	10.2
年齢						
平均年齢 (SD)	67.2	(SD:11.0)	67.8	(SD:12.6)	67.4	(SD:11.6)
15-39歳	178	1.5	140	2.2	318	1.8
40歳代	605	5.2	424	6.7	1,029	5.7
50歳代	1,726	14.7	942	14.8	2,668	14.8
60歳代	4,057	34.7	1,829	28.7	5,886	32.6
70歳代	3,654	31.2	1,836	28.8	5,490	30.4
80歳以上	1,486	12.7	1,200	18.8	2,686	14.9
UICC TNM 分類総合ステージ						
0期*	3,366	-	1,700	-	5,066	-
I期	3,172	27.1	1,686	26.5	4,858	26.9
II期	2,615	22.3	1,445	22.7	4,060	22.5
III期	3,481	29.7	1,919	30.1	5,400	29.9
IV期	2,298	19.6	1,242	19.5	3,540	19.6
不詳	140	1.2	79	1.2	219	1.2
観血的治療						
有	9,872	84.3	5,412	84.9	15,284	84.5
原発巣・治癒切除	8,863	75.7	4,849	76.1	13,712	75.9
原発巣・非治癒切除	854	7.3	479	7.5	1,333	7.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	155	1.3	84	1.3	239	1.3
無	1,834	15.7	959	15.1	2,793	15.5
発見経緯						
がん検診	1,146	9.8	549	8.6	1,695	9.4
健康診断・人間ドック	1,057	9.0	425	6.7	1,482	8.2
他疾患経過観察中	2,159	18.4	970	15.2	3,129	17.3
その他・不明	7,344	62.7	4,427	69.5	11,771	65.1

(3)3年生存率

表 3-3③-2 直腸に、属性別 3 年実測生存率と相対生存率を示す。年齢が高くなるほど実測生存率と相対生存率の差に乖離が大きくなる傾向にあった。これは年齢が高いほどがん以外の死因で亡くなる確率が高くなることが影響していると考えられる。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、全体では I 期、II 期では相対性生存率は 90%以上であった。

表 3-3③-2 直腸 属性別 3 年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	73.6	79.2	78.3	80.0	76.2	79.8	78.7	80.9	74.5	79.4	78.7	80.1
拠点病院等	73.8	79.3	78.4	80.2	76.4	79.8	78.6	81.0	74.7	79.5	78.8	80.2
都道府県推薦病院	71.9	77.9	75.0	80.6	74.7	79.3	75.7	82.6	73.0	78.4	76.2	80.6
年齢												
15-39 歳	79.9	80.1	73.3	85.3	84.0	84.2	76.9	89.3	81.7	81.9	77.1	85.8
40 歳代	81.5	82.0	78.6	84.9	84.0	84.3	80.4	87.5	82.6	83.0	80.5	85.2
50 歳代	82.5	83.8	81.9	85.5	85.1	85.8	83.3	87.9	83.4	84.5	83.0	85.9
60 歳代	78.5	81.5	80.1	82.7	81.0	82.3	80.4	84.0	79.3	81.7	80.6	82.8
70 歳代	71.0	77.6	76.0	79.2	77.5	80.7	78.6	82.6	73.2	78.7	77.4	79.9
80 歳以上	51.9	68.7	65.2	72.0	56.0	66.7	63.3	70.0	53.7	67.8	65.4	70.2
UICC TNM 総合ステージ												
0 期*	91.4	98.2	97.1	99.2	95.0	99.1	97.9	100.0	92.6	98.5	97.7	99.2
I 期	88.5	95.4	94.1	96.6	93.7	97.9	96.6	99.0	90.3	96.3	95.4	97.1
II 期	84.0	91.1	89.5	92.6	86.4	91.5	89.5	93.3	84.9	91.2	90.0	92.4
III 期	78.9	84.6	83.1	86.0	81.9	85.4	83.5	87.1	80.0	84.9	83.7	86.0
IV 期	35.4	37.6	35.5	39.7	34.4	35.7	33.0	38.5	35.1	36.9	35.2	38.6
不詳	31.0	35.2	26.6	44.2	25.9	29.0	18.7	40.5	29.1	33.0	26.2	40.0
観血的治療												
有	82.8	89.0	88.1	89.7	85.7	89.5	88.5	90.4	83.8	89.1	88.5	89.8
原発巣・治癒切除	85.8	92.3	91.5	93.0	89.3	93.3	92.3	94.1	87.1	92.6	92.0	93.2
原発巣・非治癒切除	51.8	55.6	51.9	59.1	51.9	54.0	49.2	58.6	51.8	55.0	52.1	57.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	79.1	83.6	75.9	89.6	69.8	72.3	60.8	81.3	75.9	79.6	73.4	84.8
無	23.2	25.2	23.1	27.4	21.3	23.0	20.2	25.9	22.6	24.4	22.8	26.2

*全体集計には含まれていない

4. 肝細胞癌と肝内胆管癌

肝細胞癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2014	14,031	365	6,288	71.6	98.1
I 期	6,381	357	1,746	72.0	98.1
II 期	4,080	348	1,669	71.2	98.2
III 期	2,362	342	1,790	71.8	98.0
IV 期	968	305	890	70.2	98.7

(1) 生存状況把握割合

対象者は、14,031 例で、そのうち 3 年以内に死亡していたのは 6,288 例、打ち切りが 264 例であった。全体として、生存状況把握割合は 98.1%であった。

男性が約 71%を占めた。年代をみると、70 歳代が最も多く男性で約 38%、女性は約 44%を占めた。UICC TNM 総合ステージ別にみると、全体で I 期が約 46%、II 期が約 29%、III 期が約 17%となっていた。27.4%に観血的治療が実施されていた。発見経緯としては、他疾患経過観察中が約 71%を占めた。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-4①-1 に示す。性別にみると、

表 3-4①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	9,910	100.0	4,121	100.0	14,031	100.0
拠点病院等	9,092	91.7	3,775	91.6	12,867	91.7
都道府県推薦病院	818	8.3	346	8.4	1,164	8.3
年齢						
平均年齢 (SD)	70.6	(SD:9.9)	74.1	(SD:9.4)	71.6	(SD:9.9)
0-14 歳	(1-3)		0	0.0	(1-3)	
15-39 歳	30	0.3	16	0.4	46	0.3
40 歳代	226	2.3	61	1.5	287	2.0
50 歳代	1,033	10.4	191	4.6	1,224	8.7
60 歳代	2,925	29.5	824	20.0	3,749	26.7
70 歳代	3,789	38.2	1,796	43.6	5,585	39.8
80 歳以上	1,906	19.2	1,233	29.9	3,139	22.4
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	4,213	42.5	2,168	52.6	6,381	45.5
II 期	2,897	29.2	1,183	28.7	4,080	29.1
III 期	1,859	18.8	503	12.2	2,362	16.8
IV 期	777	7.8	191	4.6	968	6.9
不詳	164	1.7	76	1.8	240	1.7
取扱い規約治療前ステージ						
I 期	1,896	19.1	1,232	29.9	3,128	22.3
II 期	3,737	37.7	1,548	37.6	5,285	37.7
III 期	2,389	24.1	789	19.1	3,178	22.6
IV 期	1,661	16.8	446	10.8	2,107	15.0
不詳	227	2.3	106	2.6	333	2.4
観血的治療						
有	2,943	29.7	906	22.0	3,849	27.4
原発巣・治癒切除	2,711	27.4	852	20.7	3,563	25.4
原発巣・非治癒切除	161	1.6	41	1.0	202	1.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	71	0.7	13	0.3	84	0.6
無	6,967	70.3	3,215	78.0	10,182	72.6
発見経緯						
がん検診	55	0.6	11	0.3	66	0.5
健康診断・人間ドック	417	4.2	59	1.4	476	3.4
他疾患経過観察中	6,781	68.4	3,106	75.4	9,887	70.5
その他・不明	2,657	26.8	945	22.9	3,602	25.7

(3)3年生存率

3年生存率を表3-4①-2に示す。全体として、相対生存率は男女ともに約59～61%とほぼ同様であった。他の部位と比較して、80歳以上を除き年代による実測生存率と相対生存率の差はやや小さくなっており、予後があまり良くないことを示唆している。UICC TNM分類別にみると、I期では相対生存率は全体で約79%である。観血的治療を受けたものの割合は約3割であるが、観血的治療を受けたものの相対生存率は約84%であった。

表3-4①-2 属性別3年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	53.7	59.0	57.9	60.1	57.3	61.1	59.4	62.7	54.7	59.6	58.7	60.5
拠点病院等	54.1	59.5	58.3	60.6	57.5	61.3	59.6	63.0	55.1	60.0	59.1	60.9
都道府県推薦病院	49.1	54.1	50.3	57.8	54.1	58.3	52.5	63.8	50.6	55.4	52.2	58.5
年齢												
15-39歳	62.0	62.1	42.0	77.1	-	-			70.6	70.7	54.8	81.9
40歳代	59.4	59.8	52.9	66.0	83.1	83.4	71.2	90.9	64.5	64.9	58.9	70.2
50歳代	58.5	59.4	56.3	62.4	67.9	68.4	61.2	74.6	60.0	60.8	58.0	63.6
60歳代	58.2	60.4	58.5	62.3	63.4	64.4	60.9	67.6	59.3	61.3	59.6	62.9
70歳代	55.0	60.4	58.6	62.1	61.5	64.3	61.9	66.6	57.1	61.6	60.2	63.0
80歳以上	40.7	53.2	50.2	56.0	43.5	50.7	47.5	54.0	41.8	52.2	50.0	54.3
UICC TNM 総合ステージ												
I期	73.1	80.7	79.1	82.1	70.9	75.4	73.3	77.4	72.3	78.9	77.6	80.0
II期	58.3	63.7	61.7	65.7	59.4	63.1	60.1	66.0	58.6	63.5	61.9	65.2
III期	24.6	27.2	25.0	29.4	18.4	19.8	16.3	23.6	23.3	25.6	23.7	27.5
IV期	7.4	8.1	6.2	10.3	5.8	6.2	3.2	10.6	7.1	7.7	6.0	9.6
不詳	17.7	19.8	13.6	26.8	19.7	22.6	13.4	33.5	18.3	20.6	15.4	26.5
取扱い規約治療前ステージ												
I期	77.3	83.9	81.8	85.9	77.3	81.7	79.1	84.0	77.3	83.0	81.4	84.5
II期	67.5	74.7	73.0	76.4	63.9	68.3	65.7	70.8	66.4	72.8	71.4	74.2
III期	43.1	47.4	45.2	49.6	41.8	44.6	40.9	48.3	42.8	46.7	44.8	48.6
IV期	13.5	14.9	13.1	16.7	12.3	13.3	10.1	16.8	13.3	14.5	13.0	16.2
不詳	29.6	32.8	25.9	40.0	27.9	30.9	21.4	41.1	29.0	32.2	26.5	38.0
観血的治療												
有	76.9	83.3	81.5	84.9	80.8	84.6	81.8	87.2	77.8	83.6	82.1	85.0
原発巣・治癒切除	78.9	85.4	83.7	87.1	81.6	85.5	82.6	88.1	79.6	85.4	84.0	86.8
原発巣・非治癒切除	49.3	53.6	45.0	61.8	64.3	68.0	49.9	81.5	52.3	56.5	48.7	63.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	62.7	67.1	53.8	78.0	-	-			64.9	69.0	57.0	78.8
無	43.8	48.6	47.3	49.9	50.6	54.3	52.4	56.1	46.0	50.4	49.3	51.5

肝内胆管癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2014	1,908	341	1,408	70.9	98.4
I 期	290	161	105	71.3	98.6
II 期	370	189	227	70.6	99.7
III 期	107	85	65	72.3	99.1
IV 期	1,069	305	950	70.4	97.8

(1) 生存状況把握割合

対象者は、1,908 例で、そのうち3年以内に死亡していたのは1,408 例、打ち切りが31 例であった。全体として、生存状況把握割合は98.4%であった。

男性が約63%を占めた。年代をみると、70歳代が最も多く男性で約40%、女性は約37%を占めた。UICC TNM 総合ステージ別にみると、全体でI 期が約15%、II 期が約19%、III 期が約6%、IV 期が約56%と半数以上をIV 期が占めた。36.9%に観血的治療が実施されていた。発見経緯としては、他疾患経過観察中が約45%を占めた。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-4②-1に示す。性別にみると、

表3-4②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	1,200	100.0	708	100.0	1,908	100.0
拠点病院等	1,104	92.0	668	94.4	1,772	92.9
都道府県推薦病院	96	8.0	40	5.6	136	7.1
年齢						
平均年齢 (SD)	70.4	(SD:10.1)	71.8	(SD:10.7)	70.9	(SD:10.4)
0-14 歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15-39 歳	11	0.9	(4-6)		16	0.8
40 歳代	32	2.7	16	2.3	48	2.5
50 歳代	119	9.9	64	9.0	183	9.6
60 歳代	340	28.3	182	25.7	522	27.4
70 歳代	481	40.1	265	37.4	746	39.1
80 歳以上	217	18.1	176	24.9	393	20.6
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	194	16.2	96	13.6	290	15.2
II 期	241	20.1	129	18.2	370	19.4
III 期	75	6.3	32	4.5	107	5.6
IV 期	643	53.6	426	60.2	1,069	56.0
不詳	47	3.9	25	3.5	72	3.8
取扱い規約治療前ステージ						
I 期	69	5.8	42	5.9	111	5.8
II 期	204	17.0	93	13.1	297	15.6
III 期	183	15.3	121	17.1	304	15.9
IV 期	559	46.6	356	50.3	915	48.0
不詳	185	15.4	96	13.6	281	14.7
観血的治療						
有	458	38.2	246	34.7	704	36.9
原発巣・治癒切除	378	31.5	203	28.7	581	30.5
原発巣・非治癒切除	62	5.2	41	5.8	103	5.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	18	1.5	(1-3)		20	1.0
無	742	61.8	462	65.3	1,204	63.1
発見経緯						
がん検診	(4-6)		(1-3)		(7-9)	
健康診断・人間ドック	83	6.9	54	7.6	137	7.2
他疾患経過観察中	556	46.3	297	41.9	853	44.7
その他・不明	555	46.3	356	50.3	911	47.7

(3)3年生存率

3年生存率を表3-4②-2に示す。全体として、IV期が半数以上を占めていることから相対生存率は男女ともに約27%であった。他の部位と比較して、年代による実測生存率と相対生存率の差はやや小さくなっており、予後があまり良くないことを示唆している。UICC TNM 分類別にみると、I期では相対生存率は全体で約69%である。観血的治療を受けたものの割合は約3割であるが、観血的治療を受けたものの相対生存率は約62%であった。

表3-4②-2 属性別3年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	25.2	27.4	24.8	30.1	25.7	27.0	23.6	30.5	25.4	27.3	25.2	29.4
拠点病院等	25.7	28.0	25.2	30.9	26.2	27.5	24.0	31.1	25.9	27.8	25.6	30.1
都道府県推薦病院	18.8	20.5	12.8	29.7	17.1	18.4	7.7	32.9	18.2	19.8	13.3	27.4
年齢												
40歳代	38.0	38.3	21.4	55.1	-	-			33.4	33.6	20.5	47.2
50歳代	30.0	30.5	22.3	39.2	26.5	26.7	16.4	38.2	28.8	29.2	22.6	36.1
60歳代	28.4	29.5	24.6	34.5	32.6	33.1	26.2	40.1	29.8	30.7	26.7	34.8
70歳代	26.9	29.6	25.3	34.0	28.0	29.3	23.7	35.1	27.3	29.5	26.0	33.0
80歳以上	11.6	15.1	10.1	21.2	13.4	15.4	10.2	21.8	12.4	15.3	11.5	19.6
UICC TNM 総合ステージ												
I期	64.6	71.0	63.1	77.9	60.8	63.7	52.6	73.1	63.4	68.5	62.2	74.3
II期	37.5	40.5	33.9	47.1	40.3	42.3	33.4	51.0	38.5	41.2	35.9	46.4
III期	34.7	37.9	26.4	49.6	49.8	52.0	33.0	68.4	39.2	42.2	32.2	52.0
IV期	7.9	8.6	6.5	11.1	12.2	12.8	9.6	16.3	9.6	10.2	8.4	12.3
不詳	16.6	19.1	8.8	32.9	-	-			14.0	16.1	8.2	26.6
取り扱い規約治療前ステージ												
I期	59.9	65.7	51.7	77.3	57.9	61.1	43.5	75.2	59.1	63.9	53.2	73.2
II期	55.2	60.2	52.4	67.3	52.6	55.3	44.2	65.4	54.4	58.6	52.3	64.5
III期	31.2	34.0	26.8	41.5	34.2	35.8	27.0	44.8	32.4	34.7	29.1	40.5
IV期	5.2	5.6	3.8	7.8	8.7	9.1	6.3	12.5	6.5	6.9	5.3	8.8
不詳	32.7	35.9	27.0	45.1	40.9	43.5	30.3	56.2	35.4	38.5	31.0	46.0
観血的治療												
有	56.6	61.1	56.0	65.9	60.2	62.5	55.8	68.6	57.9	61.6	57.6	65.4
原発巣・治癒切除	62.2	67.1	61.6	72.2	68.4	70.9	63.7	77.1	64.3	68.5	64.1	72.5
原発巣・非治癒切除	29.1	31.2	19.6	43.7	18.8	19.9	8.9	34.2	25.1	26.7	18.1	36.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	-	-			-	-			-	-		
無	5.6	6.2	4.5	8.2	7.2	7.6	5.3	10.4	6.2	6.7	5.3	8.3

5. 小細胞肺癌と非小細胞肺癌

小細胞肺癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2014	4,478	351	3,727	70.9	98.6
I 期	331	184	170	72.1	98.5
II 期	296	170	177	71.5	97.6
III 期	1,219	309	896	70.2	98.4
IV 期	2,582	342	2,446	70.9	98.8

(1) 生存状況把握割合

対象者は、4,478 例で、そのうち3年以内に死亡していた者は、3,727 例、打ち切りが 64 例で、全体として生存状況把握割合は 98.6%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表 3-5①-1 に示す。対象者は、男性が 82.6%を占め、70 歳代が最も多かった。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、全体として I V 期

が約 58%、次いで III 期が約 27%であった。病期分布に男女差はほとんどなく、若干女性で III 期の割合が男性より多かった。観血的治療実施を受けた者の割合は、非小細胞肺癌と比較して低く、約 8%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が約 30%であった。

表 3-5①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	3,697	100.0	781	100.0	4,478	100.0
拠点病院等	3,397	91.9	708	90.7	4,105	91.7
都道府県推薦病院	300	8.1	73	9.3	373	8.3
年齢						
平均年齢 (SD)	70.8	(SD:8.7)	71.1	(SD:9.2)	70.9	(7.8)
0-14 歳	(1-3)		0	0.0	(1-3)	
15-39 歳	(4-6)		(1-3)		(4-6)	
40 歳代	45	1.2	13	1.7	58	1.3
50 歳代	283	7.7	63	8.1	346	7.7
60 歳代	1,261	34.1	241	30.9	1,502	33.5
70 歳代	1,500	40.6	323	41.4	1,823	40.7
80 歳以上	603	16.3	139	17.8	742	16.6
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	288	7.8	43	5.5	331	7.4
II 期	258	7.0	38	4.9	296	6.6
III 期	975	26.4	244	31.2	1,219	27.2
IV 期	2,133	57.7	449	57.5	2,582	57.7
不詳	43	1.2	(7-9)		50	1.1
観血的治療						
有	318	8.6	51	6.5	369	8.2
原発巣・治癒切除	279	7.5	44	5.6	323	7.2
原発巣・非治癒切除	26	0.7	(7-9)		33	0.7
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	13	0.4	0	0.0	13	0.3
無	3,379	91.4	730	93.5	4,109	91.8
発見経緯						
がん検診	149	4.0	14	1.8	163	3.6
健康診断・人間ドック	294	8.0	47	6.0	341	7.6
他疾患経過観察中	1,110	30.0	223	28.6	1,333	29.8
その他・不明	2,144	58.0	497	63.6	2,641	59.0

(3)3年生存率

3年生存率を表3-5①-2に示す。全体での3年相対生存率は、IV期が半数以上を占めることから低く約17%であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、I期では相対生存率が50%を超えていた。観血的治療を受けた者の割合は少ないが、相対生存率は57.6%であった。

表3-5①-2 属性別3年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	15.0	16.2	15.0	17.5	20.4	21.2	18.3	24.2	15.9	17.1	16.0	18.3
拠点病院等	15.3	16.6	15.3	17.9	20.1	20.9	17.9	24.1	16.2	17.3	16.1	18.6
都道府県推薦病院	11.1	12.2	8.6	16.5	22.8	23.9	14.5	34.6	13.3	14.5	11.0	18.6
年齢												
40歳代	33.3	33.5	20.3	47.3	-	-			31.0	31.2	19.8	43.3
50歳代	22.8	23.2	18.4	28.4	27.8	28.0	17.4	39.5	23.7	24.1	19.6	28.8
60歳代	18.5	19.2	17.0	21.5	25.0	25.4	20.0	31.1	19.5	20.2	18.2	22.4
70歳代	13.8	15.1	13.2	17.1	21.6	22.5	17.9	27.4	15.1	16.4	14.6	18.2
80歳以上	5.7	7.3	5.2	10.0	4.9	5.6	2.4	10.7	5.6	7.0	5.1	9.2
UICC TNM 総合ステージ												
I期	45.9	50.3	43.9	56.6	64.9	67.8	50.8	80.6	48.4	52.7	46.7	58.4
II期	38.8	42.0	35.5	48.5	43.4	45.3	28.5	61.0	39.4	42.5	36.4	48.5
III期	23.7	25.5	22.7	28.5	33.6	34.7	28.6	40.9	25.6	27.4	24.8	30.1
IV期	3.9	4.2	3.4	5.1	6.7	6.9	4.7	9.6	4.4	4.7	3.9	5.6
不詳	18.4	20.1	9.0	34.8	-	-			19.9	21.6	10.8	35.2
観血的治療												
有	50.6	54.5	48.4	60.3	73.9	76.6	61.5	87.0	53.8	57.6	52.0	62.9
原発巣・治癒切除	52.6	56.9	50.3	63.0	74.3	77.0	60.5	87.9	55.6	59.6	53.6	65.3
原発巣・非治癒切除	-	-			-	-			42.4	44.8	27.0	61.6
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	-	-							-	-		
無	11.6	12.6	11.4	13.8	16.6	17.3	14.5	20.2	12.5	13.4	12.4	14.5

非小細胞肺癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2014	48,904	369	23,244	70.9	98.3
0期*	278	85	23	66.9	98.2
I期	20,479	358	3,271	70.8	98.4
II期	4,473	344	1,764	71.5	98.0
III期	8,058	3,559	4,872	70.1	98.2
IV期	15,172	367	12,739	71.0	98.1

*全体集計には含まれていない

(1) 生存状況把握割合

対象者は、48,904例で、そのうち3年以内に死亡していた者は、23,244例、打ち切りが846例で、全体として生存状況把握割合は98.3%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-5②-1に示す。対象者は、男性が66.5%を占め、70歳代が最も多かった。UICC

TNM分類総合ステージ別にみると、全体としてI期が約41%、次いでIV期が約31%であった。病期分布に若干女性でI期の割合が男性より多かった。観血的治療実施を受けた者の割合は、小細胞肺癌と比較して多く、48.8%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が約41%であった。

表3-5②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	32,511	100.0	16,393	100.0	48,904	100.0
拠点病院等	29,969	92.2	15,167	92.5	45,136	92.3
都道府県推薦病院	2,542	7.8	1,226	7.5	3,768	7.7
年齢						
平均年齢 (SD)	71.1	(SD:9.7)	70.6	(SD:10.6)	70.9	(SD:10.0)
15-39歳	151	0.5	143	0.9	294	0.6
40歳代	694	2.1	506	3.1	1,200	2.5
50歳代	2,613	8.0	1,498	9.1	4,111	8.4
60歳代	9,881	30.4	4,842	29.5	14,723	30.1
70歳代	12,654	38.9	6,105	37.2	18,759	38.4
80歳以上	6,518	20.0	3,299	20.1	9,817	20.1
UICC TNM 分類総合ステージ						
0期*	131	-	147	-	278	-
I期	12,076	37.1	8,403	51.3	20,479	41.9
II期	3,414	10.5	1,059	6.5	4,473	9.1
III期	6,133	18.9	1,925	11.7	8,058	16.5
IV期	10,371	31.9	4,801	29.3	15,172	31.0
不詳	517	1.6	205	1.3	722	1.5
観血的治療						
有	14,560	44.8	9,286	56.6	23,846	48.8
原発巣・治癒切除	13,578	41.8	8,833	53.9	22,411	45.8
原発巣・非治癒切除	715	2.2	315	1.9	1,030	2.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	267	0.8	138	0.8	405	0.8
無	17,951	55.2	7,107	43.4	25,058	51.2
発見経緯						
がん検診	2,047	6.3	1,437	8.8	3,484	7.1
健康診断・人間ドック	4,037	12.4	2,283	13.9	6,320	12.9
他疾患経過観察中	13,434	41.3	6,816	41.6	20,250	41.4
その他・不明	12,993	40.0	5,857	35.7	18,850	38.5

*全体集計には含まれていない

(3)3年生存率

3年生存率を表3-5②-2に示す。全体での3年相対生存率は、男性が49.6%、女性が68.7%と女性でやや高かった。UICC TNM分類総合ステージ別にみても、やや男性より女性で相対生存率が高い傾向にあった。観血的治療を受けた者(原発巣・治癒切除)では相対生存率は男女とも80%を超えていた。

表3-5②-2 属性別3年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	45.2	49.6	49.0	50.2	65.6	68.7	67.9	69.5	52.0	56.1	55.6	56.6
拠点病院等	45.7	50.1	49.5	50.8	66.3	69.4	68.6	70.2	52.6	56.7	56.2	57.2
都道府県推薦病院	39.4	43.4	41.3	45.5	56.7	60.1	57.1	63.0	45.0	48.9	47.2	50.6
年齢												
15-39歳	65.4	65.6	57.2	72.7	70.6	70.7	62.4	77.6	67.9	68.1	62.3	73.2
40歳代	58.9	59.2	55.4	62.8	77.1	77.3	73.4	80.8	66.6	66.9	64.1	69.6
50歳代	57.0	57.9	55.9	59.8	76.8	77.3	75.1	79.4	64.3	65.0	63.5	66.5
60歳代	52.1	54.1	53.1	55.2	72.8	73.9	72.6	75.2	58.9	60.7	59.9	61.5
70歳代	45.2	49.5	48.6	50.5	67.8	70.7	69.5	71.9	52.6	56.6	55.8	57.3
80歳以上	28.1	36.7	35.3	38.2	43.6	50.9	48.9	52.8	33.3	41.7	40.5	42.9
UICC TNM 総合ステージ												
0期*	84.6	90.5	82.5	96.1	98.0	100.0	96.6	100.0	91.7	96.1	92.0	99.0
I期	78.1	86.0	85.2	86.9	92.2	96.4	95.8	97.0	83.9	90.4	89.8	90.9
II期	57.0	62.5	60.7	64.3	70.2	74.1	71.1	76.9	60.1	65.3	63.7	66.9
III期	34.4	37.2	35.9	38.5	53.1	55.4	53.0	57.7	38.9	41.6	40.5	42.8
IV期	10.5	11.4	10.8	12.1	24.4	25.6	24.3	26.9	14.9	16.0	15.4	16.6
不詳	14.9	18.0	14.4	21.9	20.2	22.9	17.0	29.4	16.4	19.4	16.3	22.7
観血的治療												
有	78.2	84.7	83.9	85.4	92.1	95.5	94.9	96.1	83.6	89.0	88.5	89.5
原発巣・治癒切除	79.8	86.4	85.7	87.2	93.0	96.4	95.9	97.0	85.0	90.5	89.9	90.9
原発巣・非治癒切除	52.8	56.9	52.8	60.8	69.5	72.1	66.4	77.0	57.9	61.6	58.3	64.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	63.9	68.6	62.0	74.5	86.9	90.0	82.9	94.8	71.8	76.1	71.1	80.4
無	18.2	20.3	19.7	21.0	30.5	32.7	31.5	33.8	21.7	23.9	23.3	24.5

*全体集計には含まれていない

6. 女性乳癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2014	37,365	365	2,781	60.1	98.3
0期*	5,602	345	103	57.7	98.2
I期	16,807	360	416	60.0	98.5
II期	13,608	359	697	60.0	98.3
III期	4,583	356	631	60.4	97.6
IV期	2,198	338	980	60.2	98.3

*全体集計には含まれていない

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、37,365例で、3年以内に亡くなっていたのが2,781例、打ち切りが640例であった。集計対象全体での生存状況把握割合は98.3%であった。

(2) 対象者の属性

対象者の属性を表3-6-1に示す。診断時の年齢をみると、60歳代が最も多く、次いで40、50歳代であった。また、35歳未満は、681例であった(1.8%)。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、I期が最も多く約45%、次いでII期が約36%であった。観血的治療の実施割合は、約89%であった。発見経緯を見ると、大腸や肺と比較してがん検診がやや多かった。

表3-6-1 対象者の属性

	対象数	(%)
全体	37,365	100.0
拠点病院等	34,765	93.0
都道府県推薦病院	2,600	7.0
年齢		
平均年齢 (SD)	60.1	(SD:13.8)
15-39歳	2,033	5.4
40歳代	8,099	21.7
50歳代	7,554	20.2
60歳代	9,585	25.7
70歳代	6,825	18.3
80歳以上	3,269	8.7
35歳未満 (再掲)	681	1.8
UICC TNM 分類総合ステージ		
0期*	5,602	-
I期	16,807	45.0
II期	13,608	36.4
III期	4,583	12.3
IV期	2,198	5.9
不詳	169	0.5
観血的治療		
有	33,077	88.5
原発巣・治癒切除	30,773	82.4
原発巣・非治癒切除	1,633	4.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	671	1.8
無	4,288	11.5
発見経緯		
がん検診	7,542	20.2
健康診断・人間ドック	2,166	5.8
他疾患経過観察中	5,303	14.2
その他・不明	22,354	59.8

*全体集計には含まれていない

(3) 3年生存率

3年生存率を表3-6-2に示す。全体として、相対生存率は95.2%であり、どの年代においても相対生存率は90%を超えていた。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、I期、II期では相対生存率は95%以上であるが、IV期では約56%にとどまった。なお、観血的治療実施を受けた者では、治癒切除・非治癒切除に関わらず相対生存率は90%を超えていた。

表3-6-2 属性別3年相対生存率

	女性			
	実測	相対	95%信頼区間	
全体	92.5	95.2	94.9	95.4
拠点病院等	92.6	95.2	94.9	95.5
都道府県推薦病院	91.2	94.7	93.5	95.7
年齢				
15-39歳	93.5	93.6	92.4	94.6
40歳代	96.5	96.8	96.4	97.2
50歳代	94.0	94.7	94.1	95.2
60歳代	93.4	94.8	94.2	95.3
70歳代	91.0	94.7	94.0	95.4
80歳以上	78.8	95.0	93.2	96.6
35歳未満 (再掲)	91.0	91.1	88.6	93.0
UICC TNM 総合ステージ				
0期*	98.1	100.0	100.0	100.0
I期	97.5	100.0	99.8	100.0
II期	94.8	97.7	97.3	98.1
III期	86.1	88.9	87.8	89.9
IV期	54.9	56.4	54.2	58.5
不詳	65.5	72.0	63.4	79.3
観血的治療				
有	96.2	98.6	98.4	98.8
原発巣・治癒切除	96.4	98.8	98.6	99.0
原発巣・非治癒切除	92.7	95.1	93.6	96.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	93.8	96.8	94.6	98.5
無	63.9	67.8	66.3	69.3

*全体集計には含まれていない

7. 食道癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2014	13,281	364	6,447	69.2	98.1
0期*	1,923	287	279	69.8	98.4
I期	5,359	340	1,061	69.4	98.0
II期	1,606	302	689	69.6	98.3
III期	3,796	345	2,525	69.0	98.4
IV期	2,257	341	1,969	68.5	98.3

*全体集計には含まれていない

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、13,281例で、3年以内に亡くなっていたのが6,447例、打ち切りが247例であった。全体として生存状況把握割合は、98.1%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-7-1に示す。集計対象のうち男性が約85%、女性が約15%であった。年齢分布をみると、60歳代が35.1%、70歳代が36.9%と多かった。UICC TNM分類総合ステージをみると、I期が最も多く約40%、次いでIII期が約29%、IV期が約17%、II期が約12%であった。観血的治療の実施割合は全体で約51%であり、約45%が原発巣・治癒切除例であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約28%であった。

表3-7-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	11,294	100.0	1,987	100.0	13,281	100.0
拠点病院等	10,786	95.5	1,909	96.1	12,695	95.6
都道府県推薦病院	508	4.5	78	3.9	586	4.4
年齢						
平均年齢 (SD)	69.3	(SD:9.1)	68.5	(SD:10.9)	69.2	(SD:9.4)
15-39歳	18	0.2	(7-9)		27	0.2
40歳代	230	2.0	87	4.4	317	2.4
50歳代	1,251	11.1	303	15.2	1,554	11.7
60歳代	4,037	35.7	631	31.8	4,668	35.1
70歳代	4,282	37.9	623	31.4	4,905	36.9
80歳以上	1,476	13.1	334	16.8	1,810	13.6
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	1,581	-	342	-	1,923	-
I期	4,589	40.6	770	38.8	5,359	40.4
II期	1,345	11.9	261	13.1	1,606	12.1
III期	3,241	28.7	555	27.9	3,796	28.6
IV期	1,904	16.9	353	17.8	2,257	17.0
不詳	215	1.9	48	2.4	263	2.0
観血的治療						
有	5,694	50.4	1,038	52.2	6,732	50.7
原発巣・治癒切除	5,064	44.8	936	47.1	6,000	45.2
原発巣・非治癒切除	486	4.3	80	4.0	566	4.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	144	1.3	22	1.1	166	1.2
無	5,600	49.6	949	47.8	6,549	49.3
発見経緯						
がん検診	406	3.6	52	2.6	458	3.4
健康診断・人間ドック	1,066	9.4	121	6.1	1,187	8.9
他疾患経過観察中	3,274	29.0	450	22.6	3,724	28.0
その他・不明	6,548	58.0	1,364	68.6	7,912	59.6

*全体集計には含まれていない

(3) 3年生存率

3年生存率を表3-7-2に示す。全体での相対生存率は、54.7%であり、男性が約54%、女性が約58%であった。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、3年相対生存率はⅠ期が約86%、Ⅱ期が約61%、Ⅲ期が約35%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約81%であり、その内原発巣・治癒切除例の相対生存率は約84%であった。男女における併存症など対象者の個人属性の違いが定かではないが、UICC TNM分類総合ステージ別にみると男性より女性で若干相対生存率が高い傾向が認められた。

表3-7-2 属性別3年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	50.1	54.2	53.2	55.2	55.6	57.9	55.5	60.1	50.9	54.7	53.8	55.7
拠点病院等	50.7	54.8	53.8	55.8	55.9	58.2	55.8	60.5	51.5	55.3	54.4	56.2
都道府県推薦病院	37.2	40.9	36.3	45.6	48.2	50.5	38.5	61.7	38.7	42.2	37.9	46.6
年齢												
15-39歳	-	-			-	-			-	-		
40歳代	56.6	57.0	50.2	63.2	62.5	62.7	51.4	72.0	58.2	58.5	52.8	63.8
50歳代	56.1	57.0	54.1	59.7	65.5	66.0	60.3	71.1	57.9	58.7	56.2	61.2
60歳代	54.2	56.3	54.6	57.9	59.2	60.1	56.0	63.9	54.8	56.8	55.3	58.3
70歳代	50.4	55.1	53.4	56.7	56.5	58.8	54.6	62.8	51.2	55.6	54.0	57.1
80歳以上	32.3	42.3	39.2	45.5	36.2	42.4	36.4	48.5	33.0	42.3	39.6	45.2
UICC TNM分類総合ステージ												
0期*	84.1	91.5	89.4	93.3	91.1	95.0	91.3	97.7	85.4	92.1	90.3	93.8
Ⅰ期	79.3	85.9	84.6	87.2	84.5	88.1	85.2	90.5	80.0	86.2	85.0	87.4
Ⅱ期	55.8	60.3	57.4	63.2	60.8	63.2	56.6	69.1	56.6	60.8	58.1	63.4
Ⅲ期	31.2	33.5	31.8	35.2	41.9	43.3	39.0	47.6	32.8	35.0	33.4	36.6
Ⅳ期	11.1	11.9	10.4	13.5	13.8	14.4	10.8	18.5	11.5	12.3	10.9	13.7
不詳	20.4	22.8	16.9	29.2	23.8	26.3	14.2	40.4	21.0	23.4	18.1	29.3
観血的治療												
有	75.0	80.2	79.0	81.4	79.2	81.8	79.1	84.2	75.7	80.5	79.3	81.5
原発巣・治癒切除	78.0	83.3	82.1	84.5	82.5	85.2	82.5	87.6	78.7	83.6	82.5	84.7
原発巣・非治癒切除	48.4	52.0	47.1	56.7	-	-			48.6	52.0	47.5	56.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	60.8	64.7	55.7	72.7	44.1	45.1	23.5	64.9	58.7	62.1	53.7	69.7
無	24.6	27.1	25.8	28.3	29.2	30.7	27.7	33.9	25.3	27.6	26.5	28.8

*全体集計には含まれていない

8. 膵臓癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2014	15,108	369	12,376	71.0	98.5
0期*	337	139	77	70.2	97.9
I期	1,175	311	535	72.1	99.1
II期	4,538	353	3,075	71.3	98.4
III期	2,045	347	1,777	70.4	98.7
IV期	6,929	366	6,617	70.5	98.5

*全体集計には含まれていない

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、15,108例で、3年以内に亡くなっていたのが12,376例、打ち切りが223例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は98.5%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-8-1に示す。集計対象者は、男性が約55%、女性が約45%であった。診断時の年齢分布は、70歳代が約36%と最も多く、次いで60歳代が約29%、80歳以上が約22%であった。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、IV期が最も多く45.9%、次いでII期が30.0%、III期が13.5%であった。観血的治療の実施割合は、男女ともに28~29%であった。全体で24.1%が原発巣・治癒切除例であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約30%であった。

表3-8-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	8,340	100.0	6,768	100.0	15,108	100.0
拠点病院等	7,708	92.4	6,200	91.6	13,908	92.1
都道府県推薦病院	632	7.6	568	8.4	1,200	7.9
年齢						
平均年齢 (SD)	69.8	(SD:10.4)	72.5	(SD:10.9)	71.0	(SD:10.7)
0-14歳	0	0.0	(1-3)		(1-3)	
15-39歳	58	0.7	41	0.6	99	0.7
40歳代	290	3.5	174	2.6	464	3.1
50歳代	888	10.6	507	7.5	1,395	9.2
60歳代	2,658	31.9	1,723	25.5	4,381	29.0
70歳代	2,946	35.3	2,451	36.2	5,397	35.7
80歳以上	1,500	18.0	1,870	27.6	3,370	22.3
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	193	-	144	-	337	-
I期	626	7.5	549	8.1	1,175	7.8
II期	2,490	29.9	2,048	30.3	4,538	30.0
III期	1,116	13.4	929	13.7	2,045	13.5
IV期	3,888	46.6	3,041	44.9	6,929	45.9
不詳	220	2.6	201	3.0	421	2.8
観血的治療						
有	2,454	29.4	1,925	28.4	4,379	29.0
原発巣・治癒切除	2,003	24.0	1,633	24.1	3,636	24.1
原発巣・非治癒切除	366	4.4	237	3.5	603	4.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	85	1.0	55	0.8	140	0.9
無	5,886	70.6	4,843	71.6	10,729	71.0
発見経緯						
がん検診	45	0.5	32	0.5	77	0.5
健康診断・人間ドック	436	5.2	300	4.4	736	4.9
他疾患経過観察中	2,581	30.9	1,901	28.1	4,482	29.7
その他・不明	5,278	63.3	4,535	67.0	9,813	65.0

*全体集計には含まれていない

(3) 3年生存率

3年生存率を表3-8-2に示す。3年相対生存率は、全体で約18%であった。肝や肺と同様、実測生存率と相対生存率の差は他の部位と比較して小さく、予後があまり良くないがんと考えられる。年代別にみても、実測生存率、相対生存率はほぼ同程度であった。但し、15-39歳、40歳代では対象者数がやや少なく95%信頼区間の幅が広がっている点に留意する必要がある。UICC TNM分類総合ステージ別にみると、相対生存率はⅠ期が約59%、Ⅱ期が約33%、Ⅲ期が約13%、Ⅳ期が約3%であった。観血治療を受けた者の相対生存率は約50%であり、原発巣・治癒切除例のみをみても相対生存率は約54%にとどまった。

表3-8-2 属性別3年生存率

	男性			女性			全体		
	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間
全体	16.9	18.3	17.4 19.1	17.6	18.6	17.6 19.5	17.2	18.4	17.8 19.1
拠点病院等	17.1	18.5	17.6 19.4	18.0	18.9	17.9 19.9	17.5	18.7	18.0 19.3
都道府県推薦病院	14.3	15.7	12.8 18.9	14.2	15.0	12.1 18.3	14.2	15.4	13.3 17.6
年齢									
15-39歳	41.5	41.6	28.6 54.1	51.2	51.3	35.2 65.3	45.6	45.7	35.6 55.3
40歳代	25.5	25.6	20.7 30.9	34.4	34.5	27.4 41.6	28.8	29.0	24.9 33.2
50歳代	21.3	21.6	18.9 24.5	26.3	26.5	22.7 30.5	23.1	23.4	21.2 25.7
60歳代	20.0	20.7	19.1 22.3	21.9	22.3	20.3 24.3	20.7	21.3	20.1 22.6
70歳代	15.7	17.2	15.7 18.6	18.9	19.7	18.1 21.4	17.1	18.3	17.3 19.4
80歳以上	8.5	11.1	9.3 13.0	7.2	8.5	7.2 10.0	7.8	9.6	8.5 10.8
UICC TNM分類総合ステージ									
0期*	76.5	83.1	75.8 88.9	77.6	81.0	72.9 87.3	76.9	82.2	76.9 86.6
Ⅰ期	51.7	57.3	52.8 61.5	57.1	60.6	56.1 64.9	54.2	58.9	55.7 61.9
Ⅱ期	31.8	34.5	32.5 36.5	31.2	32.8	30.7 35.0	31.5	33.7	32.3 35.2
Ⅲ期	12.3	13.3	11.3 15.4	12.2	12.7	10.6 15.0	12.3	13.0	11.5 14.6
Ⅳ期	3.2	3.4	2.9 4.1	3.3	3.4	2.8 4.1	3.2	3.4	3.0 3.9
不詳	8.6	9.5	5.9 14.2	11.8	13.0	8.5 18.6	10.1	11.2	8.2 14.7
観血的治療									
有	45.0	48.3	46.2 50.4	49.5	51.4	49.0 53.7	47.0	49.7	48.1 51.2
原発巣・治癒切除	49.9	53.5	51.2 55.9	52.4	54.5	51.9 57.0	51.0	54.0	52.2 55.7
原発巣・非治癒切除	19.9	21.3	17.1 25.9	27.8	28.7	23.0 34.8	23.0	24.3	20.8 27.9
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	37.5	40.4	29.4 51.4	56.0	57.8	43.2 70.1	44.7	47.3	38.4 55.8
無	4.9	5.3	4.8 6.0	4.8	5.1	4.5 5.8	4.8	5.2	4.8 5.7

*全体集計には含まれていない

9. 子宮頸癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2014	6,640	323	1,451	54.7	97.7
0期*	11,951	332	56	40.1	88.3
I期	2,945	306	121	48.9	97.2
II期	1,078	231	186	61.0	98.0
III期	1,546	241	451	57.2	98.1
IV期	1,018	247	668	60.9	98.2

*全体集計には含まれていない

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、6,640例で、3年以内に亡くなっていたのは1,451例、打ち切りが155例であった。集計対象全体の生存状況把握割合は97.7%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-9-1に示す。診断時の年齢を見ると、40歳代、15～39歳と比較的若い年代が多かった。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、I期が約44%と最も多く、次いでIII期が約23%、II期が約16%であった。観血的治療の実施割合は約56%であった。発見経緯を見ると、がん検診が約15%、健康診断・人間ドックが約4%であった。

表3-9-1 対象者の属性

	全体	
	症例数	(%)
全体	6,640	100.0
拠点病院等	6,387	96.2
都道府県推薦病院	253	3.8
年齢		
平均年齢 (SD)	54.7	(SD:16.1)
15-39歳	1,338	20.2
40歳代	1,559	23.5
50歳代	1,142	17.2
60歳代	1,207	18.2
70歳代	854	12.9
80歳以上	540	8.1
UICC TNM分類総合ステージ		
0期*	11,951	-
I期	2,945	44.4
II期	1,078	16.2
III期	1,546	23.3
IV期	1,018	15.3
不詳	53	0.8
観血的治療		
有	3,725	56.1
原発巣・治癒切除	3,329	50.1
原発巣・非治癒切除	275	4.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	121	1.8
無	2,915	43.9
発見経緯		
がん検診	988	14.9
健康診断・人間ドック	232	3.5
他疾患経過観察中	809	12.2
その他・不明	4,611	69.4

*全体集計には含まれていない

(3) 3年生存率

3年生存率を表3-9-2に示す。全体として、実測生存率が約78%、相対生存率が約80%であった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、I期が約97%、II期が約85%、III期が約72%、IV期が約35%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は約94%であり、その内、原発巣・治癒切除例では約95%であった。

表3-9-2 属性別3年生存率

	女性			
	実測	相対	95%信頼区間	
全体	77.9	79.6	78.5	80.6
拠点病院等	77.9	79.5	78.5	80.5
都道府県推薦病院	78.9	80.6	74.8	85.2
年齢				
15-39歳	89.7	89.8	88.0	91.3
40歳代	85.0	85.3	83.4	87.0
50歳代	80.2	80.7	78.3	83.0
60歳代	78.3	79.4	76.9	81.7
70歳代	65.7	68.3	64.9	71.5
80歳以上	41.6	49.9	44.8	54.9
UICC TNM分類総合ステージ				
0期*	99.5	99.9	99.8	100.0
I期	95.8	97.0	96.2	97.7
II期	82.6	85.4	82.9	87.6
III期	70.5	72.4	69.9	74.6
IV期	33.7	34.6	31.6	37.6
不詳	51.4	53.8	38.8	67.0
観血的治療				
有	93.3	94.0	93.1	94.8
原発巣・治癒切除	94.6	95.3	94.5	96.0
原発巣・非治癒切除	81.9	82.7	77.5	86.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	83.1	83.8	75.6	89.5
無	58.3	60.7	58.8	62.6

*全体集計には含まれていない

10. 子宮内膜癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2014	8,248	331	1,248	60.1	98.6
I 期	5,701	320	286	59.5	98.6
II 期	508	196	49	59.9	98.4
III 期	1,100	264	312	60.8	98.9
IV 期	769	260	538	62.8	98.0

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、8,248 例で、3 年以内に亡くなっていたのが 1,248 例、打ち切りが 119 例であった。集計対象全体として、生存状況把握割合は 98.6%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表 3-10-1 に示す。診断時の年齢を見ると、50 歳代が約 3 割と最も多く、次いで 60 歳代が約 27%、70 歳代が約 17%であった。UICC TNM 分類総合ステージの分布をみると、I 期が約 69%、II 期が約 6%、III 期が約 13%、IV 期が約 9%であった。観血的治療の実施割合は、約 90%であった。発見経緯をみると、他疾患経過観察中が約 16%であった。

表 3-10-1 対象者の属性

	全体	
	対象数	(%)
全体	8,248	100.0
拠点病院等	7,812	94.7
都道府県推薦病院	436	5.3
年齢		
平均年齢 (SD)	60.1	(SD:12.5)
15-39 歳	397	4.8
40 歳代	1,256	15.2
50 歳代	2,440	29.6
60 歳代	2,228	27.0
70 歳代	1,358	16.5
80 歳以上	569	6.9
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	5,701	69.1
II 期	508	6.2
III 期	1,100	13.3
IV 期	769	9.3
不詳	170	2.1
観血的治療		
有	7,458	90.4
原発巣・治癒切除	6,798	82.4
原発巣・非治癒切除	411	5.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	249	3.0
無	790	9.6
発見経緯		
がん検診	510	6.2
健康診断・人間ドック	179	2.2
他疾患経過観察中	1,325	16.1
その他・不明	6,234	75.6

(3) 3 年生存率

3 年生存率を表 3-10-2 に示す。全体での 3 年実測生存率は約 85%、相対生存率が約 87%であった。UICC TNM 分類総合ステージ別に相対生存率をみると、I 期が約 97%、II 期が約 93%、III 期が約 73%、IV 期が約 30%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約 92%であり、原発巣・治癒切除例では 95%を超えていた。

表 3-10-2 属性別 3 年生存率

	全体			
	実測	相対	95%信頼区間	
全体	84.8	86.6	85.8	87.4
拠点病院等	84.9	86.7	85.9	87.5
都道府県推薦病院	82.9	84.9	80.9	88.2
年齢				
15-39 歳	93.3	93.5	90.5	95.5
40 歳代	91.9	92.2	90.5	93.6
50 歳代	90.5	91.2	89.9	92.3
60 歳代	85.2	86.5	84.9	87.9
70 歳代	76.7	79.8	77.4	82.1
80 歳以上	55.9	65.1	60.2	69.8
UICC TNM 総合ステージ				
I 期	95.0	96.9	96.3	97.5
II 期	90.3	92.5	89.5	94.8
III 期	71.5	73.1	70.3	75.8
IV 期	29.1	29.8	26.5	33.2
不詳	62.4	64.7	56.6	71.8
観血的治療				
有	90.0	91.8	91.1	92.5
原発巣・治癒切除	93.0	94.9	94.2	95.5
原発巣・非治癒切除	45.4	46.3	41.3	51.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	80.7	82.6	77.0	87.1
無	34.9	36.7	33.2	40.2

11. 前立腺癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2014	34,003	357	3,310	71.7	98.4
I 期	13,104	348	703	71.6	98.7
II 期	9,832	343	418	70.2	98.1
III 期	5,253	338	366	71.7	98.7
IV 期	5,180	347	1,663	74.0	98.1

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、34,003 例で、3 年以内に亡くなっていたのが 3,310 例、打ち切りが 549 例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は 98.4%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表 3-11-1 に示す。診断時の年齢は、70 歳代が約 46%、80 歳以上が約 16%で、70 歳以上が半数以上を占めた。UICC TNM 分類総合ステージの分布をみると、I 期が最も多く約 39%であった。観血的治療の実施割合は、約 32%であった。発見経緯を見ると、がん検診が約 17%、健康診断・人間ドックが約 11%であった。

表 3-11-1 対象者の属性

	全体	
	症例数	(%)
全体	34,003	100.0
拠点病院等	31,072	91.4
都道府県推薦病院	2,931	8.6
年齢		
平均年齢 (SD)	71.7	(SD:7.8)
15-39 歳	(4-6)	
40 歳代	104	0.3
50 歳代	1,817	5.3
60 歳代	11,010	32.4
70 歳代	15,724	46.2
80 歳以上	5,344	15.7
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	13,104	38.5
II 期	9,832	28.9
III 期	5,253	15.4
IV 期	5,180	15.2
不詳	634	1.9
観血的治療		
有	10,750	31.6
原発巣・治癒切除	8,939	26.3
原発巣・非治癒切除	1,514	4.5
原発巣・治癒/非治癒	297	0.9
の別不詳		
無	23,253	68.4
発見経緯		
がん検診	5,717	16.8
健康診断・人間ドック	3,818	11.2
他疾患経過観察中	13,349	39.3
その他・不明	11,119	32.7

(3) 3 年生存率

3 年生存率を表 3-11-2 に示す。全体として、3 年実測生存率は、約 90%、相対生存率が約 99%であった。年代が高くなるほど、実測生存率と相対生存率の差が大きくなり、高齢になるほど前立腺がん以外の要因で死亡させている例が多いと考えられた。3 年相対生存率は、40 歳代を除きどの年代も 95%以上と高い。UICC TNM 分類総合ステージ別にみると、I 期から III 期では、相対生存率は 100%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、治癒切除、非治癒切除例に関わらずほぼ 100%であった。

表 3-11-2 属性別 3 年生存率

	全体			
	実測	相対	95%信頼区間	
全体	90.2	99.1	98.8	99.5
拠点病院等	90.3	99.1	98.8	99.5
都道府県推薦病院	88.8	98.7	97.4	100.0
年齢				
15-39 歳	-	-		
40 歳代	89.3	89.9	82.0	94.6
50 歳代	96.4	97.9	96.9	98.7
60 歳代	95.4	99.2	98.8	99.6
70 歳代	91.6	100.0	99.7	100.0
80 歳以上	73.1	96.0	94.4	97.6
UICC TNM 総合ステージ				
I 期	94.6	100.0	100.0	100.0
II 期	95.7	100.0	100.0	100.0
III 期	93.0	100.0	100.0	100.0
IV 期	67.5	76.3	74.8	77.7
不詳	74.3	87.7	83.4	91.6
観血的治療				
有	97.5	100.0	100.0	100.0
原発巣・治癒切除	97.8	100.0	100.0	100.0
原発巣・非治癒切除	96.6	100.0	100.0	100.0
原発巣・治癒/非治癒	94.2	100.0	98.3	100.0
の別不詳				
無	86.8	97.2	96.7	97.7

12. 膀胱癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2014	8,112	353	2,925	73.8	98.1
0期*	7,770	338	928	71.9	97.9
I期	4,325	339	814	73.1	98.3
II期	1,586	315	674	75.4	97.3
III期	833	281	453	74.6	98.0
IV期	1,025	303	778	72.4	98.9

*全体集計には含まれていない

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、8,112例で、3年以内に亡くなっていた者が2,925例、打ち切りが153例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、98.1%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-12-1に示す。性別で見ると、男性が約77%、女性が約23%であった。診断時の年齢分布をみると、70歳代が最も多く約34%、80歳以上が約33%、6割以上が70歳以上であった。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、I期が約53%と半数以上を占めた。観血的治療の実施割合は、約86%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約23%であった。

表3-12-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	6,218	100.0	1,894	100.0	8,112	100.0
拠点病院等	5,660	91.0	1,698	89.7	7,358	90.7
都道府県推薦病院	558	9.0	196	10.3	754	9.3
年齢						
平均年齢 (SD)	73.2	(SD:10.4)	76.1	(SD:10.9)	73.8	(SD:10.6)
15-39歳	22	0.4	14	0.7	36	0.4
40歳代	112	1.8	29	1.5	141	1.7
50歳代	446	7.2	96	5.1	542	6.7
60歳代	1,573	25.3	321	16.9	1,894	23.3
70歳代	2,189	35.2	605	31.9	2,794	34.4
80歳以上	1,876	30.2	829	43.8	2,705	33.3
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	6,336	-	1,434	-	7,770	
I期	3,436	55.3	889	46.9	4,325	53.3
II期	1,199	19.3	387	20.4	1,586	19.6
III期	585	9.4	248	13.1	833	10.3
IV期	752	12.1	273	14.4	1,025	12.6
不詳	246	4.0	97	5.1	343	4.2
観血的治療						
有	5,382	86.6	1,552	81.9	6,934	85.5
原発巣・治癒切除	4,104	66.0	1,104	58.3	5,208	64.2
原発巣・非治癒切除	637	10.2	240	12.7	877	10.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	641	10.3	208	11.0	849	10.5
無	836	13.4	342	18.1	1,178	14.5
発見経緯						
がん検診	23	0.4	(7-9)		31	0.4
健康診断・人間ドック	170	2.7	47	2.5	217	2.7
他疾患経過観察中	1,483	23.9	412	21.8	1,895	23.4
その他・不明	4,542	73.0	1,427	75.3	5,969	73.6

*全体集計には含まれていない

(3) 3年生存率

3年生存率を表3-12-2に示す。全体の3年実測生存率は約64%、相対生存率が約72%であった。70歳代以上では、実測生存率と相対生存率の差がやや大きくなっていった。年代別にみた相対生存率は、全体としては70歳代まで70%以上であるが、80歳以上では約60%であった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、全体でI期が約91%、II期が約65%、III期が約50%、IV期が約26%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は約79%で、その内原発巣・治癒切除例では約85%であった。

表3-12-2 属性別3年生存率

	男性			女性			全体					
	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間			
全体	65.3	74.2	72.8	75.5	58.0	63.6	61.1	66.0	63.6	71.7	70.5	72.9
拠点病院等	65.3	74.1	72.7	75.5	58.2	63.8	61.2	66.4	63.6	71.7	70.5	73.0
都道府県推薦病院	65.8	74.8	70.2	79.2	56.3	61.7	53.7	69.0	63.4	71.4	67.4	75.2
年齢												
15-39歳	-	-		-	-				79.4	79.6	61.7	89.8
40歳代	78.8	79.3	70.3	85.9	82.8	83.0	63.7	92.8	79.6	80.1	72.3	85.9
50歳代	85.0	86.4	82.6	89.4	78.0	78.6	68.9	85.7	83.8	85.0	81.6	87.9
60歳代	78.5	81.5	79.3	83.5	72.8	74.0	68.7	78.6	77.5	80.2	78.2	82.1
70歳代	67.0	73.5	71.3	75.7	67.0	70.0	65.9	73.8	67.0	72.8	70.8	74.6
80歳以上	46.6	63.9	60.7	66.9	42.0	51.2	47.0	55.3	45.2	59.9	57.3	62.3
UICC TNM分類総合ステージ												
0期*	87.3	97.9	97.0	98.8	90.6	97.4	95.7	99.0	87.9	97.9	97.0	98.6
I期	81.1	91.79	90.3	93.23	80.7	88.44	85.41	91.14	81.0	91.1	89.7	92.4
II期	58.4	67.35	64.0	70.52	52.1	57.69	51.99	63.1	56.9	65.0	62.1	67.7
III期	47.9	53.91	49.3	58.43	38.6	41.73	35.13	48.27	45.1	50.3	46.4	54.0
IV期	25.4	27.96	24.6	31.46	18.6	19.92	15.23	25.12	23.6	25.8	23.0	28.7
不詳	41.5	50.16	42.6	57.57	33.0	37.53	27.07	48.32	39.1	46.6	40.4	52.8
観血的治療												
有	71.8	81.1	79.7	82.4	67.6	73.8	71.2	76.3	70.9	79.4	78.2	80.6
原発巣・治癒切除	76.9	86.3	84.8	87.7	74.5	81.1	78.2	83.8	76.4	85.2	83.9	86.5
原発巣・非治癒切除	43.6	50.4	45.9	54.8	37.0	40.8	34.0	47.5	41.8	47.7	43.9	51.4
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	67.3	77.2	72.8	81.2	66.2	72.6	65.0	79.3	67.0	76.1	72.3	79.6
無	23.3	28.0	24.6	31.5	14.2	16.2	12.2	20.7	20.6	24.5	21.8	27.3

*全体集計には含まれていない

13. 喉頭癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2014	3,336	295	696	70.2	97.8
0期*	224	127	23	70.6	96.9
I期	1,410	271	130	70.3	98.0
II期	760	229	112	69.5	98.7
III期	494	169	135	70.7	96.8
IV期	640	209	309	70.4	97.0

*全体集計には含まれていない

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、3,336例で、3年以内に亡くなっていたのが696例、打ち切りが75例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、97.8%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-13-1に示す。性別で見ると、男性が約93%、女性が約7%であった。診断時の年齢分布をみると、70歳代・60歳代で約7割を占めた。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、I期が約42%を占めた。観血的治療の実施割合は、約28%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約15%であった。

表 3-13-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	3,104	100.0	232	100.0	3,336	100.0
拠点病院等	3,004	96.8	220	94.8	3,224	96.6
都道府県推薦病院	100	3.2	12	5.2	112	3.4
年齢						
平均年齢 (SD)	70.2	(SD:9.5)	70.0	(SD:12.0)	70.2	(SD:9.7)
15-39歳	(7-9)		(4-6)		12	0.4
40歳代	60	1.9	(7-9)		68	2.0
50歳代	302	9.7		15.1	337	10.1
60歳代	1,072	34.5	51	22.0	1,123	33.7
70歳代	1,137	36.6	81	34.9	1,218	36.5
80歳以上	525	16.9	53	22.8	578	17.3
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	197	-	27	-	224	-
I期	1,312	42.3	98	42.2	1,410	42.3
II期	704	22.7	56	24.1	760	22.8
III期	463	14.9	31	13.4	494	14.8
IV期	597	19.2	43	18.5	640	19.2
不詳	28	0.9	(4-6)		32	1.0
観血的治療						
有	848	27.3	73	31.5	921	27.6
原発巣・治癒切除	712	22.9	57	24.6	769	23.1
原発巣・非治癒切除	84	2.7	(7-9)		92	2.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	52	1.7	(7-9)		60	1.8
無	2,256	72.7	159	68.5	2,415	72.4
発見経緯						
がん検診	10	0.3	0	0.0	10	0.3
健康診断・人間ドック	18	0.6	(1-3)		19	0.6
他疾患経過観察中	451	14.5	33	14.2	484	14.5
その他・不明	2,625	84.6	198	85.3	2,823	84.6

*全体集計には含まれていない

(3) 3年生存率

3年生存率を表3-13-2に示す。全体の3年実測生存率は約79%、相対生存率が約86%であった。70歳代以上では、実測生存率と相対生存率の差が大きくなっていた。年代別にみた相対生存率は、どの年代においても80%以上であった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、全体でⅠ期が約99%、Ⅱ期が約93%、Ⅲ期が約78%、Ⅳ期が約56%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約87%で、その内原発巣・治癒切除例では約88%であった。

表3-13-2 属性別3年生存率

	男性			女性			全体					
	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間			
全体	78.8	86.4	84.7	87.9	80.7	85.1	79.1	89.9	78.9	86.3	84.7	87.8
拠点病院等	78.9	86.5	84.8	88.0	81.6	85.9	79.7	90.6	79.0	86.4	84.8	87.9
都道府県推薦病院	76.9	83.8	73.4	91.5	63.6	70.8	33.0	94.0	75.5	82.4	72.4	90.1
年齢												
15-39歳	-	-			-	-			-	-		
40歳代	86.7	87.2	75.6	93.7	-	-			88.2	88.8	78.3	94.5
50歳代	89.3	90.7	86.5	93.8	94.2	94.9	79.4	99.3	89.8	91.1	87.3	94.0
60歳代	84.8	88.1	85.7	90.2	86.2	87.5	74.3	94.6	84.9	88.1	85.8	90.1
70歳代	78.0	85.3	82.6	87.8	87.5	90.9	81.0	96.7	78.7	85.7	83.1	88.1
80歳以上	61.3	82.6	76.7	88.0	53.2	63.4	46.2	78.4	60.6	80.7	75.2	85.9
UICC TNM分類総合ステージ												
0期*	88.7	97.7	91.8	100.0	-	-			89.6	98.2	92.9	100.0
Ⅰ期	90.4	99.4	97.5	100.0	94.8	100.0	93.3	100.0	90.7	99.4	97.6	100.0
Ⅱ期	85.7	93.4	90.4	96.0	78.6	82.8	68.9	91.9	85.2	92.6	89.6	95.2
Ⅲ期	72.3	78.6	73.9	82.9	69.7	73.7	52.6	87.7	72.1	78.3	73.7	82.4
Ⅳ期	50.3	55.5	50.9	59.8	59.7	62.1	45.1	75.5	50.9	55.9	51.6	60.1
不詳	-	-			-	-			67.8	75.7	54.0	90.7
観血的治療												
有	79.1	87.1	83.9	90.0	83.2	88.0	76.5	95.3	79.4	87.2	84.2	89.9
原発巣・治癒切除	80.0	88.1	84.6	91.1	85.5	89.9	76.9	97.3	80.4	88.2	84.9	91.1
原発巣・非治癒切除	73.5	81.2	69.1	90.2	-	-			72.5	80.2	68.7	89.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	75.8	83.9	67.9	94.6	-	-			77.5	85.2	70.7	94.8
無	78.7	86.1	84.2	87.9	79.6	83.8	76.2	89.6	78.7	85.9	84.1	87.7

*全体集計には含まれていない

14. 胆嚢癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2014	2,991	364	2,115	74.1	98.2
0期*	109	78	14	70.3	93.6
I期	372	214	50	71.3	97.8
II期	436	222	121	74.4	98.6
III期	626	274	471	75.6	97.4
IV期	1,452	344	1,387	73.8	98.4

*全体集計には含まれていない

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、2,991例で、3年以内に亡くなっていたのが2,115例、打ち切りが53例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、98.2%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-14-1に示す。性別で見ると、男性が約45%、女性が約55%であった。診断時の年齢分布をみると、70歳代が約37%、80歳以上が約33%であった。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、IV期が約49%を占めた。観血的治療の実施割合は、約43%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約38%であった。

表3-14-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	1,358	100.0	1,633	100.0	2,991	100.0
拠点病院等	1,232	90.7	1,470	90.0	2,702	90.3
都道府県推薦病院	126	9.3	163	10.0	289	9.7
年齢						
平均年齢 (SD)	73.2	(SD:10.1)	74.8	(SD:10.8)	74.1	(SD:10.5)
15-39歳	(1-3)		(1-3)		(4-6)	
40歳代	28	2.1	29	1.8	57	1.9
50歳代	95	7.0	121	7.4	216	7.2
60歳代	304	22.4	310	19.0	614	20.5
70歳代	534	39.3	568	34.8	1,102	36.8
80歳以上	394	29.0	603	36.9	997	33.3
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	50	-	59	-	109	-
I期	200	14.7	172	10.5	372	12.4
II期	208	15.3	228	14.0	436	14.6
III期	283	20.8	343	21.0	626	20.9
IV期	625	46.0	827	50.6	1,452	48.5
不詳	42	3.1	63	3.9	105	3.5
観血的治療						
有	630	46.4	646	39.6	1,276	42.7
原発巣・治癒切除	538	39.6	546	33.4	1,084	36.2
原発巣・非治癒切除	75	5.5	78	4.8	153	5.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	17	1.3	22	1.3	39	1.3
無	728	53.6	987	60.4	1,715	57.3
発見経緯						
がん検診	11	0.8	(7-9)		18	0.6
健康診断・人間ドック	69	5.1	45	2.8	114	3.8
他疾患経過観察中	576	42.4	567	34.7	1,143	38.2
その他・不明	702	51.7	1,014	62.1	1,716	57.4

*全体集計には含まれていない

(3) 3年生存率

3年生存率を表3-14-2に示す。全体の3年実測生存率はIV期が約半数を占めたことから約29%、相対生存率が約32%であった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、全体でI期が約95%、II期が約80%、III期が約26%、IV期が約4%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約69%で、その内原発巣・治癒切除例では約77%であった。

表3-14-2 属性別3年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	30.1	33.9	31.2	36.7	27.3	29.5	27.2	31.9	28.6	31.5	29.7	33.3
拠点病院等	29.0	32.6	29.8	35.5	26.8	28.9	26.4	31.3	27.8	30.6	28.7	32.5
都道府県推薦病院	41.3	46.0	36.3	55.3	32.1	35.3	27.5	43.3	36.1	39.9	33.8	46.1
年齢												
15-39歳	-	-			-	-			-	-		
40歳代	-	-			-	-			44.1	44.4	31.0	56.9
50歳代	45.9	46.6	36.1	56.4	37.8	38.1	29.3	46.8	41.4	41.8	35.1	48.4
60歳代	34.0	35.3	29.8	40.9	26.9	27.4	22.5	32.5	30.4	31.3	27.6	35.1
70歳代	31.5	34.6	30.3	39.0	32.1	33.5	29.5	37.6	31.8	34.0	31.1	37.0
80歳以上	19.8	26.6	21.5	32.2	20.3	24.5	20.7	28.5	20.1	25.4	22.3	28.6
UICC TNM分類総合ステージ												
0期*	85.4	94.0	79.0	100.0	87.6	94.3	81.5	100.0	86.6	94.1	85.2	99.8
I期	81.9	90.6	83.8	95.8	91.8	99.2	93.5	100.0	86.4	94.6	90.3	98.0
II期	68.8	77.8	70.1	84.4	75.2	81.1	74.4	86.6	72.1	79.5	74.6	83.9
III期	25.7	29.2	23.5	35.2	21.7	23.4	18.8	28.3	23.5	26.0	22.3	29.8
IV期	2.7	3.1	1.8	4.8	3.5	3.8	2.6	5.3	3.2	3.5	2.6	4.6
不詳	21.4	26.0	12.9	42.1	15.9	17.7	9.1	28.8	18.1	20.9	13.2	30.0
観血的治療												
有	62.2	69.3	65.0	73.4	64.4	69.0	64.9	72.8	63.3	69.2	66.2	72.0
原発巣・治癒切除	69.0	76.9	72.3	81.0	72.0	77.1	72.8	80.9	70.5	77.0	73.9	79.8
原発巣・非治癒切除	22.3	24.6	15.0	35.7	23.0	24.7	15.3	35.4	22.6	24.7	17.8	32.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	-	-			-	-			23.1	25.6	12.7	41.1
無	1.7	1.9	1.0	3.3	2.8	3.0	2.0	4.3	2.3	2.6	1.8	3.5

*全体集計には含まれていない

15. 腎癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2014	8,885	351	1,655	66.0	97.8
I 期	6,095	339	435	65.1	97.8
II 期	414	218	31	64.4	98.1
III 期	1,001	266	231	68.8	97.9
IV 期	1,228	305	891	68.7	97.8

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、8,885 例で、3 年以内に亡くなっていたのが 1,655 例、打ち切りが 194 例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、97.8%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表 3-15-1 に示す。性別で見ると、男性が約 70%、女性が約 30%であった。診断時の年齢分布をみると、60 歳代が約 32%、70 歳代が約 30%であった。UICC TNM 分類総合ステージの分布をみると、I 期が約 69%を占めた。観血的治療の実施割合は、約 83%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約 51%であった。

表 3-15-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	6,255	100.0	2,630	100.0	8,885	100.0
拠点病院等	5,900	94.3	2,459	93.5	8,359	94.1
都道府県推薦病院	355	5.7	171	6.5	526	5.9
年齢						
平均年齢 (SD)	65.5	(SD:11.9)	67.3	(SD:12.5)	66.0	(SD:12.1)
15-39 歳	164	2.6	68	2.6	232	2.6
40 歳代	513	8.2	176	6.7	689	7.8
50 歳代	993	15.9	378	14.4	1,371	15.4
60 歳代	2,075	33.2	756	28.7	2,831	31.9
70 歳代	1,828	29.2	834	31.7	2,662	30.0
80 歳以上	682	10.9	418	15.9	1,100	12.4
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	4,340	69.4	1,755	66.7	6,095	68.6
II 期	254	4.1	160	6.1	414	4.7
III 期	699	11.2	302	11.5	1,001	11.3
IV 期	864	13.8	364	13.8	1,228	13.8
不詳	98	1.6	49	1.9	147	1.7
観血的治療						
有	5,199	83.1	2,135	81.2	7,334	82.5
原発巣・治癒切除	4,852	77.6	1,999	76.0	6,851	77.1
原発巣・非治癒切除	246	3.9	95	3.6	341	3.8
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	101	1.6	41	1.6	142	1.6
無	1,056	16.9	495	18.8	1,551	17.5
発見経緯						
がん検診	87	1.4	38	1.4	125	1.4
健康診断・人間ドック	956	15.3	306	11.6	1,262	14.2
他疾患経過観察中	3,209	51.3	1,305	49.6	4,514	50.8
その他・不明	2,003	32.0	981	37.3	2,984	33.6

(3) 3年生存率

3年生存率を表3-15-2に示す。全体の3年実測生存率は約81%、相対生存率が約86%であった。年代別にみた相対生存率は、女性の80歳以上を除き80%以上であった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、全体でⅠ期が約98%、Ⅱ期が約97%、Ⅲ期が約82%、Ⅳ期が約28%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約95%で、その内原発巣・治癒切除例では約96%であった。

表3-15-2 属性別3年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	81.1	86.6	85.6	87.7	81.6	85.0	83.4	86.5	81.2	86.1	85.3	87.0
拠点病院等	81.4	87.0	85.9	88.0	81.6	85.0	83.3	86.5	81.5	86.4	85.5	87.3
都道府県推薦病院	75.1	80.4	75.2	84.9	81.2	85.0	77.9	90.3	77.1	81.9	77.8	85.5
年齢												
15-39歳	95.7	95.9	91.4	98.2	92.4	92.5	82.8	96.9	94.7	94.9	91.1	97.2
40歳代	91.7	92.2	89.4	94.3	92.0	92.3	87.1	95.5	91.8	92.2	89.9	94.1
50歳代	89.4	90.7	88.6	92.5	87.2	87.8	83.9	90.8	88.8	89.9	88.1	91.5
60歳代	82.3	85.4	83.6	87.0	86.2	87.5	84.8	89.8	83.3	85.9	84.5	87.3
70歳代	77.0	84.3	82.1	86.3	80.1	83.5	80.5	86.2	78.0	84.1	82.3	85.7
80歳以上	64.8	84.3	79.4	88.8	64.9	75.9	70.2	81.0	64.8	81.0	77.3	84.4
UICC TNM分類総合ステージ												
Ⅰ期	92.1	98.1	97.2	98.9	94.4	98.2	96.9	99.2	92.8	98.1	97.4	98.8
Ⅱ期	91.7	97.5	93.1	100.0	93.7	97.2	91.9	100.0	92.4	97.4	94.2	99.7
Ⅲ期	78.0	84.4	80.8	87.5	73.6	77.0	71.3	81.8	76.7	82.1	79.2	84.8
Ⅳ期	27.6	29.8	26.6	33.1	23.2	24.4	19.9	29.2	26.3	28.2	25.6	30.9
不詳	52.9	59.1	47.5	69.5	57.1	60.1	44.4	73.2	54.3	59.4	50.2	67.8
観血的治療												
有	89.7	95.1	94.2	95.9	91.6	94.7	93.4	95.9	90.3	95.0	94.2	95.7
原発巣・治癒切除	91.8	97.2	96.4	98.0	93.5	96.6	95.4	97.7	92.2	97.0	96.4	97.7
原発巣・非治癒切除	53.6	57.0	50.1	63.4	58.3	60.1	48.9	69.8	54.8	57.9	52.1	63.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	80.1	84.9	75.1	91.9	77.4	79.9	63.0	90.4	79.4	83.5	75.4	89.6
無	38.1	43.4	40.0	46.7	37.6	41.2	36.5	45.9	37.9	42.7	39.9	45.4

16. 腎盂尿管癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2014	3,504	346	1,768	74.3	98.6
0期*	917	263	112	72.1	98.3
I期	637	263	130	73.9	98.9
II期	544	251	155	74.7	98.3
III期	977	295	386	73.4	98.5
IV期	1,145	314	954	74.0	98.7

*全体集計には含まれていない

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、3,504例で、3年以内に亡くなっていたのが1,768例、打ち切りが49例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、98.6%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-16-1に示す。性別で見ると、男性が約67%、女性が約33%であった。診断時の年齢分布をみると、70歳代が最も多く約38%、80歳以上が約33%であった。UICC TNM分類総合ステージの分布をみると、IV期が約33%を占めた。観血的治療の実施割合は、約67%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約35%であった。

表3-16-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	2,364	100.0	1,140	100.0	3,504	100.0
拠点病院等	2,190	92.6	1,059	92.9	3,249	92.7
都道府県推薦病院	174	7.4	81	7.1	255	7.3
年齢						
平均年齢 (SD)	73.4	(SD:9.6)	76.0	(SD:9.3)	74.3	(SD:10.6)
15-39歳	(4-6)		0	0.0	(4-6)	
40歳代	27	1.1	(7-9)		36	1.0
50歳代	156	6.6	49	4.3	205	5.9
60歳代	578	24.5	198	17.4	776	22.1
70歳代	902	38.2	433	38.0	1,335	38.1
80歳以上	696	29.4	451	39.6	1,147	32.7
UICC TNM分類総合ステージ						
0期*	708	-	209	-	917	-
I期	459	19.4	178	15.6	637	18.2
II期	375	15.9	169	14.8	544	15.5
III期	658	27.8	319	28.0	977	27.9
IV期	736	31.1	409	35.9	1,145	32.7
不詳	136	5.8	65	5.7	201	5.7
観血的治療						
有	1,624	68.7	723	63.4	2,347	67.0
原発巣・治癒切除	1,441	61.0	622	54.6	2,063	58.9
原発巣・非治癒切除	136	5.8	79	6.9	215	6.1
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	47	2.0	22	1.9	69	2.0
無	740	31.3	417	36.6	1,157	33.0
発見経緯						
がん検診	14	0.6	(1-3)		17	0.5
健康診断・人間ドック	87	3.7	30	2.6	117	3.3
他疾患経過観察中	860	36.4	353	31.0	1,213	34.6
その他・不明	1,403	59.3	754	66.1	2,157	61.6

*全体集計には含まれていない

(3) 3年生存率

3年生存率を表3-16-2に示す。全体の3年実測生存率は約49%、相対生存率が約55%であった。年代別にみた相対生存率は、全体で40～60歳代では60%台、70歳代は50%台であった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、全体でⅠ期が約89%、Ⅱ期が約80%、Ⅲ期が約66%、Ⅳ期が約17%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約73%で、その内原発巣・治癒切除例では約78%であった。

表3-16-2 属性別3年生存率

	男性				女性				全体			
	実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間		実測	相対	95%信頼区間	
全体	49.4	55.8	53.5	58.1	48.6	52.8	49.6	55.9	49.2	54.8	53.0	56.7
拠点病院等	49.0	55.3	52.9	57.7	48.8	52.9	49.6	56.1	48.9	54.5	52.6	56.4
都道府県推薦病院	55.2	62.2	53.5	70.1	46.3	51.6	39.1	63.2	52.4	58.8	51.7	65.5
年齢												
15-39歳	-	-			-	-			-	-		
40歳代	-	-			-	-			63.9	64.2	46.3	77.6
50歳代	64.4	65.4	57.1	72.5	66.7	67.3	52.0	78.7	64.9	65.8	58.7	72.0
60歳代	59.1	61.4	57.1	65.5	60.9	61.9	54.6	68.4	59.6	61.5	57.9	65.0
70歳代	51.9	57.0	53.4	60.6	53.7	56.1	51.1	60.9	52.5	56.7	53.8	59.6
80歳以上	34.0	45.3	40.6	50.1	36.2	43.2	37.9	48.5	34.8	44.5	41.0	48.1
UICC TNM分類総合ステージ												
0期*	87.5	96.7	93.7	99.2	88.3	94.6	89.0	98.6	87.7	96.2	93.7	98.4
Ⅰ期	78.7	89.0	84.4	92.9	81.4	88.9	81.8	94.4	79.5	89.0	85.2	92.3
Ⅱ期	69.6	79.3	73.6	84.3	75.0	81.4	73.6	87.8	71.3	80.0	75.5	84.0
Ⅲ期	58.3	65.2	60.8	69.3	64.1	68.7	62.8	74.1	60.2	66.4	62.9	69.7
Ⅳ期	16.7	18.5	15.6	21.6	14.5	15.6	12.1	19.5	15.9	17.4	15.2	19.8
不詳	29.4	36.2	27.1	45.7	25.3	30.8	18.6	44.5	28.1	34.5	27.0	42.3
観血的治療												
有	65.8	73.1	70.5	75.6	69.1	73.7	70.0	77.2	66.8	73.3	71.2	75.4
原発巣・治癒切除	69.7	77.4	74.7	80.0	73.7	78.7	74.8	82.2	70.9	77.8	75.6	79.9
原発巣・非治癒切除	31.9	35.4	26.9	44.2	35.9	38.6	27.2	50.1	33.3	36.6	29.7	43.6
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	44.0	49.5	33.2	64.8	-	-			47.4	52.1	38.7	64.5
無	13.4	16.1	13.3	19.2	13.0	15.0	11.5	19.0	13.2	15.7	13.5	18.1

*全体集計には含まれていない

17. 甲状腺癌

甲状腺乳頭濾胞癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2014	6,808	336	311	57.8	97.2
I 期	2,842	300	70	49.7	96.2
II 期	336	178	16	61.7	98.5
III 期	2,062	293	49	62.6	97.7
IV 期	1,458	284	157	65.5	98.1

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、6,808 例で、3 年以内に亡くなっていたのが 311 例、打ち切りが 191 例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、97.2%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表 3-17①-1 に示す。性別で見ると、男性が約 27%、女性が約 73%であった。診断時の年齢分布を見ると、60 歳代が最も多く約 26%であった。UICC TNM 分類総合ステージの分布を見ると、I 期が約 42%を占めた。観血的治療の実施割合は、約 91%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約 46%であった。

表 3-17①-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	1,833	100.0	4,975	100.0	6,808	100.0
拠点病院等	1,724	94.1	4,647	93.4	6,371	93.6
都道府県推薦病院	109	5.9	328	6.6	437	6.4
年齢						
平均年齢 (SD)	58.7	(SD: 15.2)	57.5	(SD: 15.7)	57.8	(SD: 15.6)
0-14 歳	(4-6)		14	0.3	19	0.3
15-39 歳	219	11.9	722	14.5	941	13.8
40 歳代	295	16.1	826	16.6	1,121	16.5
50 歳代	329	17.9	915	18.4	1,244	18.3
60 歳代	498	27.2	1,266	25.4	1,764	25.9
70 歳代	375	20.5	943	19.0	1,318	19.4
80 歳以上	112	6.1	289	5.8	401	5.9
UICC TNM 分類総合ステージ						
I 期	655	35.7	2,187	44.0	2,842	41.7
II 期	103	5.6	233	4.7	336	4.9
III 期	510	27.8	1,552	31.2	2,062	30.3
IV 期	535	29.2	923	18.6	1,458	21.4
不詳	30	1.6	80	1.6	110	1.6
観血的治療						
有	1,650	90.0	4,534	91.1	6,184	90.8
原発巣・治癒切除	1,412	77.0	3,951	79.4	5,363	78.8
原発巣・非治癒切除	164	8.9	393	7.9	557	8.2
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	74	4.0	190	3.8	264	3.9
無	183	10.0	441	8.9	624	9.2
発見経緯						
がん検診	36	2.0	145	2.9	181	2.7
健康診断・人間ドック	361	19.7	716	14.4	1,077	15.8
他疾患経過観察中	811	44.2	2,300	46.2	3,111	45.7
その他・不明	625	34.1	1,814	36.5	2,439	35.8

(3) 3年生存率

3年生存率を表3-17①-2に示す。全体の3年実測生存率は約95%、相対生存率が約98%であった。年代別にみた相対生存率は、全年代で90%台であった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、全体でI期が約99%、II期が99%、III期が約100%、IV期が約93%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は、約100%で、その内原発巣・治癒切除例では約100%であった。

表3-17①-2 属性別3年生存率

	男性			女性			全体		
	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間
全体	92.8	97.2	95.9 98.4	96.3	98.4	97.8 98.9	95.4	98.1	97.6 98.6
拠点病院等	92.8	97.2	95.8 98.4	96.2	98.3	97.7 98.8	95.3	98.0	97.5 98.5
都道府県推薦病院	93.4	97.6	90.5 100.0	97.5	99.9	97.4 100.0	96.5	99.3	97.0 100.0
年齢									
15-39歳	97.1	97.4	93.9 98.9	99.6	99.7	98.8 100.0	99.0	99.2	98.3 99.6
40歳代	98.6	99.1	96.8 100.0	98.9	99.2	98.2 99.7	98.8	99.2	98.3 99.7
50歳代	98.8	100.0	98.1 100.0	98.2	98.9	97.8 99.6	98.4	99.3	98.4 99.8
60歳代	91.1	94.5	91.5 96.8	97.3	98.8	97.7 99.6	95.5	97.6	96.5 98.5
70歳代	88.7	97.2	93.2 100.0	92.7	96.5	94.5 98.0	91.6	96.7	94.9 98.1
80歳以上	72.5	94.6	82.3 100.0	82.0	96.0	90.2 100.0	79.4	95.7	90.5 100.0
UICC TNM分類総合ステージ									
I期	95.6	98.0	96.1 99.4	98.0	99.3	98.6 99.8	97.5	99.0	98.4 99.5
II期	94.1	99.8	92.6 100.0	95.7	98.9	95.2 100.0	95.2	99.2	96.1 100.0
III期	95.8	100.0	98.8 100.0	98.2	100.0	99.7 100.0	97.6	100.0	99.9 100.0
IV期	87.0	92.8	89.4 95.6	90.4	93.6	91.4 95.4	89.1	93.3	91.5 94.9
不詳	80.0	84.6	64.3 95.6	83.5	87.4	76.7 94.3	82.6	86.6	77.7 92.9
観血的治療									
有	96.1	100.0	98.9 100.0	98.2	100.0	99.5 100.0	97.6	100.0	99.6 100.0
原発巣・治癒切除	96.3	100.0	99.0 100.0	98.4	100.0	99.8 100.0	97.9	100.0	99.8 100.0
原発巣・非治癒切除	93.2	97.6	92.3 100.0	96.7	99.0	96.6 100.0	95.6	98.6	96.4 100.0
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	97.3	100.0	93.2 100.0	95.8	97.5	93.4 99.7	96.2	98.6	95.3 100.0
無	63.4	71.2	62.8 78.6	77.1	81.7	77.2 85.6	73.1	78.7	74.7 82.3

甲状腺未分化癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2014	135	100	126	73.8	96.3
IV期	130	96	122	73.7	96.2

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、135例で、3年以内に亡くなっていたのが126例、打ち切りが10例未満であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、96.3%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表3-17②-1に示す。性別で見ると、男性が約47%、女性が約53%であった。診断時の年齢分布を見ると、70歳代が最も多く約38%であった。観血的治療の実施割合は、約35%であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が約14%であった。

表3-17②-1 対象者の属性

	男性		女性		全体	
	対象数	(%)	対象数	(%)	対象数	(%)
全体	63	100.0	72	100.0	135	100.0
拠点病院等	57	90.5	65	90.3	122	90.4
都道府県推薦病院	(4-6)		(7-9)		13	9.6
年齢						
平均年齢 (SD)	72.6	(SD:10.6)	74.9	(SD:9.2)	73.8	(9.9)
40歳代	(1-3)		0	0.0	(1-3)	
50歳代	(1-3)		(1-3)		(4-6)	
60歳代	16	25.4	19	26.4	35	25.9
70歳代	25	39.7	26	36.1	51	37.8
80歳以上	16	25.4	25	34.7	41	30.4
UICC TNM 分類総合ステージ*						
IV期	61	96.8	69	95.8	130	96.3
不詳	(1-3)		(1-3)		(4-6)	
観血的治療						
有	20	31.7	27	37.5	47	34.8
原発巣・治癒切除	10	15.9	10	13.9	20	14.8
原発巣・非治癒切除	(7-9)		15	20.8	24	17.8
原発巣・治癒/非治癒 の別不詳	(1-3)		(1-3)		(1-3)	
無	43	68.3	45	62.5	88	65.2
発見経緯						
がん検診	0	0.0	0	0.0	0	0.0
健康診断・人間ドック	(1-3)		0	0.0	(1-3)	
他疾患経過観察中	(7-9)		11	15.3	19	14.1
その他・不明	54	85.7	61	84.7	115	85.2

※病期登録では若干名 I~III 期の登録あり

(3) 3年生存率

3年生存率を表3-17②-2に示す。全体の3年実測生存率、相対生存率ともに10%未満であった。対象数が限られるため生存率値の解釈には留意が必要である。

表3-17②-2 属性別3年生存率

	男性			女性			全体		
	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間	実測	相対	95%信頼区間
全体	5.2	5.9	1.5 15.1	3.8	4.1	0.9 11.7	4.5	5.0	1.9 10.4
拠点病院等	4.0	4.5	0.8 14.0	4.4	4.7	1.0 13.2	4.3	4.6	1.6 10.4
都道府県推薦病院	-	-		-	-		-	-	
年齢									
60歳代	-	-		-	-		6.5	6.7	1.3 18.9
70歳代	-	-		-	-		5.3	5.7	1.0 17.0
80歳以上	-	-		-	-		0.0	0.0	0.0 0.0
UICC TNM分類総合ステージ									
IV期	3.4	3.9	0.6 13.0	4.0	4.2	0.9 12.1	3.8	4.2	1.4 9.6
不詳	-	-		-	-		-	-	
観血的治療									
有	-	-		-	-		11.8	12.9	4.7 25.6
無	0.0	0.0	0.0 0.0	0.0	0.0	0.0 0.0	0.0	0.0	0.0 0.0

甲状腺髄様癌

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2014	49	38	(4-6)	55.4	100.0
I 期	14	14	(1-3)	52.2	100.0
II 期	12	12	(1-3)	63.2	100.0
III 期	10	10	0	56.0	100.0
IV 期	13	11	(1-3)	51.3	100.0

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、49 例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、100.0%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表 3-17③-1 に示す。対象数が限られるため全体でのみ示す。診断時の平均年齢は 55.4 歳であった。観血的治療を受けた者が 44 名であった。発見経緯を見ると、他疾患経過観察中が 19 名であった。

表 3-17③-1 対象者の属性

	全体	
	対象数	(%)
全体	49	100.0
拠点病院等	49	100.0
都道府県推薦病院	0	0.0
年齢		
平均年齢 (SD)	55.4	(SD:18.8)
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	14	28.6
II 期	12	24.5
III 期	10	20.4
IV 期	13	26.5
不詳	0	0.0
観血的治療		
有	44	89.8
無	(4-6)	
発見経緯		
がん検診	(1-3)	
健康診断・人間ドック	10	20.4
他疾患経過観察中	19	38.8
その他・不明	18	36.7

(3) 3 年生存率

3 年生存率を表 3-17③-2 に示す。全体の 3 年実測生存率が 89.8%、相対生存率が 93.5%であった。対象数が限られるため生存率値の解釈には留意が必要である。

表 3-17③-2 属性別 3 年生存率

	実測	全体		
		相対	95%信頼区間	
全体	89.8	93.5	80.4	99.5
拠点病院等	89.8	93.5	80.4	99.5
都道府県推薦病院	-	-		
観血的治療				
有	93.2	96.7	83.3	100.0
無	-	-		

18. 卵巣癌(女)

	対象数	施設数	死亡数	平均年齢	生存状況把握割合 (%)
2014	5,282	335	1,534	58.2	98.5
I 期	2,136	306	161	54.2	98.2
II 期	471	202	79	58.2	97.7
III 期	1,622	286	693	60.2	99.2
IV 期	876	274	518	63.8	98.6

(1) 生存状況把握割合

集計対象は、5,282 例で、3 年以内に亡くなっていた者が 1,534 例であった。集計対象全体で生存状況把握割合は、98.5%であった。

(2) 対象者の属性

集計対象の属性を表 3-18-1 に示す。診断時の年齢分布をみると、60 歳代が最も多く約 27%、次いで 50 歳代が約 25%であった。UICC TNM 分類総合ステージの分布をみると、I 期が約 40%と半数ちかくを占めた。観血的治療の実施割合は、約 85%であった。

表 3-18-1 対象者の属性

	全体	
	対象数	(%)
全体	5,282	100.0
拠点病院等	5,002	94.7
都道府県推薦病院	280	5.3
年齢		
平均年齢 (SD)	58.2	(SD:14.4)
0-14 歳	30	0.6
15-39 歳	425	8.0
40 歳代	980	18.6
50 歳代	1,301	24.6
60 歳代	1,399	26.5
70 歳代	778	14.7
80 歳以上	369	7.0
UICC TNM 分類総合ステージ		
I 期	2,136	40.4
II 期	471	8.9
III 期	1,622	30.7
IV 期	876	16.6
不詳	107	2.0
観血的治療		
有	4,493	85.1
原発巣・治癒切除	3,158	59.8
原発巣・非治癒切除	969	18.3
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	366	6.9
無	789	14.9
発見経緯		
がん検診	171	3.2
健康診断・人間ドック	215	4.1
他疾患経過観察中	986	18.7
その他・不明	3,910	74.0

(3) 3年生存率

3年生存率を表3-18-2に示す。全体の3年実測生存率は70.8%、相対生存率が約72%であった。実測生存率と相対生存率の差は他のがんと比較して大きくはなかった。UICC TNM分類総合ステージ別に相対生存率をみると、全体でI期が約94%、II期が約85%、III期が約58%、IV期が約42%であった。観血的治療を受けた者の相対生存率は約81%で、その内原発巣・治癒切除例では約87%であった。

表3-18-2 属性別3年生存率

	実測	女性		
		相対	95%信頼区間	
全体	70.8	72.1	70.8	73.4
拠点病院等	70.9	72.3	71.0	73.5
都道府県推薦病院	68.2	69.7	63.8	75.0
年齢				
0-14歳	96.7	96.7	78.6	99.6
15-39歳	84.9	85.0	81.2	88.1
40歳代	81.0	81.3	78.7	83.6
50歳代	77.7	78.3	75.9	80.4
60歳代	69.4	70.4	67.9	72.8
70歳代	59.5	61.9	58.2	65.4
80歳以上	29.7	34.4	29.1	39.9
UICC TNM分類総合ステージ				
I期	92.4	93.8	92.5	94.8
II期	83.1	84.7	80.9	87.8
III期	57.1	58.3	55.8	60.8
IV期	40.4	41.5	38.1	44.8
不詳	52.5	53.9	46.1	61.2
観血的治療				
有	79.2	80.5	79.2	81.6
原発巣・治癒切除	85.9	87.3	86.0	88.4
原発巣・非治癒切除	59.7	60.8	57.6	63.9
原発巣・治癒/非治癒の別不詳	72.3	73.5	68.5	77.9
無	22.7	23.7	20.7	26.8

19. 資料: 治療前ステージと術後病理学的ステージの差異

院内がん登録生存率集計では、治療開始前のがんの状態をより正確に表している術後病理学的ステージがある場合は、術後病理学的ステージを、無い場合は治療前ステージを用いて、UICC TNM 分類総合ステージとして集計してきた。ここでは、自施設初回治療開始例、観血的治療の実施有、かつ術前治療が行われなかった例(上皮内がん含)を対象に、術後病理学的ステージと治療前ステージ、そして術後病理学的 T 分類と治療前 T 分類の差異について検討した。がんや患者の状態等より、診療上治療前に進行度を判断することが困難な場合もあるかと考えられる。今回の検討は、生存率等の算出において重要となるがんの進行度をみるにあたっての資料である。なお、がんの診療において、術後病理学的なステージを含めて最終的な治療方針が検討される場合もある。治療前と術後病理学的進行度情報の差異が、単純に患者の診療における過小過剰医療を直接示すものではない点に留意が必要である。

表 18-1 治療前ステージと術後病理学的ステージの差異

	対象 n	Same (%)	Up (%)	Down (%)	不明 (%)
胃	45,133	79.8	12.5	3.9	3.9
大腸	62,770	54.7	14.2	11.7	19.4
肝細胞	3,559	75.2	17.1	5.6	2.1
肝内胆管	690	56.4	25.4	5.8	12.5
肺小細胞	362	67.4	22.1	5.5	5.0
肺非小細胞	23,638	75.1	13.9	5.6	5.4
女性乳	32,663	71.8	17.8	8.8	1.6
食道	6,426	73.3	15.4	6.8	4.5
膵臓	4,179	63.1	22.2	6.0	8.8
子宮頸	14,270	84.3	7.6	1.7	6.4
子宮内膜	7,365	78.2	11.0	3.5	7.3
前立腺	9,723	37.3	54.2	3.0	5.5
膀胱	14,039	67.3	8.5	14.1	10.2
喉頭	923	71.7	9.5	6.4	12.4
胆嚢	1,366	42.1	14.5	10.5	32.9
腎	7,239	85.8	6.6	4.6	3.0
腎盂尿管	2,968	52.5	21.7	13.9	11.9
甲状腺乳頭濾胞	6,185	60.6	24.7	4.4	10.3

※治療前/術後病理学的ステージのいずれかが不明であった場合、不明となる

表 18-2 治療前 T 分類と術後病理学的 T 分類

1. 胃癌

	pT0	pT1	pT2	pT3	pT4
cT0	0	1-3	1-3	0	0
cT1	4-6	29311 (95.4)	821 (2.7)	430 (1.4)	169 (0.5)
cT2	0	1591 (36.0)	1210 (27.4)	992 (22.4)	626 (14.2)
cT3	1-3	420 (8.9)	635 (13.4)	1986 (42.0)	1685 (35.7)
cT4	0	52 (1.5)	140 (4.1)	877 (25.4)	2382 (69.0)

2. 大腸癌

	pT0	pTis	pT1	pT2	pT3	pT4
cT0	10 (29.4)	22 (64.7)	1-3	0	0	0
cTis	0	8915 (89.8)	976 (9.8)	22 (0.2)	7-9	1-3
cT1	1-3	1204 (14.8)	5448 (66.9)	1041 (12.8)	394 (4.8)	51 (0.6)
cT2	0	146 (1.9)	1049 (13.9)	2807 (37.2)	3033 (40.1)	520 (6.9)
cT3	0	41 (0.2)	220 (1.3)	1611 (9.8)	11782 (71.8)	2765 (16.8)
cT4	0	1-3	19 (0.2)	141 (1.7)	3785 (45.8)	4312 (52.2)

3. 肝細胞癌

	pT1	pT2	pT3	pT4
cT0	0	1-3	0	0
cT1	1754 (75. 6)	526 (22. 7)	35 (1. 5)	4-6
cT2	125 (16. 1)	606 (78. 3)	39 (5. 0)	4-6
cT3	21 (6. 3)	33 (9. 8)	270 (80. 4)	12 (3. 6)
cT4	1-3	1-3	1-3	58 (93. 5)

4. 肝内胆管癌

	pTis	pT1	pT2	pT3	pT4
cTis	1-3	1-3	0	0	0
cT1	0	158 (58. 3)	84 (31. 0)	19 (7. 0)	10 (3. 7)
cT2	0	19 (9. 7)	132 (67. 7)	28 (14. 4)	16 (8. 2)
cT3	0	4-6	10 (16. 4)	44 (72. 1)	1-3
cT4	0	1-3	4-6	1-3	53 (85. 5)

5. 小細胞肺癌

	pT1	pT2	pT3	pT4
cT1	160 (66. 7)	71 (29. 6)	7-9	0
cT2	7-9	64 (80. 0)	7-9	1-3
cT3	4-6	4-6	7-9	1-3
cT4	1-3	0	0	0

6. 非小細胞肺癌

	pT0	pTis	pT1	pT2	pT3	pT4
cT0	0	0	1-3	0	0	0
cTis	0	80 (94. 1)	4-6	0	1-3	0
cT1	1-3	112 (0. 8)	11387 (78. 2)	2707 (18. 6)	312 (2. 1)	35 (0. 2)
cT2	0	11 (0. 2)	1151 (18. 1)	4540 (71. 3)	592 (9. 3)	75 (1. 2)
cT3	0	0	49 (4. 2)	303 (25. 9)	762 (65. 1)	56 (4. 8)
cT4	0	0	16 (8. 6)	35 (18. 9)	41 (22. 2)	93 (50. 3)

7. 女性乳癌

	pT0	pTis	pT1	pT2	pT3	pT4
cT0	4-6	0	1-3	0	0	0
cTis	1-3	4357 (74. 4)	1380 (23. 6)	92 (1. 6)	21 (0. 4)	4-6
cT1	4-6	504 (3. 1)	13607 (84. 8)	1819 (11. 3)	88 (0. 5)	27 (0. 2)
cT2	1-3	156 (1. 7)	2394 (26. 6)	6002 (66. 6)	383 (4. 2)	79 (0. 9)
cT3	0	4-6	69 (12. 3)	177 (31. 7)	284 (50. 8)	25 (4. 5)
cT4	0	1-3	29 (4. 5)	81 (12. 3)	33 (5. 0)	514 (77. 9)

8. 食道癌

	pT0	pTis	pT1	pT2	pT3	pT4
cTis	0	1207 (70. 0)	517 (30. 0)	0	0	0
cT1	0	252 (7. 2)	3185 (91. 0)	48 (1. 4)	16 (0. 5)	1-3
cT2	0	1-3	132 (38. 5)	86 (25. 4)	113 (32. 9)	7-9
cT3	1-3	0	18 (3. 4)	58 (11. 1)	399 (76. 5)	45 (8. 8)
cT4	0	0	1-3	0	23 (60. 5)	13 (34. 2)

9. 膀胱癌

	pTis	pT1	pT2	pT3	pT4
cTis	140(86.4)	4-6	4-6	10(6.2)	0
cT1	38(5.8)	320(48.8)	44(3.7)	249(38.0)	4-6
cT2	15(2.6)	41(7.0)	187(31.9)	325(55.5)	18(3.1)
cT3	12(0.6)	33(1.6)	64(3.1)	1896(91.1)	76(3.7)
cT4	1-3	1-3	4-6	114(41.0)	155(55.8)

10. 子宮頸癌

	pT0	pTis	pT1	pT2	pT3	pT4
cT0	26(72.2)	1-3	7-9	0	0	0
cTis	7-9	9861(94.8)	530(5.1)	7-9	0	0
cT1	1-3	126(5.3)	1960(82.9)	270(11.4)	1-3	1-3
cT2	1-3	0	111(25.3)	319(72.7)	4-6	4-6
cT3	0	0	1-3	0	7-9	0
cT4	0	0	0	0	0	4-6

11. 子宮內膜癌

	pT0	pTis	pT1	pT2	pT3	pT4
cT0	0	0	1-3	0	0	0
cTis	1-3	30(62.5)	17(35.4)	0	0	0
cT1	1-3	20(0.3)	5152(89.5)	281(4.9)	292(5.1)	7-9
cT2	0	0	105(23.3)	261(58.0)	82(18.2)	1-3
cT3	0	0	48(10.5)	30(6.6)	364(80.0)	13(2.9)
cT4	0	0	1-3	0	7-9	22(68.8)

12. 前列腺癌

	pT0	pTis	pT1	pT2	pT3	pT4
cT0	0	27(100.0)	0	0	0	0
cT1	1-3	0	79(2.3)	2697(79.7)	597(17.6)	10(0.3)
cT2	0	0	4-6	3863(74.1)	1339(25.7)	10(0.2)
cT3	0	0	1-3	142(30.2)	323(68.7)	4-6
cT4	0	0	0	1-3	1-3	18(81.8)

13. 膀胱癌

	pT0	pTis	pT1	pT2	pT3	pT4
cT0	28(93.3)	1-3	0	1-3	0	0
cTis	1-3	5150(89.9)	526(9.2)	52(0.9)	1-3	1-3
cT1	0	1162(26.4)	2897(65.7)	304(6.9)	35(0.8)	11(0.2)
cT2	0	181(12.5)	339(23.5)	740(51.3)	138(9.6)	45(3.1)
cT3	0	34(5.8)	71(12.0)	180(30.5)	274(46.4)	31(5.3)
cT4	0	4-6	11(6.7)	31(18.8)	16(9.7)	101(61.2)

14. 喉頭癌

	pTis	pT1	pT2	pT3	pT4
cTis	55(87.3)	4-6	1-3	0	0
cT1	17(6.3)	243(89.3)	7-9	1-3	1-3
cT2	0	7-9	67(74.4)	7-9	4-6
cT3	0	4-6	10(4.6)	150(68.8)	53(24.3)
cT4	0	0	4-6	13(8.1)	141(88.1)

15. 胆嚢癌

	pTis	pT1	pT2	pT3	pT4
cTis	20(71.4)	4-6	1-3	1-3	0
cT1	15(6.2)	133(55.2)	80(33.2)	13(5.4)	0
cT2	10(2.9)	40(11.7)	254(74.3)	36(10.5)	1-3
cT3	1-3	10(4.4)	59(26.2)	141(62.7)	13(5.8)
cT4	1-3	0	4-6	22(40.7)	27(50.0)

16. 腎癌

	pT0	pTis	pT1	pT2	pT3	pT4
cT0	0	0	1-3	0	0	0
cTis	0	20(100.0)	0	0	0	0
cT1	1-3	4-6	5135(93.2)	41(0.7)	323(5.9)	4-6
cT2	0	0	122(19.8)	309(50.2)	174(28.3)	10(1.6)
cT3	0	0	116(15.1)	61(7.9)	581(75.7)	10(1.3)
cT4	0	0	7-9	7-9	16(28.6)	26(46.4)

17. 腎盂尿管癌

	pTis	pT1	pT2	pT3	pT4
cTis	439(82.4)	43(8.1)	24(4.5)	27(5.1)	0
cT1	173(22.2)	338(43.4)	102(13.1)	162(20.8)	4-6
cT2	54(8.7)	75(12.1)	231(37.4)	244(39.5)	14(2.3)
cT3	22(3.8)	20(3.5)	34(5.9)	450(78.3)	49(8.5)
cT4	0	1-3	4-6	10(14.9)	52(77.6)

18. 甲状腺乳頭濾胞癌

	pT0	pTis	pT1	pT2	pT3	pT4
cT0	1-3	0	1-3	0	1-3	0
cTis	0	22(100.0)	0	0	0	0
cT1	1-3	0	1762(58.2)	64(2.1)	1133(37.4)	67(2.2)
cT2	0	0	207(17.8)	368(31.7)	530(45.7)	56(4.8)
cT3	0	0	57(6.0)	66(7.0)	745(78.8)	77(8.2)
cT4	0	0	4-6	4-6	114(34.0)	209(62.4)

※治療前/術後病理学的 T が不明、空欄の場合を除く

付表一覽

1.集計対象施設一覽

付表1 集計対象施設について

都道府県	施設名称
北海道	国立病院機構北海道がんセンター
北海道	JA北海道厚生連旭川厚生病院
北海道	王子総合病院
北海道	JA北海道厚生連帯広厚生病院
北海道	北見赤十字病院
北海道	社会医療法人母恋 日鋼記念病院
北海道	函館厚生院 函館五稜郭病院
北海道	JA北海道厚生連 札幌厚生病院
北海道	手稲溪仁会病院
北海道	独立行政法人 労働者健康安全機構 釧路労災病院
青森	青森県立中央病院
岩手	岩手県立中央病院
岩手	岩手県立二戸病院
岩手	岩手医科大学附属病院
岩手	岩手県立中部病院
岩手	岩手県立磐井病院
岩手	岩手県立宮古病院
岩手	岩手県立胆沢病院
岩手	岩手県立釜石病院
宮城	東北大学病院
宮城	宮城県立がんセンター
宮城	石巻赤十字病院
宮城	独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター
宮城	大崎市民病院
宮城	独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院
宮城	みやぎ県南中核病院
秋田	秋田大学医学部附属病院
秋田	JA秋田厚生連 由利組合総合病院
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 大曲厚生医療センター
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会平鹿総合病院
秋田	秋田赤十字病院
秋田	大館市立総合病院
秋田	秋田県厚生農業協同組合連合会 秋田厚生医療センター
山形	山形県立中央病院
山形	山形大学医学部附属病院
山形	山形市立病院済生館
山形	置賜広域病院企業団 公立置賜総合病院
福島	一般財団法人慈山会医学研究所附属坪井病院
福島	福島県立医科大学附属病院
福島	一般財団法人太田総合病院附属太田西ノ内病院
福島	一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院
福島	総合南東北病院
福島	会津中央病院
茨城	茨城県立中央病院
茨城	茨城県厚生農業協同組合連合会 総合病院土浦協同病院・茨城県地域がんセンター
茨城	友愛記念病院
茨城	筑波大学附属病院
茨城	国立病院機構水戸医療センター
茨城	株式会社 日立製作所 ひたちなか総合病院
栃木	地方独立行政法人栃木県立がんセンター
栃木	栃木県済生会宇都宮病院
栃木	獨協医科大学病院
栃木	那須赤十字病院
群馬	伊勢崎市民病院
群馬	群馬県立がんセンター
群馬	群馬大学医学部附属病院

都道府県	施設名称
群馬	独立行政法人国立病院機構渋川医療センター
群馬	独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター
群馬	公立富岡総合病院
群馬	桐生厚生総合病院
埼玉	さいたま赤十字病院
埼玉	埼玉県立がんセンター
埼玉	深谷赤十字病院
埼玉	春日部市立医療センター
埼玉	さいたま市立病院
埼玉	獨協医科大学埼玉医療センター
埼玉	川口市立医療センター
埼玉	埼玉医科大学国際医療センター
埼玉	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会川口総合病院
埼玉	東光会 戸田中央総合病院
埼玉	自治医科大学附属さいたま医療センター
千葉	国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院
千葉	国保旭中央病院
千葉	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院
千葉	国保直営総合病院君津中央病院
千葉	千葉県がんセンター
千葉	独立行政法人労働者健康安全機構 千葉労災病院
千葉	船橋市立医療センター
千葉	千葉大学医学部附属病院
千葉	独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター
千葉	東京歯科大学市川総合病院
千葉	順天堂大学医学部附属浦安病院
千葉	東京慈恵会医科大学附属柏病院
千葉	松戸市立総合医療センター
千葉	日本医科大学千葉北総病院
千葉	地方独立行政法人さんむ医療センター
東京	国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院
東京	東京都立駒込病院
東京	青梅市立総合病院
東京	NTT東日本関東病院
東京	日本赤十字社医療センター
東京	日本大学医学部附属板橋病院
東京	武蔵野赤十字病院
東京	がん研有明病院
東京	国立大学法人 東京大学医学部附属病院
東京	日本医科大学付属病院
東京	聖路加国際病院
東京	帝京大学医学部附属病院
東京	東京医科大学八王子医療センター
東京	杏林大学医学部付属病院
東京	順天堂大学医学部附属順天堂医院
東京	昭和大学病院
東京	慶應義塾大学病院
東京	東京都立多摩総合医療センター
東京	公立昭和病院
東京	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院
東京	独立行政法人国立病院機構東京医療センター
東京	東京医科歯科大学医学部附属病院
東京	東京都立墨東病院
神奈川	神奈川県立がんセンター
神奈川	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院
神奈川	横浜市立市民病院

都道府県	施設名称
神奈川県	相模原協同病院
神奈川県	公立大学法人 横浜市立大学附属病院
神奈川県	聖マリアンナ医科大学病院
神奈川県	東海大学医学部附属病院
神奈川県	北里大学病院
神奈川県	昭和大学横浜市北部病院
神奈川県	大和市立病院
神奈川県	独立行政法人 労働者健康安全機構 関東労災病院
神奈川県	公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター
新潟県	新潟県立がんセンター新潟病院
新潟県	新潟県立中央病院
新潟県	長岡赤十字病院
新潟県	新潟県厚生農業協同組合連合会 長岡中央総合病院
新潟県	県立新発田病院
富山県	富山県立中央病院
富山県	黒部市民病院
富山県	富山大学附属病院
富山県	厚生連高岡病院
富山県	市立砺波総合病院
石川県	国立大学法人金沢大学附属病院
石川県	独立行政法人国立病院機構 金沢医療センター
石川県	金沢医科大学病院
石川県	小松市民病院
福井県	福井県立病院
福井県	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福井県済生会病院
福井県	福井赤十字病院
福井県	福井大学医学部附属病院
福井県	独立行政法人国立病院機構敦賀医療センター
山梨県	山梨県立中央病院
山梨県	国立大学法人 山梨大学医学部附属病院
山梨県	市立甲府病院
長野県	長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院 佐久医療センター
長野県	国立大学法人 信州大学医学部附属病院
長野県	諏訪赤十字病院
長野県	飯田市立病院
長野県	長野市民病院
長野県	長野赤十字病院
長野県	社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院
長野県	伊那中央病院
長野県	北アルプス医療センターあづみ病院
長野県	長野県厚生農業協同組合連合会北信総合病院
岐阜県	岐阜大学医学部附属病院
岐阜県	高山赤十字病院
岐阜県	岐阜県総合医療センター
岐阜県	岐阜県立多治見病院
岐阜県	大垣市民病院
岐阜県	社会医療法人厚生会 木沢記念病院
静岡県	静岡県立静岡がんセンター
静岡県	静岡県立総合病院
静岡県	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院
静岡県	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院
静岡県	順天堂大学医学部附属静岡病院
静岡県	静岡市立静岡病院
静岡県	藤枝市立総合病院
静岡県	浜松医科大学医学部附属病院
静岡県	浜松医療センター

都道府県	施設名称
静岡	磐田市立総合病院
愛知	愛知県がんセンター
愛知	愛知県厚生農業協同連合会安城更生病院
愛知	海南病院
愛知	国立病院機構 名古屋医療センター
愛知	豊橋市民病院
愛知	一宮市立市民病院
愛知	公立陶生病院
愛知	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院
愛知	名古屋第一赤十字病院
愛知	名古屋第二赤十字病院
愛知	藤田医科大学病院
三重	伊勢赤十字病院
滋賀	市立長浜病院
滋賀	滋賀県立総合病院
滋賀	大津赤十字病院
滋賀	彦根市立病院
滋賀	滋賀医科大学医学部附属病院
京都	京都桂病院
京都	京都市立病院
京都	京都第一赤十字病院
京都	京都第二赤十字病院
京都	独立行政法人国立病院機構 京都医療センター
京都	市立福知山市民病院
大阪	大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター
大阪	市立岸和田市民病院
大阪	地方独立行政法人市立東大阪医療センター
大阪	市立豊中病院
大阪	大阪国際がんセンター
大阪	地方独立行政法人大阪市民病院機構大阪市立総合医療センター
大阪	大阪赤十字病院
大阪	独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター
大阪	独立行政法人労働者健康安全機構大阪労災病院
大阪	大阪医科大学附属病院
大阪	大阪市立大学医学部附属病院
大阪	国立病院機構大阪医療センター
大阪	堺市立総合医療センター
大阪	八尾市立病院
兵庫	兵庫県立がんセンター
兵庫	神戸大学医学部附属病院
兵庫	神戸市立医療センター中央市民病院
兵庫	独立行政法人労働者健康安全機構 関西労災病院
兵庫	公立学校共済組合近畿中央病院
兵庫	姫路赤十字病院
兵庫	赤穂市民病院
兵庫	公立豊岡病院組合立豊岡病院
兵庫	兵庫県立淡路医療センター
兵庫	兵庫医科大学病院
兵庫	兵庫県立柏原病院
兵庫	神戸市立西神戸医療センター
奈良	奈良県立医科大学附属病院
奈良	奈良県総合医療センター
奈良	天理よろづ相談所病院
奈良	近畿大学奈良病院
奈良	市立奈良病院
和歌山	紀南病院

都道府県	施設名称
和歌山	日本赤十字社和歌山医療センター
和歌山	和歌山県立医科大学附属病院
鳥取	鳥取県立厚生病院
鳥取	独立行政法人国立病院機構 米子医療センター
鳥取	鳥取県立中央病院
鳥取	鳥取大学医学部附属病院
島根	松江市立病院
島根	松江赤十字病院
島根	島根大学医学部附属病院
島根	島根県立中央病院
島根	独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター
岡山	岡山済生会総合病院
岡山	岡山赤十字病院
岡山	岡山大学病院
岡山	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
岡山	津山中央病院
岡山	岡山医療センター
岡山	川崎医科大学附属病院
岡山	金田病院
広島	県立広島病院
広島	地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院
広島	広島赤十字・原爆病院
広島	独立行政法人国立病院機構 呉医療センター
広島	東広島医療センター
広島	福山市民病院
山口	山口県立総合医療センター
山口	国立病院機構 岩国医療センター
山口	山口県厚生農業協同組合連合会周東総合病院
山口	独立行政法人地域医療機能推進機構徳山中央病院
徳島	徳島県立中央病院
香川	香川県立中央病院
香川	独立行政法人労働者健康安全機構香川労災病院
香川	三豊総合病院
香川	高松赤十字病院
香川	国立大学法人 香川大学医学部附属病院
愛媛	市立宇和島病院
愛媛	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター
愛媛	住友別子病院
愛媛	愛媛大学医学部附属病院
愛媛	愛媛県立中央病院
愛媛	松山赤十字病院
愛媛	社会福祉法人恩賜財団 済生会今治病院
高知	国立大学法人 高知大学医学部附属病院
高知	高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター
高知	高知県立幡多けんみん病院
福岡	久留米大学病院
福岡	公立八女総合病院
福岡	地方独立行政法人大牟田市立病院
福岡	社会保険田川病院
福岡	飯塚病院
福岡	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター
福岡	北九州市立医療センター
福岡	独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター
福岡	国立大学法人 九州大学病院
福岡	独立行政法人国立病院機構九州医療センター
福岡	福岡県済生会福岡総合病院
福岡	福岡大学病院
福岡	聖マリア病院

都道府県	施設名称
福岡	独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院
福岡	産業医科大学病院
佐賀	地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館
佐賀	唐津赤十字病院
佐賀	独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター
長崎	日本赤十字社長崎原爆病院
長崎	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター
長崎	長崎大学病院
長崎	長崎県島原病院
熊本	熊本大学病院
熊本	独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院
熊本	人吉医療センター
熊本	熊本赤十字病院
熊本	国立病院機構 熊本医療センター
熊本	済生会熊本病院
大分	大分県立病院
大分	大分赤十字病院
大分	大分大学医学部附属病院
大分	大分県済生会日田病院
大分	中津市立中津市民病院
宮崎	宮崎県立宮崎病院
宮崎	国立病院機構 都城医療センター
宮崎	国立大学法人宮崎大学医学部附属病院
鹿児島	国立病院機構 鹿児島医療センター
鹿児島	鹿児島県立薩南病院
鹿児島	独立行政法人国立病院機構 南九州病院
鹿児島	県民健康プラザ 鹿屋医療センター
鹿児島	鹿児島市立病院
鹿児島	公益社団法人昭和会 今給黎総合病院
鹿児島	社会医療法人博愛会 相良病院
沖縄	地方独立行政法人那覇市立病院
沖縄	沖縄県立中部病院
沖縄	国立大学法人 琉球大学医学部附属病院

都道府県	施設名称
北海道	製鉄記念室蘭病院
北海道	JA北海道厚生連遠軽厚生病院
青森	八戸市立市民病院
宮城	一般財団法人厚生会 仙台厚生病院
秋田	中通総合病院
秋田	市立秋田総合病院
茨城	茨城西南医療センター病院
群馬	国立病院機構沼田病院
群馬	群馬県済生会前橋病院
埼玉	上尾中央総合病院
埼玉	小川赤十字病院
東京	日本医科大学多摩永山病院
東京	社会福祉法人 三井記念病院
東京	東大和病院
神奈川	国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院
神奈川	湘南鎌倉総合病院
神奈川	平塚市民病院
新潟	労働者健康安全機構 新潟労災病院
富山	富山労災病院
石川	地域医療機能推進機構 金沢病院
石川	公立松任石川中央病院
岐阜	松波総合病院
岐阜	朝日大学病院
静岡	沼津市立病院
静岡	焼津市立総合病院
滋賀	社会医療法人誠光会 草津総合病院
滋賀	近江八幡市立総合医療センター
滋賀	済生会滋賀県病院
大阪	地方独立行政法人 市立吹田市民病院
大阪	箕面市立病院
大阪	医療法人徳洲会 八尾徳洲会総合病院
大阪	ベルランド総合病院
大阪	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会野江病院
大阪	関西電力病院
大阪	独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪病院
大阪	医療法人 警和会 大阪警察病院
大阪	関西医科大学総合医療センター
大阪	医療法人藤井会石切生喜病院
大阪	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会富田林病院
奈良	大和高田市立病院
鳥取	鳥取市立病院
島根	松江医療センター
岡山	岡山市立市民病院
岡山	一般財団法人 倉敷成人病センター
広島	公立学校共済組合 中国中央病院
山口	独立行政法人国立病院機構山口宇部医療センター
熊本	国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院
熊本	大腸肛門病センター高野病院
熊本	天草地域医療センター
熊本	熊本地域医療センター
大分	独立行政法人国立病院機構大分医療センター
鹿児島	鹿児島市医師会病院
沖縄	社会医療法人仁愛会 浦添総合病院
沖縄	社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院
沖縄	国立病院機構 沖縄病院

都道府県	施設名称
東京	国立成育医療研究センター
神奈川	神奈川県立こども医療センター

謝辞

卵巣がん等の集計を行うに当たり、独立行政法人国立病院機構四国がんセンター病理科・臨床研究センターがん予防研究部寺本典弘先生にご意見を賜りました。この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

がん診療連携拠点病院等院内がん登録
2014年3年生存率集計 報告書

2021年4月第1刷発行
(非売品)

編集 東尚弘 奥山絢子

発行 国立研究開発法人 国立がん研究センター
がん対策情報センター がん登録センター
院内がん登録分析室
〒104-0045 東京都中央区築地五丁目1番1号
電話 03-3542-2511